

トヨタ純正

メモリーナビ マルチAVステーション

トヨタ純正型番

NSCP-W62

NAVIGATION & AUDIO BOOK

ナビゲーション&オーディオブック

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション基本操作

検索

ルート

登録・編集操作

各種情報の利用

ナビゲーションの設定

オーディオ基本操作

放送を受信する

音楽ディスクを使う

SDカードを使う

Bluetooth Audioを使う

AUXを使う

オーディオの設定

カメラ機能を使う

その他の操作



付録

トヨタ自動車株式会社




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

MN-001-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしな
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な故障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

警告



禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

注意



指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

はじめに

安全上のご注意	2
本書の見かた	11
本書の表記のしかた	11
お読みください	12
お客様へのご注意	12
本機の操作について	12
3Dハイブリッドセンサーの 自動学習について	12
車のバッテリー上がりを防ぐために ...	12
バッテリー端子を外した場合の 再設定について	12
SDメモリーカードについて	13
液晶画面について	13
地図データについて	13
お客様の登録されたデータについて ...	13
著作権	14
セキュリティ機能について	14
その他	14
QUICK SETUP	15
QUICK SETUPを行う	15
QUICK SETUPを開始する	15
テレビを見るための準備	19

基本操作

各部の名称とはたらき	20
ナビゲーション本体 (画面モニターを閉じた状態).....	20
ナビゲーション本体 (画面モニターを開いた状態).....	20
ステアリングスイッチ (装備車のみ).....	21
現在地画面のタッチキー	21
基本操作	22
タッチパネルで操作する	22
ボタンで操作する	23
画面の切り換えかた	23
画面モニターの角度を調整する	24
画質を調整する	25
リスト画面の操作	25
ディスクの出し入れ	26
SDカードの出し入れ	28
文字の入力操作	30
文字入力の方法を切り換える	30
文字の入力操作の流れ	30
文字の種類を切り換える	30
文字を入力する	31
無変換、変換を行う	33
文字入力を終了する	33
かな漢字変換できる記号	34

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	35
ナビメニューの操作	35
ショートカットメニューの操作	38
地図画面の操作	39
現在地画面を表示する	39
地図を動かす(スクロール)	40
地図のスケールを変える	41
地図の表示方法を変える	41
地図の向きを変える	42
100mスケール一方通行表示を ON/OFFする	43
文字の拡大表示をON/OFFする	44
スケールを登録する	44
ロゴマークの表示設定をする	44
座標を表示する	46
サイドマップについて	46
セーフティインフォメーション	48
eスタート案内について	48
走行中表示される画面について	49
ハイウェイモードについて	50
自宅へ帰る	54
自宅を登録する	54
自宅までルート探索する	54

検 索

場所を探す	55
地図で探す	55
名称で探す	55
住所で探す	56
ジャンルで探す	57
周辺施設を探す	57
電話番号で探す	59
登録地から探す	59
検索履歴から探す	60
マップコードから探す	60

かんたん目的地検索で探す	61
詳細情報を見る	62

ルート

ルートを探索する	63
ルート案内開始画面の見かた	64
ルートプロフィールで確認する	65
他のルートを選ぶ	65
ルート地図を表示する	66
詳細ルート設定をする	66
ルート探索機能について	69
ルート誘導・案内	70
ルート案内中の現在地画面	70
音声による誘導・案内	73
ルート案内中の操作と機能	76
ルートから外れたときに 自動的にルートを再探索する	76
状況に応じて新しいルートを 提案する	76
ルート上の渋滞情報を案内させる	77
ルートインフォメーションの操作	77
ルートを編集する	78
ルートプロフィールで確認する	78
条件を変えてルートを再探索させる	78
ルートを消去する	79
立寄地を先送りする	79
デモ走行で確認する	79
ルートを消去する	80

登録・編集操作

場所を登録する	81
場所を登録する	81
登録地を編集する	83
登録地の登録内容を編集する	83
登録地を消去する	84
登録地を移行する	85
その他のデータを編集する	87
検索履歴を消去する	87
ルートの学習内容を消去する	87
走行軌跡を消去する	88

各種情報の利用

FM-VICS情報を利用する	89
VICS情報とは	89
地図上でVICS情報を見る	90
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	91
VICSの文字・図形情報を見る	92
放送局を選ぶ	93
ETC情報を利用する	94
ETC利用履歴を表示する	94
ETC登録情報を表示する	94
ETC設定を行う	95
車両メンテナンスを利用する	96
消耗品などの交換時期を設定する ...	96
詳細設定をする	97
お知らせ確認画面	97
その他の情報の利用	98
シリアルナンバーを確認する	98
センサー学習状況を見る	98
接続状態を確認する	99
データバージョンを確認する	100

ナビゲーションの設定

機能設定をする	101
設定内容の詳細	102
Bluetooth設定をする	106
Bluetooth機器使用上のご注意 ...	106
Bluetoothの設定を行う	106
ナビゲーションの音量を 設定する	111
音量設定をする	111
案内/電話スピーカー設定をする ...	111
車両情報を設定する	113
有料道路料金区分の設定	113
駐車制限(車種)の設定	113
駐車制限(車両寸法)の設定	114
その他の設定をする	115
自転車位置のずれを修正する	115
走行中の道路を切り換える	115
セキュリティ設定をする	116
スライド枠を表示する	119
設定を初期状態に戻す	119

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作	121
AVソース画面を表示する	121
AVソースを切り換える	121
AVソースをOFFにする	122
オーディオの音量を調整する	122
映像画面時計表示設定	123
緊急警報放送(EWS)の受信について	123
本機で再生可能なメディアとファイルの種類	123

放送を受信する

ラジオを聞く	124
ラジオの放送を受信する	124
周波数スケール表示画面に切り換える	124
プリセットの種類を選ぶ	125
バンドを切り換える	125
放送局を手動で登録する	125
放送局の自動登録	126
交通情報を聞く	127
交通情報を受信する	127
ワンセグ放送を見る	128
ワンセグ放送を受信する	128
プリセットの種類を切り換える	129
放送局を手動で登録する	130
サービスを切り換える	130
番組表を表示する	130
番組内容を表示する	131
放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)	131
字幕を切り換える	131
音声を切り換える	131
ワンセグの機能設定をする	132

音楽ディスクを使う

音楽CDを聴く	133
再生する	133
リストから選んで再生する	134
リピート再生	134
ランダム再生	134
CD-R/RW (WMA/MP3)を聴く	135
再生する	135
リストから選んで再生する	136
リピート再生	136
ランダム再生	136

SDカードを使う

SDの操作のしかた	137
再生する	137
リストから選んで再生する	138
リピート再生	138
ランダム再生	139

Bluetooth Audioを使う

Bluetooth Audioの操作のしかた	140
Bluetooth Audio機器の登録	140
再生する	140
リストから選んで再生する	142
リピート再生	142
ランダム再生	142
Bluetooth Audio機器の接続について	143

AUXを使う

AUXを使う	144
外部機器の音声を聞く	144

オーディオの設定

オーディオの設定をする	145
フェーダー / バランス設定	145
ラウドネス設定	146
イコライザー設定	146
ソースレベルアジャスター設定 ...	147
消音設定	148

カメラ機能を使う

バックガイドモニターを使う	149
バックガイドモニターに についての注意点	149
カメラについての注意	149
ガイド方法の選びかた	150
バックガイドモニター画面への 切り換え	151
画面に映る範囲について	151
並列駐車する (進路表示モード)	152
並列駐車する (駐車ガイド線表示モード)	155
縦列駐車する (縦列ガイドモード)	157
縦列駐車する (駐車ガイド線表示モード)	166
画面と実際の路面との誤差	168
立体物が近くにあるときの注意点 ...	169
縦列ガイドの音量の設定	170
はじめのコツの表示	171
駐車ガイド線の表示	171
システム初期化中表示が 出たときは	172
バッテリーの脱着、または 本機を載せ換えたときは	172

バックモニターを使う	173
バックモニターの映像	174
画面と実際の路面との誤差	176

その他の操作

携帯電話を使う	178
ハンズフリー通話をする	178
電話の受けかた	178
電話のかけかた	179
通話中メニューの操作	181
携帯電話情報を編集する	182
エコマネージャーを使う	185
エコ運転評価について	185
エコプライズについて	186
燃費設定をする	186
パーソナライズ機能を利用する ...	187
パーソナライズ画面を表示する ...	187
ユーザー設定をする	188
ユーザー切り換えメニューを使う ...	191
スマートフォン連携機能を使う ...	193
NaviConアプリを使う	193
smart nAVVi Linkアプリを使う ...	194
タッチパネルの タッチ位置を調整する	196







付録

取り扱い上のご注意	197
液晶画面の正しい使いかた	197
ディスクの正しい使いかた	197
SDカードの正しい使いかた	198
電波に関するご注意	199
ディスクについて	200
再生できるディスクの種類	200
ディスクの構成について	200
WMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	201
フォルダーとWMA/MP3/AAC/ WAVファイルについて	201
WMAとは?	201
MP3とは?	202
AACとは?	203
WAVとは?	203
ナビゲーションのしくみ	204
現在地がわかるしくみ	204
測位の精度を高めるためのしくみ ..	204
誤差について	205
故障かな?と思ったら	207
共通項目	207
ナビゲーション	207
オーディオ	208
ETC	212
リセットについて	213
本体リセットについて	213
センサーリセットについて	213
VICS情報有料放送 サービス契約約款	214

その他の情報	216
検索における データベースについて	216
ルートに関する注意事項	216
VICS情報に関する注意事項	218
シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア	218
阪神高速道路株式会社からの ご連絡	219
収録データベースについて	219
アフターサービスについて	221
仕様	222
商標・著作権など	223
索引	225
メニュー索引	225
用語索引	227
記号・マーク一覧	235

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	指示マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で守っていただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：  にタッチする
←スライド	スライド操作を表します。例えば左へのスライド操作を「←スライド」と表記します。
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：  (メニュー) を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」(P55)
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押し続けている(タッチしている)間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

お読みください

お客様へのご注意

- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、各施設に直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知して、走行中にテレビの映像を見ることができないようになっています。
- ナビゲーションの操作やディスクを出し入れするときは、車を安全な場所に停車させ、車のセレクトレバーをN（ニュートラル）かP（パーキング）位置にし、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
- 本機のモニター部が開く際にカップホルダーに入れたジュースなどの容器が干渉する場合があります。
- インテリジェントキーが装着されている車では、インテリジェントキーを本機に近づけると作動しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。
- 本機を別のお車に乗せ替えた場合、もしくはトヨタ販売店以外の場所でお車に取り付けた場合、必ず販売店で設定等の確認を行ってください。

本機の操作について

本機は、タッチパネルと本体のボタンおよびステアリングスイッチ（装備車のみ）で操作します。

3Dハイブリッドセンサーの自動学習について

本機は、走行を重ねるごとに、3Dハイブリッドセンサーの自動学習が進み、測位の精度が高まっていきます。

車のバッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンをかけていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- ・ 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリー端子を外した場合の再設定について

整備などでバッテリー端子を外した場合、各機能の設定が出荷状態に戻っている場合がありますので、再度設定してください。その他、お客様自身が設定された機能がございましたら、各ページを参照して再度設定をしてください。

SDメモリーカードについて

- 本文中では、SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードを、便宜上「SDカード」と表記しています。
 - 本機は、SDカードおよびSDHCカード（最大32GB）に対応しています。
 - すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
 - SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
 - SDカードは寿命があります。普通に使っていても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
 - お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットする事により認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。
- ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。
- SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアシエーションの以下ホームページより入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/>

- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

液晶画面について

液晶画面は、構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面の明るさを変更することができます。お好みに応じて調整してください。（→P25）

地図データについて

本機に地図ディスクを挿入する必要はありません。地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

お客様の登録されたデータについて

- 本機の修理において、お客様が登録したデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権

本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などをすることはできません。

セキュリティ機能について

本機は、パスワードによるセキュリティ機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時はセキュリティ機能は動作していません。必要に応じてセキュリティ機能を設定してください。→「セキュリティ設定をす
る」(P116)

その他

- 製品の性能改善等を目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができる仕組みになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本機がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の本機の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

QUICK SETUP

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。ご購入後、本機をはじめてお使いになるときやセキュリティ設定を行っていない場合は、自動的にQUICK SETUPが起動します。設定した内容は、あとから変更することもできます。

はじめに

QUICK SETUPを行う

QUICK SETUPで設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

セキュリティ設定

ナビゲーションシステムのセキュリティを設定できます。

音量設定

ナビの案内音量、受話音量、着信音量と操作音を設定できます。

自宅設定

自宅の登録や変更ができます。

ETC取付状態設定

車にETC車載器を取り付けているかいないかを設定できます。

Bluetooth設定

本機にBluetooth機器を登録できます。

車両情報設定

車の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定できます。

燃費設定

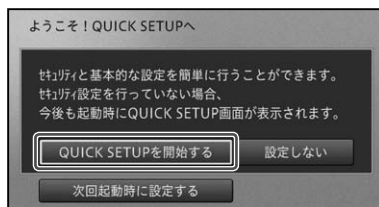
一般道路と高速道路の燃費設定ができます。設定した数値を基に燃料計算がされ、ルート探索を行った際、最も燃料消費量の少ないルートをエコなルートとして表示させることができます。

パーソナライズ設定

ユーザーアイコン、ユーザー名、案内音量、操作音、地図の表示などをユーザーごとに設定できます。

QUICK SETUPを開始する

1 QUICK SETUPを開始するにタッチする



メモ

- あとで設定したい場合は、**次回起動時に設定する**にタッチしてください。次回起動時もQUICK SETUPが起動します。また、本機の起動時以外から設定を行いたい場合は、**メニュー**→**設定・編集**→**QUICK SETUP**から設定することもできます。
- 設定しない**にタッチすると、QUICK SETUPを行わず、地図画面を表示します。ただし、セキュリティ設定を行っていない場合は、**設定しない**にタッチできません。
- QUICK SETUP設定中は、**次へ**にタッチすると次の設定へ、**前へ**にタッチすると前の設定に移ることができます。
- 終了**にタッチすると、その時点までの設定を保存してQUICK SETUP終了画面(→P18)に移ります。
- ETC取付状態設定以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定することができます。

セキュリティの設定

2 セキュリティ機能にタッチし、セキュリティの設定をする



メモ

- セキュリティの設定にはパスワードの設定が必要です。→「セキュリティ設定をする」(P116)

3 次へにタッチする

音量の設定

4 + または -, ON または OFF にタッチして設定する



「案内音量」	ナビの音声案内の音量を調整します。
「操作音」	本機の操作音のON/OFFを設定します。
「受話音量」	ハンズフリー通話時の受話音量を調整します。
「着信音量」	電話の着信音量を調整します。

5 次へにタッチする

自宅の設定

6 自宅登録にタッチする



メモ

- すでに自宅が登録済みの場合は、登録変更が表示されます。タッチすると手順7に進み、自宅の場所を変更して上書きすることができます。

7 場所を探して(→P55)、決定にタッチする



8 次へにタッチする

ETC取付状態の設定

9 状態を選んでタッチする



メモ

- 「車に取り付けている」に設定すると、機能設定(→P101)の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定(→P101)の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。
- ルート案内中は、設定できません。

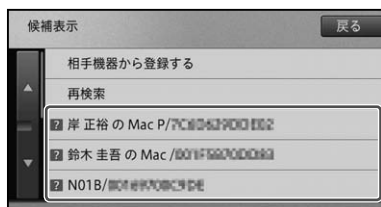
10 次へにタッチする

Bluetoothの設定

11 機器登録にタッチする



12 接続する機器名にタッチする



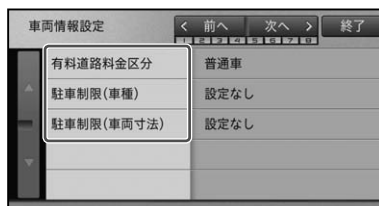
メモ

- 接続する機器がリストにない場合は、**相手機器から登録する**にタッチしてBluetooth機器より登録してください。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(→P107)をご覧ください。
- Bluetoothの設定の詳細については、「Bluetoothの設定を行う」(→P106)をご覧ください。

13 次へにタッチする

車両情報の設定

14 各項目を選んで内容を設定する



メモ

- 設定された駐車制限(車種・車両寸法)は、駐車場や有料道路料金の案内に反映されます。
- ルート案内中や、ハイウェイモードの場合は、「有料道路料金区分」の設定はできません。

15 次へにタッチする

燃費の設定

16 各項目を選んで内容を設定する



メモ

- 工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店などで確認なさった燃費を入力してください。

17 次へにタッチする

パーソナライズの設定

現在使用中のユーザー (→P188) 専用の設定を行います。

18 各項目を選んで内容を設定する



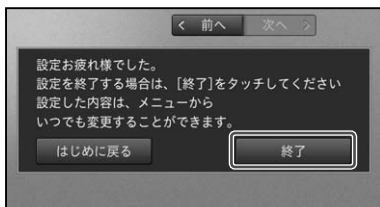
メモ

- パーソナライズ設定の詳しい設定内容については、「ユーザー設定をする」(→P188)をご覧ください。

19 次へにタッチする

QUICK SETUPを終了する

20 終了にタッチする



前へ	ひとつ前の画面に戻ります。
はじめに戻る	QUICK SETUP開始画面(→P15)に戻ります。

テレビを見るための準備

本機をご購入後、はじめてテレビ(ワンセグ放送)をご覧になるときは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業(チャンネルスキャン)が必要です。チャンネルスキャンが完了するまでは、テレビをご覧いただくことはできません。

メモ

- ・テレビに関する詳しい操作方法は、「ワンセグ放送を見る」(→P128)をご覧ください。
- ・チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。(地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。)
- ・車のバッテリーを外したときや、設定初期化(→P119)したときにもチャンネルスキャンが必要です。

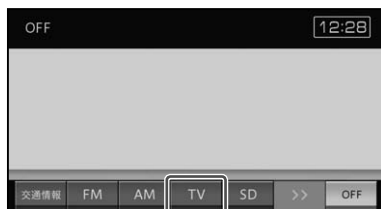
1 車のエンジンをかける

2 地図画面が表示されたら(オーディオ)を押す



AVソース画面が表示されます。

3 TVにタッチする



4 画面にタッチする



シンプル操作画面が表示されます。

5 詳細にタッチする



基本操作画面が表示されます。

6 スキャンに長くタッチする



チャンネルスキャンが終了すると、テレビ画面が表示されます。

各部の名称とはたらき

ナビゲーション本体(画面モニターを閉じた状態)

◀▶/▶▶ボタン

トラックやファイルのダウン/アップや早戻し/早送りなどのオーディオ操作を行います。

メニューボタン (→P25, 35)

ナビメニューを表示します。
長く押すと画質調整画面(→P25)を表示します。

ハンズフリー用マイク

現在地ボタン(→P23, 24, 39)

ナビ画面(現在地以外を表示中)の場合は、現在地を表示します。
現在地表示中の場合は、登録スケールに変更します。AVソース画面の場合は、現在地画面に切り換えます。
どちらの画面の場合でも、長く押すと一時的に画面を消すことができます。

音量調整ボタン(→P122)

オーディオの音量調整を行います。

オーディオボタン (→P23, 121)

ナビ画面の場合は、AVソース画面に切り換えます。
長く押すと、AVソースをOFFにすることができます。AVソースOFF時に長く押すとAVソースをOFFにする前のAVソース画面に戻ります。

AUX入力端子(→P144)

ポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続します。φ3.5 mmステレオミニプラグを挿入します。

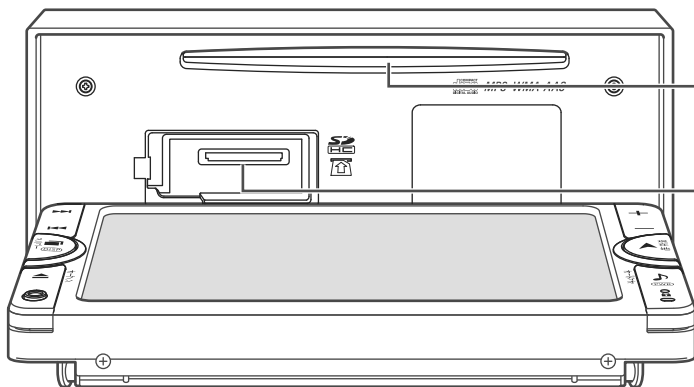
オープンボタン (→P24, 27~29)

ディスクやSDカードの出し入れ、画面モニターの角度調整を行うための操作画面を表示します。

セキュリティインジケータ

セキュリティ機能が動作している場合は、点滅表示させることができます。(→P118)

ナビゲーション本体(画面モニターを開いた状態)



ディスク挿入口(→P27)
CDやCD-R/RWを挿入します。

SDカードスロット
(→P28)
SDカードを挿入します。

ステアリングスイッチ(装備車のみ)

MODE スイッチ	ラジオやCD、TVなどのAVソースを切り換えます。長く押すとAVソースをOFFにします。
▽/△スイッチ	トラックやファイルのダウン/アップや早戻し/早送りなどのオーディオ操作を行います。
-/+スイッチ	オーディオの音量調整を行います。

現在地画面のタッチキー

渋滞タッチキー (→P77, 91)

渋滞情報を取得してルートを案内中の場合、渋滞情報を表示します。ルート案内中でない場合は、規制情報を表示します。

ビュータッチキー (→P41)

地図の表示方法や向きを選んだり、一方通行のマークやロゴマークの表示・非表示を設定できます。また地図上に表示される文字の拡大や地図スケールの登録なども行うことができます。



広域/詳細タッチキー (→P41)

地図の表示範囲をおおまかな表示で拡大(広域)したり、精密な表示で縮小(詳細)したりできます。

ユーザーアイコンタッチキー

パーソナライズ設定で設定したユーザーアイコンを表示します。タッチすると、パーソナライズ機能を利用できます。パーソナライズ機能について、詳しくは「パーソナライズ機能を利用する」(→P187)をご覧ください。

情報ウィンドウタッチキー

タッチすることによって現在地情報(市区町村名)とAV情報(AVソース名や再生中タイトル名など)を切り換えます。

メモ

- 情報ウィンドウの現在地情報の表示項目(市区町村名、走行道路名、緯度経度)は、あらかじめ設定しておくことができます。→「機能設定をする」(P101)
- 情報ウィンドウが「市区町村名」「走行道路名」の場合は、地図スケール表示が100m以上のときに市区町村名まで表示されます。10m～50mの詳細市街地図を表示中は、市区町村名、住所名、丁目まで表示されます。場所によっては表示されないところもあります。

基本操作

本機の基本操作について説明します。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作することができます。



操作例：

終了	現在開いているメニューなどを終了して元の画面に戻ります。
戻る	現在開いているメニューなどの画面を1つ前の画面に戻します。

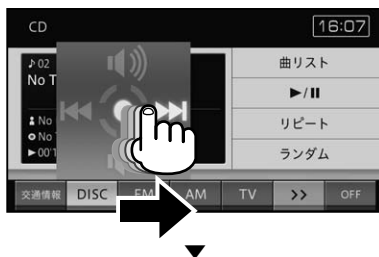
- スライド反応エリア内であれば、画面のどこをタッチしてもスライド操作を行えます。
- スライド枠は、表示をON/OFFすることができます。→「スライド枠を表示する」(P119)

操作ガイドが表示されます。



操作ガイド

2 画面をタッチしたまま、実行したい機能の方向へ指をスライドして離す



スライド操作

画面をタッチしたまま指を上下左右にスライドするだけでナビゲーションやオーディオの一部機能进行操作することができます。

1 スライド反応エリアにタッチする

例：CD



スライド反応エリア スライド枠

メモ

- 画面にはスライド枠が一定時間表示され、スライド反応エリアを示します。
- スライド枠のアイコン(←→)は、指でスライドできる方向を示します。
- スライド反応エリアおよびスライド枠のアイコンは、表示された画面によって異なります。

選んだ機能が拡大表示され、機能が動作します。

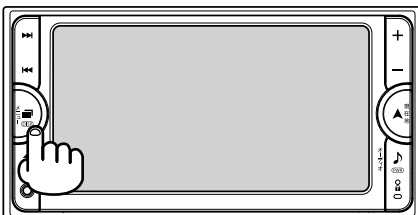
スライド操作が可能な画面と各操作内容は次ページを参照ください。

スライド操作一覧

	操作画面	動作
ナビゲーション	ルートインフォメーション	→スライド：ルートインフォメーションの表示解除 ↓スライド：次の案内地の表示
	交差点案内図	→スライド：交差点案内図の表示解除 ↓スライド：次の案内地の表示
	通行止め考慮オートリルート	↓スライド：通行止めを確認
オーディオ	交通情報	←スライド：1 620 kHz 受信 →スライド：1 629 kHz 受信 ↑スライド：ミュート解除 ↓スライド：ミュート
	ラジオ /TV	←スライド：チャンネルダウン →スライド：チャンネルアップ ↑スライド：ミュート解除 ↓スライド：ミュート
	DISC (CD、CD-R、CD-RW)/ Bluetooth Audio	←スライド：トラックまたはファイルダウン →スライド：トラックまたはファイルアップ ↑スライド：ミュート解除 ↓スライド：ミュート
	SD	←スライド：ファイルダウン →スライド：ファイルアップ ↑スライド：ミュート解除 ↓スライド：ミュート
	AUX	↑スライド：ミュート解除 ↓スライド：ミュート
携帯電話	電話着信中	←スライド：電話を切る →スライド：電話に出る

ボタンで操作する

本機のボタンを使って、画面の切り換え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。



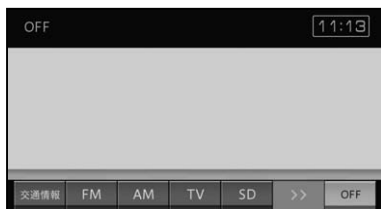
画面の切り換えかた

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換える

ナビゲーション画面（地図画面）とAVソース画面（オーディオ/ビデオ画面）をワンタッチで切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で♪(オーディオ)を押す

▼
AVソース画面が表示されます。



2 AVソース画面で▲(現在地)を押す

▼
ナビゲーション画面が表示されます。



メモ

- AVソース画面を表示している状態でも、以下の情報が割り込み表示される場合があります。
 - VICS緊急情報の自動表示(→P91)
 - 交差点案内表示(→P71)
- AVソース画面への割り込み表示(交差点案内表示のみ)は、ON / OFFすることができます。→「機能設定をする」(P101)

画面を一時的に消す (ナビスタンバイ)

夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 ▲(現在地)を長く押す

▼
画面が一時的に消えます。

メモ

- ナビスタンバイ中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。また、▲(現在地)を押すとナビスタンバイを解除して現在地画面を表示します。♪(オーディオ)を押すとナビスタンバイを解除してAVソース画面を表示します。
- ナビスタンバイ中は、ナビゲーションの音声案内も出力されません。オーディオの音声は出力されます。
- バックガイドモニター(→P149)を使用中は、一時的にナビスタンバイモードを解除します。カメラ機能の使用を終了した時点で、自動的にナビスタンバイモードに戻ります。
- ナビスタンバイはACCのON/OFFをしても解除されません。

画面モニターの角度を調整する

画面モニターを見やすい角度に調整して記憶させることができます。

1 ▲(オープン)を押す

2 + または - にタッチする



- | | |
|---|-------------------|
| + | 画面モニターが一段階ずつ開きます。 |
| - | 画面モニターが一段階ずつ閉じます。 |

メモ

- 調整した画面モニターの角度は本機に記憶され、電源をOFF/ON(エンジンスイッチOFF/ON)しても自動的に調整した角度になります。別の角度にしたい場合は、再度調整してください。



- 画面モニターの角度調整を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの角度調整をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから調整してください。

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」、「色合い」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックガイドモニターの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。なお、バックガイド映像の調整は、周囲の安全に十分配慮しながら行ってください。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、 (メニュー) を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する



黒の濃さ

<input type="checkbox"/> (白)	薄くなる
<input checked="" type="checkbox"/> (黒)	濃くなる

コントラスト (明暗)

<input checked="" type="checkbox"/> 低	白黒の差が小さくなる
<input type="checkbox"/> 高	白黒の差が大きくなる

明るさ

<input checked="" type="checkbox"/> 暗	暗くなる
<input type="checkbox"/> 明	明るくなる

色温度

<input checked="" type="checkbox"/> (赤)	暖色系が強くなる
<input type="checkbox"/> (青)	寒色系が強くなる

色の濃さ

<input checked="" type="checkbox"/> 淡	薄くなる
<input type="checkbox"/> 濃	濃くなる

色合い

<input checked="" type="checkbox"/> (赤)	赤くなる
<input type="checkbox"/> (緑)	緑になる

メモ

- 色の濃さは、ワンセグ放送またはバックガイドモニター映像を表示している場合のみ調整することができます。色合いは、バックガイドモニター映像を表示している場合のみ、調整することができます。

3 戻る にタッチする

リスト画面の操作

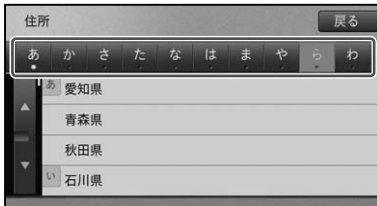
操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



ページ送り 1画面ずつ移動します。	▲/▼にタッチする (タッチし続けると、 連続で移動します。)
タブ送り タブ付きリストでは選 んだタブのリストに切 り換わります。	タブ(例: ルート・ 案内)にタッチする

50音タブの操作



行送り リストを行送りするこ とができます。 (例:あ→か→さ→た→な)	タブ(あ~わ)にタッ チする
音送り リストを音送りするこ とができます。 (例:あ→い→う→え→お)	タブ(例:あ)に繰り 返しタッチする

サイドマップ表示時の50音 タブの操作



あかさたな送り リストを次ページに送 ることができます。	▶▶にタッチする (例:あかさたな→ はまやらわ)
------------------------------------	---------------------------------

メモ

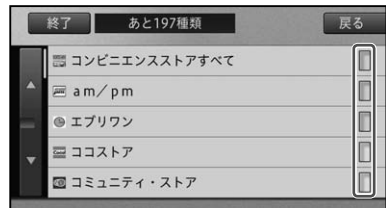
- 前ページのリストに戻るには、◀◀にタッチします。
- サイドマップについては、「サイドマップについて」(→P46)を参照してください。

チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると☑(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると☑が消え、選択が解除されます。

インジケーター付リストの操作



インジケーター付リストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケーターが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケーターが消灯し、選択が解除されます。

ディスクの出し入れ



- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- アダプターを装着した8cmディスクは絶対に使用しないでください。



指のケガに
注意

画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

ディスクの入れかた

1 ▲(オープン)を押す

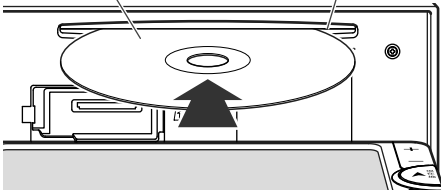
2 ディスク挿入にタッチする



画面モニターが開きます。

3 ディスクを差し込む

レーベル面を上にする ディスク挿入口



ディスクを途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

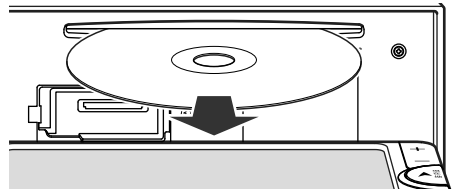
ディスクの取り出しかた

1 ▲(オープン)を押す

2 ディスクイジェクトにタッチする



画面モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



メモ

- ディスクが途中まで押し出された状態でもう一度イジェクトボタンを押すと、ディスクが自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

3 ディスクを取り出し、▲(オープン)を押す

画面モニターが閉じます。

SDカードの出し入れ



- 本機で使用しているときにSDカードのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- SDカードの出し入れを無理に行くと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れはしないでください。



画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

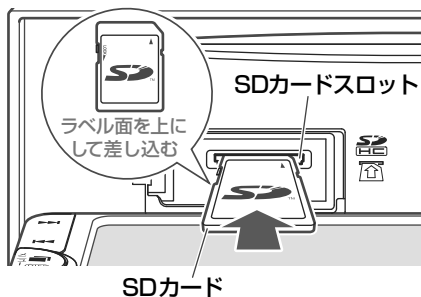
SDカードの入れかた

- 1 ▲(オープン)を押す
- 2 SDカード挿入にタッチする



▼
画面モニターが開きます。

- 3 “カチッ”と音がするまでSDカードを差し込む



- 4 ▲を押す

▼
画面モニターが閉じます。



- SDカードが完全に挿入されていない状態でイジェクトボタンを押すと画面モニターを閉じることができません。また、その際にSDカードの正しい挿入を促すメッセージと音声以案内されます。確実にSDカードを挿入してからイジェクトボタンを押してください。

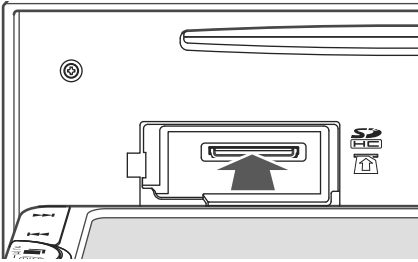
SDカードの取り出しかた

- 1 ▲(オープン)を押す
- 2 SDカード取り外しにタッチする

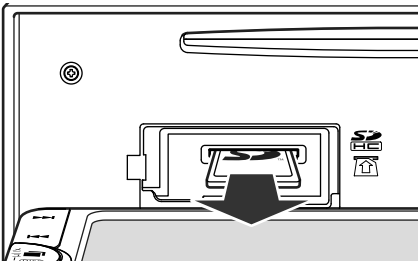


▼
画面モニターが開きます。

3 “カチッ” と音がするまでSDカードを押し込んで離す



▼
SDカードが押し出されます。



4 SDカードをまっすぐ引き抜き、▲(オープン)を押す

▼
画面モニターが閉じます。



- SDカードを完全に引き出していない状態で画面モニターを閉じないでください。カードを破損させるおそれがあります。また、SDカードは中央部をゆっくりと押し、まっすぐ引き出してください。
- 引き出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

メモ

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

文字入力の方法を切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法(キーボード方式と携帯電話方式)から選んで行うことができます。

1 または にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

キーボード方式



携帯電話方式



文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります。

メモ

- 漢字変換入力をするには、**かな** にタッチします。
- カタカナ入力をするには、一度ひらがな入力で切り換えたあと、**カナ** にタッチします。

文字を入力する

基本操作

キーボード方式で入力する場合

1 入力したい文字にタッチする



携帯電話方式で入力する場合

1 入力したい文字が表示されるまで、キーをタッチする



入力例1: にほん

- な**に2回タッチする → 「に」
- は**に5回タッチする → 「にほ」
- わ**に3回タッチする → 「にほん」

入力例2: おおた

- あ**に5回タッチする → 「お」
- >**にタッチする → 「お_」
- あ**に5回タッチする → 「おお」
- た**に1回タッチする → 「おおた」

全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り換えることができます。

1 全角または半角にタッチする

全角または半角に切り換わります。

濁点、半濁点、大文字／小文字を切り換える

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加したり、小文字に切り換えることができます。

1 小文字にタッチする

タッチすることにより、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

小文字 → 濁点 → 半濁点 → 元の文字に戻る

- 例1: ツ → ツ → ッ → ズ → ツ
- 例2: ハ → ハ → バ → パ → ハ

アルファベットの大文字／小文字を切り換える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り換えることができます。

1 大/小文字にタッチする

タッチすることにより、大文字と小文字が切り換わります。

カーソル位置を動かす

1 画面右上の◀・▶にタッチする

▼
タッチした分だけカーソルの位置を移動することができます。

メモ

- 文字入力中の場合、カーソルは同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- 検索中の入力画面の場合は、◀・▶でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、**スペース**にタッチする

▼
タッチした分だけスペースが挿入されます。



文字を削除する

1 削除したい文字の右側にカーソルを移動させ、**削除**にタッチする

▼
タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右側の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

メモ

- **削除**に長くタッチすると、全ての文字を一度に削除することができます。

文字を挿入する

1 文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

▼
カーソルの位置に文字を挿入することができます。

メモ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字やカタカナなどに変換します。変換は、入力した文字に応じて表示される変換候補から選択（予測変換機能）することができます。

無変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力し、**無変換**にタッチする

ひらがなで入力されます。

変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力する

入力した文字に応じた変換候補が表示されます。

2 **変換**にタッチし、**確定**または**全確定**にタッチする



メモ

- **次候補**にタッチすると、候補一覧が表示されます。変換したい文字にタッチすると入力できます。
- **◀**または**▶**にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

変換した文字で入力されます。

文字入力を終了する

1 **入力終了**にタッチする

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≦
	≧ ≪ ≫
ぶらす/たす	+
まいなす/ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん/むげんだい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∵
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふあ/あるふあー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ/おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい/きー	X x
かっぱ	K κ
がんま/がんまー	Γ γ
くしー/ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい/ぴー	Π π
ふあい/ふいー	Φ φ
ぶさい/ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " ' ' () []
	□ □ ◇ ◇ ◊ ◊
	「 」 『 』

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▼ ▽
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ●
	◎ ◇ ◆ □
	■ ▲ ▼ ▽
	▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C
	¥ \$ € £
	%
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぼんど	£

点

読み	記号
だくてん	°
てん	., … …
はんだくてん	°
まる	。 .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく/	*
あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぶ	♪
から/ないし	~
こめ/ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

ナビゲーションの基本操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

1 ナビゲーション画面で [メニュー]を押す

ナビメニューが表示されます。



情報	渋滞情報や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行うメニューを表示します。
目的地	目的地や場所を探すためのメニューを表示します。
設定・編集	ナビゲーション機能の設定、オーディオ設定、電話・通信の設定など、各種設定・編集に関するメニューを表示します。
携帯電話	携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。Bluetooth機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。 はい にタッチして、登録操作を行ってください。(→P106)
エコマネージャー	エコプライズやエコ運転評価の履歴確認、燃費設定など、エコに関するメニューを表示します。
ルート編集	ルートの編集や消去などを行うメニューを表示します。(→P78)
ルート消去	案内中のルートが消去(中止)します。(→P80)

情報メニュー



渋滞情報	渋滞情報の確認や情報取得を行います。(→P92)
データバージョン表示	本機に収録された地図データと検索データのバージョンを確認できます。(→P100)
メンテナンス	車の消耗品(エンジンオイルやタイヤなど)の交換時期をお知らせするメッセージ表示の設定ができます。(→P96)
システム情報	本機のシリアルナンバーおよびセンサー学習の状況や本機に接続された機器の情報を確認できます。(→P98, 99)
ETC	本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続したときに表示され、ETCの利用履歴を確認できます。(→P94)

目的地メニュー



名称	目的地の名称を入力して検索します。(→P55)
住所	目的地の住所を入力して検索します。(→P56)
ジャンル	目的地のジャンルを指定して検索します。(→P57)
周辺施設	自車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→P57)
電話番号	目的地の電話番号を入力して検索します。(→P59)
登録地	登録済みの地点から目的地を選んで検索します。(→P59)
検索履歴	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。(→P60)
自宅	自宅までのルートを探します。(→P54) 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→P54)
マップコード	目的地のマップコードを入力して検索します。(→P60)

設定・編集メニュー



QUICK SETUP	画面の案内に従って、本機の基本設定を行います。(→P15)
ナビゲーション	ナビゲーション機能の設定・編集を行います。
オーディオ	オーディオ機能の設定・編集を行います。
電話・通信	電話・通信機能の設定・編集を行います。

ナビゲーション



ナビデータ編集	登録地や走行軌跡などのデータの編集や消去を行います。(→P83, 87)
ナビ機能設定	ナビゲーション機能の設定を行います。(→P101)
音量設定	ナビゲーションの案内音量や操作音の調整、ハンズフリー時の音量調整を行います。(→P111)
システム設定	システムの設定を行います。(→P111, 116, 119, 170, 171)
車両情報設定	車両情報の設定を行います。設定した内容が、駐車場や有料道路の料金案内などに反映されます。(→P113)
自車位置補正	自車位置がずれた場合に設定します。(→P115)

オーディオ



オーディオ設定	オーディオ機能の設定を行います。(→P145)
TV設定	ワンセグ放送受信機能の設定を行います。(→P132)
映像画面時計表示	映像画面上に時計を表示するかしないかを設定します。(→P123)

電話・通信



Bluetooth設定	本機とBluetooth機器をBluetooth接続する場合に設定します。(→P106)
音量設定	ナビゲーションの案内音量や操作音の調整、ハンズフリー時の音量調整を行います。(→P111)
携帯電話データ編集	メモリダイヤルの読み込みや着信履歴の消去など、携帯電話情報の編集・消去を行います。(→P182)

携帯電話メニュー



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P180)
メモリダイヤル	メモリダイヤルを呼び出して電話をかけます。(→P180)
発着信履歴	発着信の履歴を表示します。(→P180)
リダイヤル	リダイヤルで電話をかけます。(→P181)
Bluetooth設定	本機とBluetooth機器をBluetooth接続する場合に設定します。(→P106)
編集・消去	メモリダイヤルの読み込みや着信履歴の消去など、携帯電話情報の編集・消去を行うことができます。(→P182)

エコマネージャーメニュー



エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。(→P186)
燃費設定	エコなルート表示の計測の基準となる燃費設定を行います。(→P186)
エコ運転評価履歴	エコ運転評価の履歴を表示します。(→P185)

ショートカットメニューの操作

地図を動かしたり場所を探したあとに自動的に表示されるメニューを、ショートカットメニューといいます。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

1 地図をスクロールまたは場所を探す(→P55)

十字カーソルの位置や地図の表示状況によって、それぞれに応じたショートカットメニューが表示されます。

スクロール画面のとき



ここを登録する	現在のカーソル位置を本機に登録することができます。(→P81)
周辺施設を探す	カーソル位置周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P57)
ここへ行く	十字カーソル位置を目的地として、ルート探索を行います。(→P63)

検索結果画面のとき



情報	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。(→P62)
ここを登録する	検索した場所を本機に登録することができます。(→P81)
周辺施設を探す	検索した場所周辺の施設をジャンルを選んで検索することができます。(→P57)
ここへ行く	検索した場所を目的地として、ルート探索を行います。(→P63)

メモ

- 検索したあとに地図をスクロールさせると**検索地点に戻る**が表示されます。タッチすると、スクロールする前の地点に戻ります。

地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 ▲(現在地)を押す

現在地の地図が表示されます。

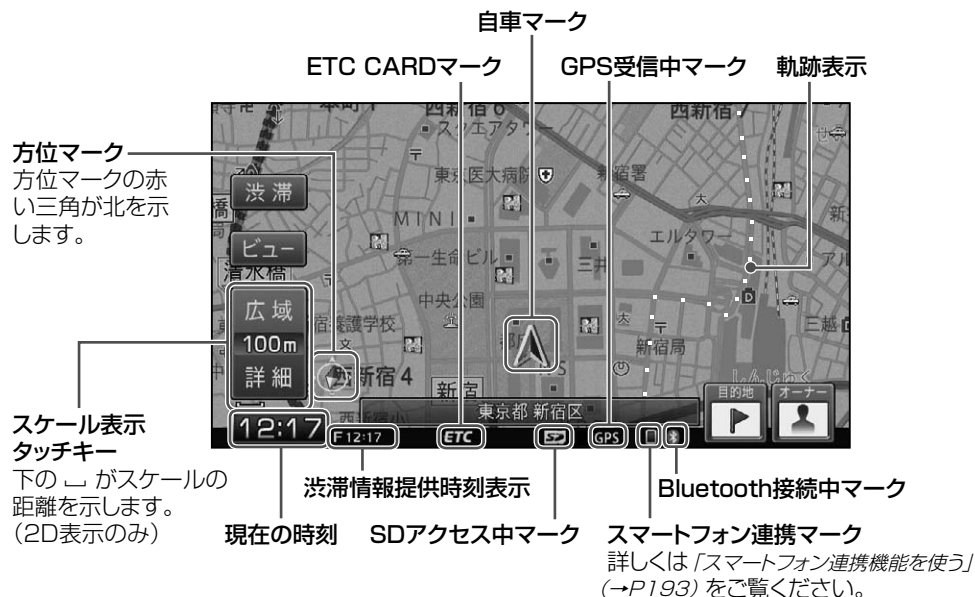


メモ

- 現在地画面を表示している状態で ▲(現在地)を押すと、登録した地図スケール(→P44)に切り換わります(登録スケールで表示している場合は動作しません)。

現在地画面の見かた

ノーマルビュー



メモ

- 本機を初めて使うときや、長期間使っていないときは、現在地を表示するまでに5分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 軌跡表示は、今までに通った約250 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- ETC CARDマークは、本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムが接続され、かつETCカードが挿入済みの場合のみ表示されます。
- 現在の時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす(スクロール)

地図上の見たい場所に地図を動かします。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



メモ

- 画面にタッチしたまま指を動かしてスクロールすることもでき、画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。
- 8方向矢印(→P40)表示中またはシティマップ(→P42)の場合、走行中にスクロール操作を行うことはできません。

2 位置を微調整したい場合は、**微調整**にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする



矢印にタッチすることにより、地図が少しずつ動きます。

もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

メモ

- 微調整の操作は、地図の表示モードがノーマルビューの場合のみ可能です。

スクロール画面の見かた

ノーマルビュー

十字カーソル



現在地から十字カーソルを結んだ線

地図のスケールを変える

10 m ~ 500 kmの範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 詳細または広域にタッチする



詳細 より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。

広域 より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

メモ

- 詳細や広域にタッチするごとに、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 kmとスケール表示が変わります。
- 詳細や広域にタッチし続けると、連続してスケールを変えることができます。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビューにタッチする



2 地図の表示方法にタッチする



メモ

- ハイウェイモードは、有料道路走行中のみ選択できます。

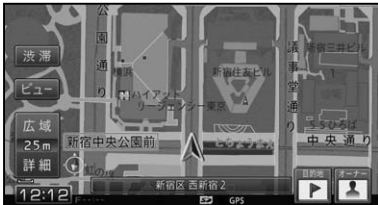
表示方法の種類

ノーマルビュー

通常の地図(2Dの地図)で表示されます。



詳細市街地図収録エリア(→P218)では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



メモ

- シティマップの境界付近では自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。
- シティマップ表示およびシティマップ境界表示は、ON/OFFできます。→「機能設定をやる」(P101)

スカイビュー

上空から見ているような地図(3Dの地図)が表示されます。



エコ情報表示

エコ運転評価画面(→P185)が、地図の右側に表示されます。



ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。前方の有料道路施設までの距離や料金、予想到着(通過)時刻、分岐の有無などが表示されます。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードについて」(→P50)をご覧ください。



地図の向きを変える

ノーマルビューでの地図表示の向きはヘディングアップとノースアップがあります。工場出荷時は「ヘディングアップ」です。

ヘディングアップ

1 ビュー - ヘディングアップにタッチする



「進行方向」が常に上になるように、地図が自動的に回転します。



ノースアップ

1 ビュー – ノースアップ にタッチする



「北」が常に上になるように表示されます。



100 mスケール一方通行表示をON/OFFする

シティマップで表示される一方通行マークを、100 mスケール時でも表示させることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ビュー – 100mスケール一方通行表示 にタッチする



タッチすることにより100 mスケール一方通行表示のON/OFFが切り換わります。



メモ

- ・ハイウェイモードのサイドマップの場合は、表示できません。
- ・地図のスケールを100 m以外に設定している場合、ONに設定すると自動的に100 mスケールに切り換わります。

文字の拡大表示を ON/OFF する

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 ビュー - 地図の文字拡大表示にタッチする



タッチするごとに文字拡大表示の ON/OFF が切り換わります。



スケールを登録する

それぞれの地図の表示方法ごとに、スケールを登録することができます。登録したスケールは、▲(現在地)を押して地図画面を表示したときのスケールとなります。

1 地図画面を登録したいスケールで表示する

2 ビュー - スケール登録にタッチする



確認のメッセージが表示されます。

3 はいにタッチする



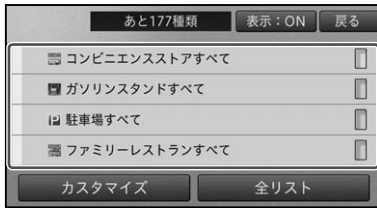
ロゴマークの表示設定をする

さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 ビュー - ロゴマーク表示設定にタッチする



2 ログマークを表示させたいジャンルにタッチする



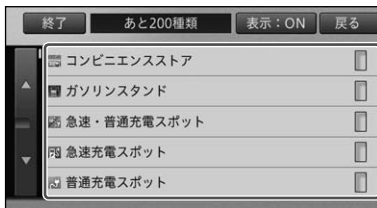
選んだログマークが地図上に表示されます。

全てのリストから選ぶ

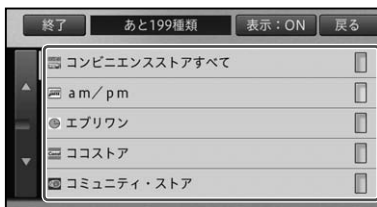
本機に登録されている全ての施設から選びます。

1 ビューー ログマーク表示設定 ー 全リストにタッチする

2 ログマークを表示させたいジャンルにタッチする



3 ログマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- インジケーターは、複数選択した場合も点灯します。
- 再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る**にタッチして手順**2**の画面に戻り、手順**2**～**3**を繰り返してください。

4 終了にタッチする

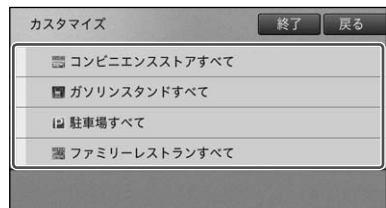
地図画面に戻り、選んだ施設のログマークが表示されます。

リストをカスタマイズする

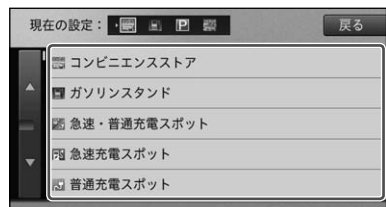
お好みに応じたリストに設定変更することができます。ジャンル名の他に、施設名の表示もできます。

1 ビューー ログマーク表示設定 ー カスタマイズにタッチする

2 変更したいジャンル名にタッチする



3 ご希望のジャンル名にタッチする



4 ご希望の施設名にタッチする



手順2の画面に戻り、リストが変更されます。

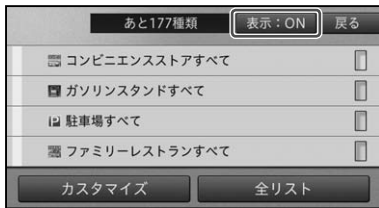
引き続き変更操作を行う場合は、手順2以降の操作を繰り返してください。

ロゴマークを非表示にする

選んだロゴマークの表示を地図上から消すには、以下のようにします。

1 ビュー - ロゴマーク表示設定にタッチする

2 表示: ON にタッチする



表示: OFF になり、選んだロゴマークが地図上から消えます。

メモ

- ロゴマークを再び表示するには、**表示: OFF** にタッチして **表示: ON** にします。

座標を表示する

現在地の座標情報を表示します。

1 現在地画面で、▲(現在地)を押す

2 座標にタッチする



座標情報が表示されます。



サイドマップについて

ハイウェイモード表示および場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

メモ

- リストの基本的な操作については、「基本的なリストの操作」(→P25)をご覧ください。
- サイドマップ画面の操作については、「サイドマップ画面の操作」(→P47)をご覧ください。

ハイウェイモード

ハイウェイモードでは、現在地またはスクロール先の施設の地図がサイドマップに表示されます。



情報画面

VICSの図形情報や文字情報画面では、情報画面とともに自車位置周辺の地図がサイドマップに表示されます。



リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。



サイドマップ画面の操作

サイドマップ付きリスト画面では、選択されているリスト項目の位置が、サイドマップに表示されます。



候補表示画面

候補表示画面では、選択されている施設の場所の地図がサイドマップに表示されます。



情報

選択している場所の詳細情報(→P62)を表示することができます。

ここへ行く

選択している場所を目的地としてルート探索(→P63)を行います。

メモ

- スケール表示(100mなど)にタッチすると、スケールを変更することができます。

セーフティインフォメーション

状況に応じて安全運転のための各種案内が行われます。

有料道注意地点・ 県境案内	<ul style="list-style-type: none"> ここからおよそ〇キロ先までは、十分運転に注意してください。 この先、右からの合流があります。ご注意ください。 この先、左からの合流があります。ご注意ください。 この先、合流があります。ご注意ください。 〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトの確認をしてください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。
細街路案内	実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。

メモ

- 有料道注意地点・県境案内は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、すべての踏切で案内されるわけではありません。
- 日没時刻になっても、すでにライトを点灯している場合は、ライト点灯案内は行われません。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)
- 以下のような条件等の場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
 - 自車位置が正しく表示されていないとき
 - 表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき

eスタート案内について

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。



メモ

- eスタート案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)

走行中表示される画面について

信号機が近づくと

進行方向に対して、約300 m以内の信号機のマークが最大5カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。



メモ

- オートハイウェイモードは、ON/OFF できません。→「機能設定をする」(P101)
- 一部表示対象外の有料道路もあります。
- 手動でハイウェイモードに切り換えるには、有料道路走行中にビュー切り換えメニューで「ハイウェイモード」を選びます。→「地図の表示方法を変える」(P41)

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

ハイウェイモード現在地画面の見かた

二番目に近い有料道路施設情報

ETCレーン案内
ETC 車載器の有無にかかわらず表示されます。

三番目に近い有料道路施設情報

現在地表示(サイドマップ)

SA/PA送りタッチキー
SA(サービスエリア)とPA(パーキングエリア)だけを順に送っていきます。



施設送りタッチキー

画面がカーソルモードに変化し、有料道路施設を現在地から近い順に送っていきます。四番目に近い有料道路施設を確認したい場合などに使います。

一番目に近い有料道路施設情報

メモ

- ハイウェイモードのサイドマップの地図方位はヘディングアップ固定となります。
- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と到着(通過)までの予想残り時間が表示されます。
- 次の施設には、施設のサービス情報(→P52)と料金(通過または有料道路から降りた際に精算する施設の場合)が表示されます。
- サイドマップの地図部分にタッチすると、現在地や選択中の施設付近の地図を表示させることができます。
- **SA/PA送り**にタッチすると、サービスエリアやパーキングエリアだけを順に送ることができます。
- 次の施設にイラスト情報が収録されている場合は、次の施設を選択すると、イラストが表示されます。
- 次の施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択することができます。
- 次の施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- VICS情報を取得している場合は、VICS情報(→P89)が表示されます。
- ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1 km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- **ビュー**にタッチすると、他の地図表示を選んで切り換えることができます。また、他の地図表示からハイウェイモードに戻すと、右画面は直前の地図表示の角度で表示されます。(例えば直前の地図表示がスカイビューの場合、ハイウェイモードの右画面は3Dで表示されます。)

料金表示について

- 有料道路上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線の場合は「*****」、料金非対応路線が含まれる場合は「*****円以上」と表示されます。
- 料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「**有料道路料金データについて**」(P219)
- 料金表示は、車両設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「**車両情報を設定する**」(P113)
- 各種ETC 割引料金については対応していません。

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 次の施設、前の施設にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

メモ

- 先の施設に直接タッチして、その施設を選択することもできます。
- サイドマップ (→P46) には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- 選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。地図表示した施設は、検索履歴 (→P60) に登録されます。
- 選んだ施設にイラスト情報が収録されている場合は、イラストが表示されます。
- 選んだ施設に分岐先路線がある場合は、分岐先を選択する画面が表示されます。

- 100施設先まで見ることができます。
- 選んだ施設に分岐施設とSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ▲ (現在地) を押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

分岐施設の分岐先の情報を見るには

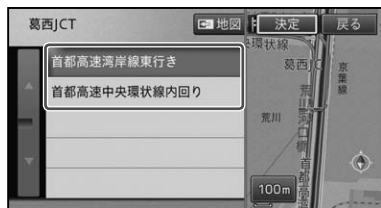
ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中に分岐施設がある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 分岐施設を選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



メモ

- **地図** にタッチすると、分岐施設がある地点の地図を表示します。確認後、**戻る** にタッチすると、分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。



サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

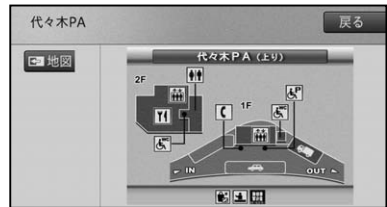
	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

メモ

- 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例:)と利用できない施設(例:)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。

施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチしたときに、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。



メモ

- 地図**にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自転車位置に最も近い混雑状況(渋滞または混雑)および規制情報が近い順に3件まで画面に表示されます。



メモ

- 施設間で交通規制があるときは、渋滞情報マーク(→P91)が表示されます。

有料道路の料金所に近づくとき

ETCレーン案内表示がONに設定されている場合は、ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくとき、ETCレーン案内が表示されます。



メモ

- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)
- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。
- QUICK SETUP (→P15) のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にETCレーン案内表示の設定が「ON」になります。

ETCカード有効期限切れ通知について

本機の電源ON時に、本機に接続したETC車載器にETCカードが挿入された場合、ETCのカード情報によりメッセージ表示と音声案内が行われます。

メモ

- 接続したETC車載器が有効期限通知機能に対応していない場合、案内は行いません。

・通常時の例

メッセージ：ETCが利用可能です。

ETCカード有効期限：

2000年0月

音声案内：ETCカードが挿入されました。

・有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ：ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。

音声案内：ETCカードの有効期限は今月末です。カードを確認してください。

・有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ：ETCカードの有効期限が切れています。

音声案内：ETCカードの有効期限が切れています。

自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する


自宅を登録しておく、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

1 自宅に車を止め、 (メニュー) を押し、**目的地** - **自宅** - **はい** にタッチする



▼
自宅が登録されます。

メモ

- 自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と自宅マーク  が自動的に入力されます。
- 自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P55) を参照して自宅の場所を探してください。
- QUICK SETUP (→P15) で登録することもできます。
- 場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「場所を登録する」(P81)
- 自宅の位置は変更できます。→「登録地の登録内容を編集する」(P83)
- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を削除(→P84)してから行ってください。場所を登録する操作および QUICK SETUP で自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 (メニュー) を押し、**目的地** - **自宅** にタッチする



▼
自宅までのルートが最大6本まで探索されます。**案内開始** にタッチすると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくとルート案内は終了します。

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

メモ

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路の上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 検索した場所(施設)に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。(駐車場ポイントリンク)

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的地の場所に十字カーソルを合わせる



以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 [メニュー]を押し、目的地 - 名称 にタッチする

2 施設の名称をひらがなで入力し、候補表示 にタッチする



ジャンル	ジャンルによる絞り込みができます。
エリア	都道府県による絞り込みができます。

メモ

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(よ)などは(よ)などで代用できます。
- 名称は20文字目まで入力できます。
- 検索方法は、入力した文字数に最も近い文字数の施設を表示します。
- 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設をリストから探す



50音順 五十音順に並び替えます。

4 施設名称にタッチする

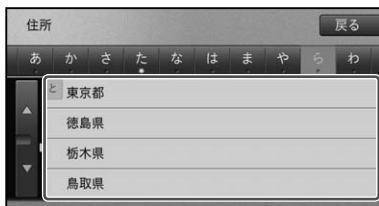
施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

- 1 **☰(メニュー)**を押し、**目的地** - **住所**にタッチする
- 2 **都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする**



- 3 **リストから番地を選んでタッチする**



メモ

- **主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。
- **番地入力**にタッチすると、番地を入力して指定することができます。
- 番地直接入力の場合で、番地を入力しないで**入力終了**にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- 住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

ジャンルで探す

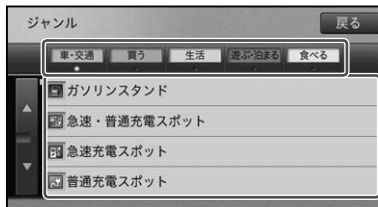
ジャンルタブから各種施設を探ることができます。

タブで絞り込めるジャンル

- 車・交通
- 買う
- 生活
- 遊ぶ・泊まる
- 食べる

1 [メニュー] を押し、**目的地** - **ジャンル** にタッチする

2 絞り込むジャンルのタブにタッチし、さらに絞り込むジャンルにタッチする



3 検索方法を選んでタッチする



自車周辺で探す 周辺で探す	自車位置周辺の施設を検索します。
カーソル位置周辺 (地図スクロールのみ)	カーソル位置周辺の施設を検索します。
エリア指定	エリアを絞り込んで検索できます。
路線順 (車・交通機関のみ)	路線別に絞り込んで検索できます。

メモ

- 表示される検索方法は、選んだジャンルによって異なります。

4 目的の施設にタッチする



施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

周辺施設を探す

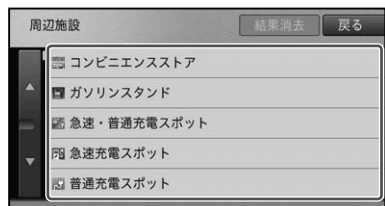
ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やルート周辺、スクロール先周辺の施設を最大50件まで探すことができます。

メモ

- ショートカットメニュー(→P38)の**周辺施設を探す**にタッチして操作することもできます。

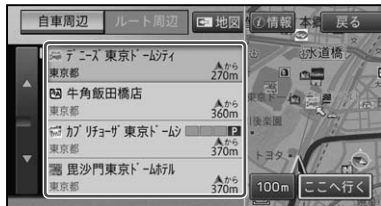
1 [メニュー] を押し、**目的地** - **周辺施設** にタッチする

2 ジャンルにタッチする



3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

4 目的の施設にタッチする



自車周辺	自車周辺の施設を検索します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設(ルート案内中のみ)を検索します。

メモ

- スクロール位置から操作した場合は、**自車周辺**および**ルート周辺**は表示されません。
- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: 🚗)と利用できない施設(例: 🚫)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- コンビニでは、酒(🍷)・タバコ(🚬)を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ファストフードでは、ドライブスルー(🚗)対応の店がわかるように表示されます。
- 🍷、🍷、🚬、🚗は一部表示されない施設もあります。
- 駐車場は、「車両情報を設定する」(→P113)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(🚫)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場を検索することもできます。
- ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は**自車周辺**にタッチします。

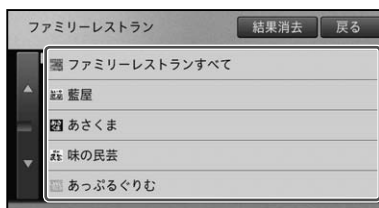
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。自車周辺またはスクロール位置で探す場合は、自車位置またはスクロール位置の半径約10 kmの範囲から検索されます。半径約10 kmの範囲内に施設が見つからなかった場合は、半径約30 kmの範囲から検索されます。

5 施設名にタッチする

- 選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。また検索した施設のロゴマークが、地図上に表示されます。
- 以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

ロゴマークの表示を解除するには

1 P57「周辺施設を探す」の手順2で結果消去にタッチする



ロゴマークが消去されます。

メモ

- ビュー** - **周辺検索結果消去** にタッチするか、車のエンジンスイッチをOFFにしてもロゴマークを消去できます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことができます。

- 1 **☰(メニュー)**を押し、**目的地** - **電話番号**にタッチする
- 2 **電話番号**を入力する



電話番号を全桁入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了**にタッチします。

メモ

- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 10桁まで入力できます (090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。
- ダイヤルQ2 (0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地点に登録されている場合は検索できます。

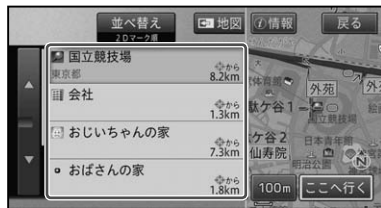
該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

登録地から探す

登録した場所のリストから探すことができます。

- 1 **☰(メニュー)**を押し、**目的地** - **登録地**にタッチする
- 2 **目的の場所**にタッチする



メモ

- **並べ替え**にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
近い順	自転車位置またはスクロール地点から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

選んだ登録地を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

検索履歴から探す

過去に検索した場所や目的地とした場所、ハイウェイモード中に地図表示した施設から探すことができます。

- 1 **☰(メニュー)を押し、目的地 - 検索履歴 にタッチする**
- 2 **目的の施設(履歴名)にタッチする**



▼
選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

マップコードから探す

マップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

メモ

- マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大13桁(拡張マップコードの場合)の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所もマップコードでは特定することができます。

- 1 **☰(メニュー)を押し、目的地 - マップコード にタッチする**

- 2 **マップコードを入力する**



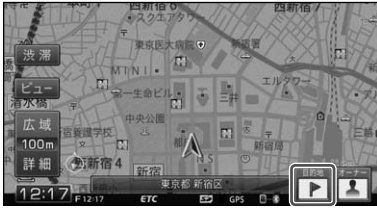
▼
13桁目を入力すると自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力終了**にタッチします。

▼
該当する地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P38)を参照してください。

かんたん目的地検索で探す

地図画面からの操作で、検索項目を絞り込んだ目的地メニューを使って、かんたんに探すことができます。

1 地図画面でかんたん目的地検索タッチキーにタッチする



2 検索方法を選んでタッチする



名称	名称で探す (→P55) の手順 2 ～ 4 を参照してください。
住所	住所で探す (→P56) の手順 2 ～ 3 を参照してください。
電話番号	電話番号で探す (→P59) の手順 2 を参照してください。
自宅	自宅までのルートが最大6本まで探索されます。 案内開始 にタッチすると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくとルート案内は終了します。

詳細情報を見る

目的地メニューを使って探した場所については、その場所の情報が収録されている場合に限り詳細情報を表示することができます。

メモ

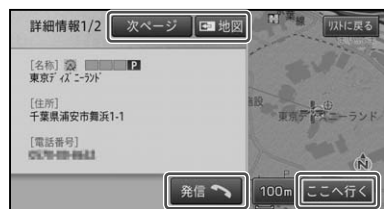
・利用した目的地メニューの項目によって、表示できる詳細情報の内容が異なります。

1 目的地メニューを使って場所を探す(→P55)

2 情報にタッチする

3 情報を確認する

電話番号／住所／名称／ジャンル／周辺施設から探した場合：



登録地／検索履歴から探した場合：



地図	地図画面が表示されます。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P179)
ここにへ行く	表示した地点までのルートを探します。

次ページ	次のページに切り換えます。
地図	地図画面が表示されます。
発信	登録されている電話番号に電話をかけます。(→P179)
ここにへ行く	表示した地点までのルートを探します。

メモ

・詳細情報には、施設のアイコンが表示されます。

駐車場あり：**P**

ATMあり：**ATM**

お酒の取り扱い(コンビニ)：**酒**

タバコの取り扱い(コンビニ)：**タバコ**

ドライブスルー(ファストフード)：**ドライブスルー**

上記アイコンは、一部表示されない施設もあります。

ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探す(→P55)

2 **ここへ行く** にタッチする



メモ

- 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路]か[有料道路]を確認する画面が表示される場合があります。その場合はどちらかを選んでください。
- 渋滞考慮ルート探索(→P69)が「ON」の場合は、VICS情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

▼
ルート案内開始画面が表示されます。



ルートファイル

出発地から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。(→P65)

詳細ルート設定

立寄地指定(→P66)、乗降IC指定(→P67)、出発地指定(→P68)ができます。

他のルート

現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。(→P65)

ルート地図

(探索ルートが1本の場合)

立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面におさまるように表示されます。(→P66)

ルート地図画面では、地図のスクロール(→P40)とスケール変更(→P41)ができます。

案内開始

現在選ばれているルートで案内を開始します。

メモ

- 走行を開始することで、案内を開始させることもできます。
- 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」(→P103)、「有料道路使用条件」(→P103)の探索条件に従ったルートになります。
- 立寄地や乗降ICを指定した場合、探索されるルートは1本のみとなります。

ルート案内開始画面の見かた

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

ルート表示

現在選ばれているルートが概略表示されます。

IC(インターチェンジ)表示

利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。



メニュー表示

(距離)

選ばれているルートの総距離が表示されます。

(所要時間)

機能設定(→P101)で設定した到着予想時刻速度を元に計算した所要時間が表示されます。

(料金)

利用する有料道路の料金区分と料金が表示されます。

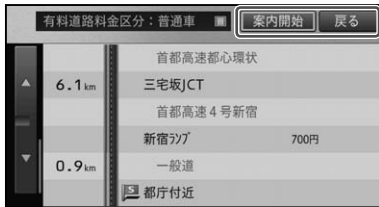
メモ

- ルート案内開始画面は、ノースアップ(→P43)となります。
- 渋滞情報(→P89)が取得できている場合は、渋滞を考慮した所要時間が表示されます。
- 料金区分と料金表示は、「車両情報を設定する」(→P113)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金および首都高速・阪神高速のETC車料金に対応していません。ただし、本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続している場合は、音声で割引料金が案内されることがあります。(→P72)
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「*****円」と表示されることがあります。
- サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

ルートプロフィールで確認する

1 **ルートプロフィール** にタッチする(→P63)

2 **案内開始** または **戻る** にタッチする



メモ

- ルート編集メニュー(→P78)からの操作では、**案内開始**ではなく、**終了**が表示されます。

他のルートを選ぶ

1 **他のルート** にタッチする(→P63)

2 **1～6** の番号でルートを選び **案内開始** にタッチする



地図スクロール スクロール確認画面(→P65)でスケール変更と地図のスクロールができます。

メモ

- 最大6本の候補ルートから選ぶことができます(候補ルートが同じになる場合もあります)。
- 現在選ばれているルートの探索条件は画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 燃費設定(→P186)をしている場合、ルート探索結果の中から最も燃料消費量の少ないルートをエコなルート(ECO)として表示させることができます。

スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P40)とスケール変更(→P41)ができます。



また、**候補切換**にタッチすると、ルートが切り換わり、**案内開始**にタッチすると選んだルートで案内を開始します。



ルート地図を表示する

1 **ルート地図**にタッチする
(→P63)

2 **案内開始**または**戻る**にタッチする



ルート地図画面では、地図のスクロール(→P40)とスケール変更(→P41)ができます。

詳細ルート設定をする

立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加して、立寄地を経由するルート案内を案内させることができます。

メモ

- すでに案内中のルートがある場合は、ショートカットメニュー(→P38)で**ここへ行く**にタッチすると、目的地にするか立寄地にするかのポップアップメニューが表示されます。**立寄地**にタッチして、立寄地を追加することができます。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

1 **詳細ルート設定** - **立寄地指定**にタッチする(→P63)



2 **追加**にタッチする



3 **場所を探して**(→P55) **立寄地**を決め、**決定**にタッチする



メモ

- 立ち寄る順番に指定します。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

4 **探索開始**にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え	ルート全体の総距離が短くなるように並べ替えます。
オート	
並べ替え	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。
マニュアル	

メモ

- さらに立寄地を追加するときは、手順**2**～**3**の操作を繰り返します。
- 立寄地は最大5カ所まで指定することができます。
- 乗降ICを指定(→P67)した地点は並び替えてできません。

指定した立寄地に立ち寄るルートが1本だけ探索され、案内開始画面(→P63)が表示されますので、**案内開始**にタッチします。

乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

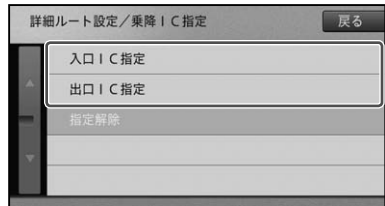
メモ

- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- 並べ替えや立寄地の追加または削除を行うと、指定した乗降ICは解除されます。
- スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。→「スマートICを考慮したルート探索」(P69)

1 詳細ルート設定 - 乗降IC指定にタッチする(→P63)



2 入口IC指定または出口IC指定にタッチする



3 入口または出口となるインターチェンジにタッチする



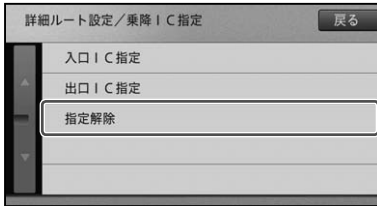
指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

メモ

- ジャンクション(JCT)を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降 IC 指定を解除するには

1 P67の手順 2 で指定解除にタッチする



2 入口・出口 / 入口のみ / 出口のみにタッチする



3 はいにタッチする

乗降 IC 指定を解除して、ルートが探索されます。

出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索することができます。

1 詳細ルート設定 - 出発地指定にタッチする(→P63)



2 場所を探して(→P55)出発地を決め、決定にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

1 P68「出発地を指定する」の手順 1 で出発地指定解除にタッチする



2 はいにタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルート探索機能について

学習ルート探索

出発地、立寄り地、目的地付近でよく使う道
を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 学習ルート探索はON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P101)
- 学習したルートを表示する機能はありません。
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去(→P87)してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習したすべてのルートが消去されますのでご注意ください。

スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマートIC考慮ルート探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

メモ

- スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P101)
- すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。
- スマートICに営業時間がある場合は、営業時間を考慮したルート探索を行います。スマートICの営業時間は、時間規制(→P69)と同様に考慮されます。
- スマートICは施設管理者の都合で閉鎖される場合があります。この場合はルート案内の対象となっても実際には利用できませんのでご注意ください
- QUICK SETUP(→P15)のETC取付状態設定で、「車に取り付けている」に設定した場合は、自動的にスマートIC考慮ルート探索の設定が「ON」になります。

渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)

FM多重放送(→P89)による交通規制情報を考慮してルート探索を行います。

メモ

- 渋滞考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「**機能設定をする**」(P101)
- 渋滞情報が取得できないときは、渋滞考慮ルート探索はできません。
- 必ずしも実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

時間規制を考慮したルート探索

通行規制の地域や時刻を考慮したルート探索を行います。

メモ

- 目的地によっては、時間規制考慮ルート探索の結果、探索できない場合があります。その場合はメッセージが表示され、規制を無視するか無視しないかを選ぶことができます。
- 時間・曜日・月日の条件付きで時間規制考慮ルート探索を行う場合は、探索開始時刻を基準に考慮します。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



メモ

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄り地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、「機能設定をする」(→P101) で設定した到着予想時刻速度が反映されます。またVICIS情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、「機能設定をする」(→P101)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄り地」とすることで、立寄り地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、上側にさらにその先の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が「案内地」と表示される場合があります。
- ルートインフォメーションは、スライド操作できます。→「ルートインフォメーションの操作」(P77)
- 案内地に近づく(一般道：約700 m、有料道：約2 km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- 情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に白の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。
- ルート探索については、「ルートに関する注意事項」(→P216)を参照してください。

案内地に近づくとき

案内地の手前約300 m (シンプルガイド時は500 m)に近づくとき、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向が表示されます。



アローガイド(工場出荷時の設定)



拡大図



メモ

- 交差点案内表示は、アローガイド/拡大図の変更ができます。→「機能設定をする」(P101)
- 「アローガイド」では、案内対象の交差点に情報がある場合、信号機マークが表示されます。また、次の案内地の情報がある場合は、画面上部に表示されます。
- 交差点案内表示は、AVソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- AVソース画面への交差点案内表示割り込み表示はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)
- 交差点案内表示中は、が表示されタッチすると、交差点案内を消すことができます。再度、交差点案内を表示したいときはにタッチします。

スライドで操作する場合：

交差点案内表示は、スライド操作で表示を切り換えることができます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	案内表示を解除します。
↓スライド	次の案内地を表示します。

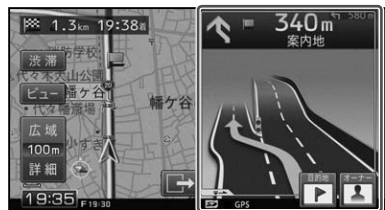
案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づくと、イラストが表示されます。

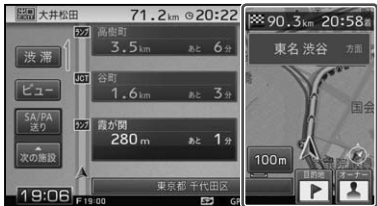


メモ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の分岐に近づくと

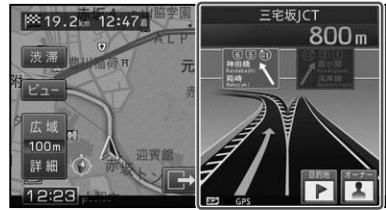
ルート上の有料道路分岐の手前約2 kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



メモ

- 地点によりデータが収録されていない場合は、表示されません。

また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくと、イラストが表示されます。場所によっては、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。



メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

有料道路の入口や出口の料金所に近づくと

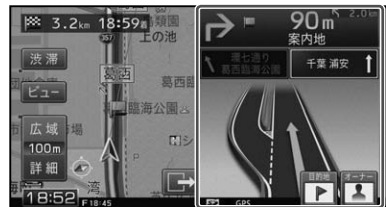
本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続している場合は、かつETCの情報を受信できている場合は、ETCの利用可否と料金が音声案内されます。また、料金についてはメッセージ表示も行います。

メモ

- ETCの料金表示は、現在地画面の場合のみ表示されます。
- ETCレーン案内表示機能については(→P53)をご覧ください。

有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



メモ

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

細街路案内に近づくと

ルート上の細街路（ピンク色に道塗りされた道路）に近づくと、メッセージと音声で案内されます。



メモ

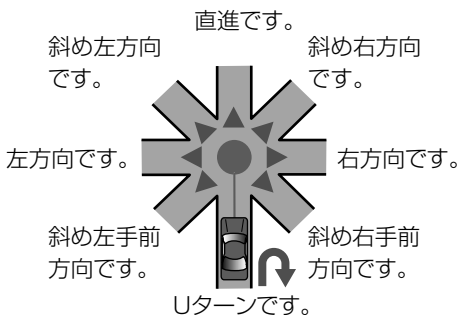
- ・メッセージは細街路走行中、表示し続けます。
- ・細街路内からルート走行を開始した、または細街路内でエンジンON/OFFした場合は、音声案内は行われません。ただし、メッセージは表示されます。
- ・細街路案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で以下のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ〇〇m先、側道を左方向です。
有料道路入口・出口案内	およそ〇〇m先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ〇〇km先、料金所です。
ETC料金案内	料金は、〇〇円でした。ETC利用料金が〇〇円割り引きされました。
スマートIC案内	その先、スマートICです。実際の案内標識に従ってお進みください。
レーン案内	およそ〇〇m先、右方向です。右折レーンがあります。
料金案内	料金は、〇〇円です。
信号機ジャスト案内	この信号を左です。

メモ

- ・右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- ・誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- ・本機のETC情報案内機能を利用するには、本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続する必要があります。
- ・ETC情報案内は、情報提供施設からの情報により、案内が行われます。
- ・信号機ジャスト案内、料金案内はON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)

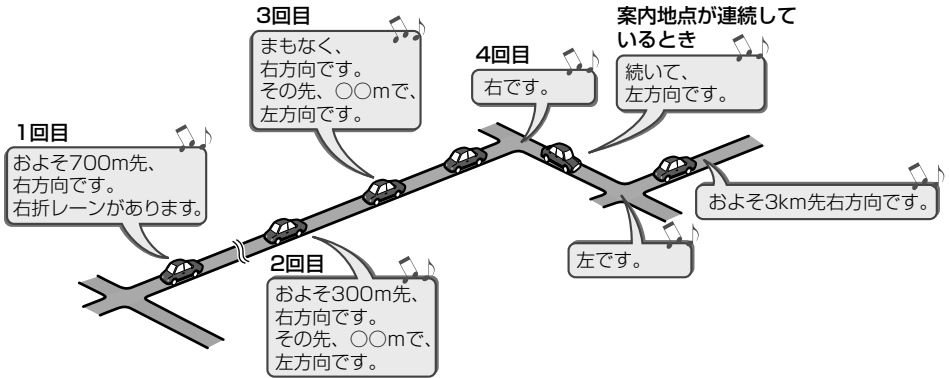
一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

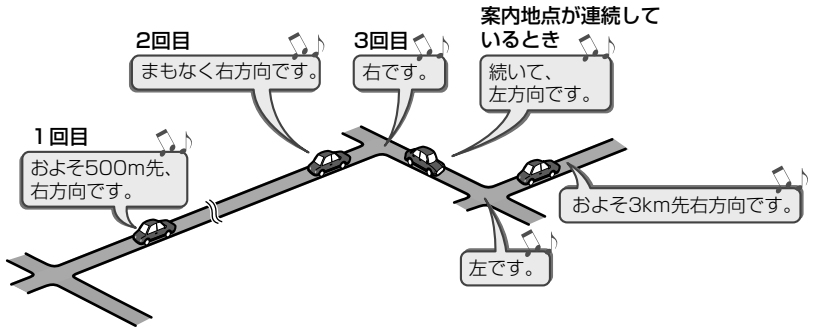
メモ

・音声案内の回数や内容をシンプルにすることができます。→「機能設定をする」(P101)

通常時



シンプルガイド時

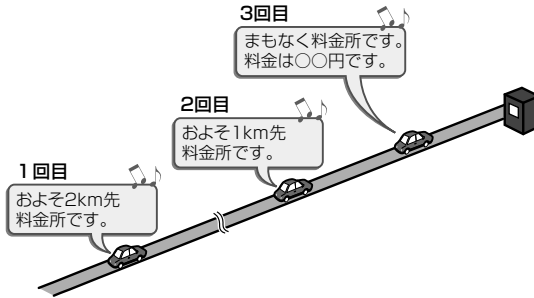


立寄地に近づいたら

立寄地の約300m手前に近づくと、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→P72)などが表示されます。



メモ

- 料金表示は、車両情報設定により、中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「車両情報を設定する」(P113)
- 料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 表示される料金は、各種ETC割引料金に対応していません。ただし、本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続している場合は、音声で割引料金が案内されることがあります。(→P72)

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。

メモ

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います(インテリジェントリルート)。

状況に応じて新しいルートを提案する

新しいルートが見つかったと、「新しい候補ルートが見つかりました」と音声案内が流れ、状況に応じた新しいルートを提案します。

メモ

- 案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面表示され、新ルートのみ案内となります。**確認**にタッチしてください(通行止め考慮オートリルート)。

スライドで操作する場合：

通行止め案内は、スライド操作で確認することができます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



↓スライド	通行止め案内を確認し、新ルートで案内します。
-------	------------------------

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

メモ

- ・VICS情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- ・音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- ・渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)
- ・案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と音声案内で確認することができます。



メモ

- ・**渋滞**にタッチするごとに、最大5カ所先の情報まで順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

ルートインフォメーションの操作


ルートインフォメーションをスライド操作すると、次の案内地を表示したり、案内表示を解除することができます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。

ルートインフォメーション



→スライド	案内表示を解除します。
↓スライド	次の案内地を表示します。

メモ

- ・案内表示を再表示したいときは、にタッチします。

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

メモ

・ルートプロフィールでのルート確認や立寄地や出発地、乗降ICの指定は、ルート案内開始画面(→P63)でも行うことができます。

1 (メニュー) を押し、**ルート編集** にタッチする



ルートの編集メニュー画面が表示されます。



ルート削除 案内中のルートを消去することができます。(→P79)

ルートプロフィール 設定したルートを確認することができます。(→P78)

詳細ルート設定 立寄地の追加など、ルートを詳細に設定することができます。(→P78)

立寄地送り 登録された立寄地に立ち寄る必要がなくなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。(→P79)

デモ走行 出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。(→P79)

ルートプロフィールで確認する

操作方法は、「ルートを探索する」-「ルートプロフィールで確認する」(→P65)と同様です。

条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「ルートを探索する」-「詳細ルート設定をする」(→P66)と同様です。

1 詳細ルート設定 - ルート再探索にタッチする



2 探索条件を変更して**探索開始**にタッチする



メモ

・上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定(→P101)には反映されません。

ルートを消去する

1 **ルート消去**にタッチする(→P78)

2 **はい**にタッチする



ルートが消去されます。

メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

立寄地を先送りする

1 **立寄地送り**にタッチする(→P78)

次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

デモ走行で確認する

1 **デモ走行**にタッチする(→P78)



メモ

- ・デモ走行中は、画面右側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- ・デモ走行中は、ルート編集メニュー(→P78)に**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了させることができます。
- ・デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

ルートを消去する

ルート案内を中止したい場合は、設定したルートを消去します。

メモ

・ルート編集メニューから消去することもできます。(→P78)

1 (メニュー) を押し、**ルート消去** にタッチする



2 **はい** にタッチする



案内中のルートが消去されます。

メモ

・消去したルートを元に戻すことはできません。

場所を登録する

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

メモ

- 自宅を含め1001地点まで登録できます。
- 登録地の情報をSDカードに保存したり、登録地のデータをSDカードから、本機に読み込ませたりすることができます。→「登録地を移行する」(P85)
- 登録地の名称やマークは変更することができます。→「登録地の登録内容を編集する」(P83)

場所を登録する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探ることができます。

また、登録した場所へ近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す(→P55)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

2 ここを登録するにタッチする



メモ

- 走行中は、手順2の操作後に地点が登録されません。手順3の画面は表示されません。

3 登録方法を選んでタッチする



4 入力終了にタッチする



メモ

- ジャンルリスト検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 手順4で登録する名称を変えることができます。→「文字の入力操作」(P30)

選べる登録方法について

登録方法	登録内容
「検索施設名称」で登録する	「探した場所の施設名称」
「この地名」で登録する	「探した場所の地名」
「自宅」で登録する	「自宅」
「会社」で登録する	「会社」
「実家」で登録する	「実家」
「友達の家」で登録する	「友達の家」
「おじいちゃんの家」で登録する	「おじいちゃんの家」
「おばあちゃんの家」で登録する	「おばあちゃんの家」
「おじさんの家」で登録する	「おじさんの家」
「おばさんの家」で登録する	「おばさんの家」
「田舎」で登録する	「田舎」
「ふるさと」で登録する	「ふるさと」
「彼女の家」で登録する	「彼女の家」
「彼氏の家」で登録する	「彼氏の家」
名前をつけて登録する	お好みの名前をつけて登録することができます。

登録地を編集する

登録地に関する情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更することができます。

1 **☰(メニュー)**を押し、**設定・編集**→**ナビデータ編集**にタッチする

2 **登録地編集**にタッチする



登録地の編集メニュー画面が表示されます。



編集	登録時に設定された内容を編集することができます。(→P83)
消去	登録地を消去することができます。(→P84)
全消去	すべての登録地を消去します。(→P84)
登録地移行	パスワードを設定することで、登録地をSDカードに保存したり、SDカード内の登録地データをナビ本体へ読み込みをさせることができます。(→P85)

登録地の登録内容を編集する

1 **編集**にタッチする(→P83)

2 登録内容を編集したい地点にタッチする



メモ

・**並べ替え**にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

3 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字（半角で20文字）まで入力できます。
-----------	-----------------------------------

電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

4 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の **■** マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。



プライベートマッピング



効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自転車から約500 m以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自転車から約500 m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、30分経過するか本機の電源を入れ直さない(エンジンをかけ直さない)と効果音は鳴りません。
- 登録地の効果音よりも、ルート、VICSの音声案内が優先されます。

登録地を消去する

1 消去にタッチする(→P83)



- **全消去**にタッチすると、P85手順4の確認画面を表示して登録地をすべて消去します。

2 消去したい登録地にタッチする



選んだ登録地には、 (チェックマーク) が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての登録地が選択されます。
全解除	選択されている登録地すべてを解除します。

メモ

- 並べ替え にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとサイドメニューが表示されます。

呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークの種類ごとに並べ替えます。

3 消去にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

登録地が消去されます。

登録地を移行する

1 登録地移行にタッチする
(→P83)

登録地移行メニュー画面が表示されます。



保存メモリーカード	本機に登録した登録地をSDカードに保存します。(→P85)
読み込みメモリーカード	SDカードに保存されている登録地を本機に読み込ませます。(→P86)
パスワード設定	登録地の保存、読み込み時に使用するパスワードを設定します。(→P85)
パスワード初期化	設定したパスワードを初期化します。(→P86)

パスワードを設定する

登録地の保存や読み込みを行うには、パスワードの設定が必要です。

1 パスワード設定にタッチする
(→P85)

2 パスワードを入力して入力終了にタッチする



メモ

- 入力できるパスワードは、半角数字で4桁までです。

確認のため再度、パスワード入力画面が表示されます。

3 手順2で入力したパスワードを入力して入力終了にタッチする

パスワードが設定されます。

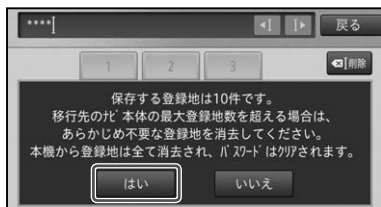
登録地を保存する

1 保存メモリーカードにタッチする
(→P85)

2 パスワードを入力して入力終了にタッチする



3 はいにタッチする



登録地をSDカードに保存します。

メモ

- すでに登録地がSDカードに保存されている場合は**はい**にタッチすると本機に登録されている登録地を上書き保存します。キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。
- 保存は登録地、自宅の全件分のデータを一括で保存します。
- SDカードに保存する登録地は、アクセス日時順で保存します。



- 登録地保存中は、本機の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

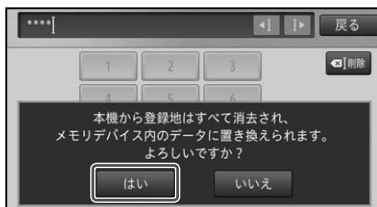
登録地を読み込む

1 読み込みメモリーカードにタッチする(→P85)

2 パスワードを入力して**入力終了**にタッチする



3 はいにタッチする



登録地を読み込みます。

メモ

- すでに登録地が本機に保存されている場合は**はい**にタッチするとSDカードに登録されている登録地を上書き保存します。キャンセルする場合は**いいえ**にタッチしてください。
- 本機へ正常に読み込みが行われた場合は、SDカード内の登録地は消去されます。
- SDカードからの読み込み中に本機の登録地件数が登録可能最大数に達した場合は、その旨メッセージを表示し、それ以上の読み込みは行いません。

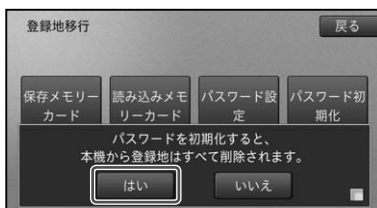


- 登録地読み込み中は、本機の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

パスワードを初期化する

1 パスワード初期化にタッチする(→P85)

2 はいにタッチする



パスワードが初期化されます。

メモ

- パスワードの初期化を行った場合、同時に本機の登録地もすべて消去されます。初期化する際は、事前にSDカードへ登録地を保存(→P85)することをお勧めします。

その他のデータを編集する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

検索履歴を消去する

場所を探すと、探した場所が自動的に検索履歴として300件まで保存されていきます。
次の手順で検索履歴を消去することができます。

1 **☰(メニュー)を押し、設定・編集 - ナビデータ編集 にタッチする**

2 **検索履歴消去 にタッチする**



3 **消去したい検索履歴にタッチする**



選んだ検索履歴には、 (チェックマーク) が付き、引き続き選ぶことができます。

全選択	すべての検索履歴が選択されます。
全解除	選択されている検索履歴すべてを解除します。または解除したい検索履歴を選んで解除できます。

4 **消去 にタッチする**

確認メッセージが表示されます。

5 **はい にタッチする**

選んだ検索履歴が消去されます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→「学習ルート探索」(P69)

よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

 **メモ**

・すべての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 **☰(メニュー)を押し、設定・編集 - ナビデータ編集 にタッチする**

2 **学習ルート消去 にタッチする**



確認メッセージが表示されます。

3 **はい にタッチする**

学習ルートが消去されます。

走行軌跡を消去する

地図画面に表示される走行軌跡を消去することができます。

メモ

- 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→「機能設定をする」(P101)

1 **設定・編集** (メニュー) を押し、**ナビデータ編集** にタッチする

2 **走行軌跡消去** にタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする

▼
走行軌跡が消去されます。

FM-VICS情報を利用する

車載のアンテナでFM-VICS情報（VICSセンターから提供）を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

VICS情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見することもできます。

VICS情報の表示形態

VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル 3: 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



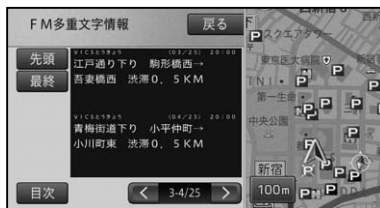
レベル 2: 簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル 1: 文字

文字で道路交通情報が表示されます。



メモ

- ・ 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM多重放送によるVICS情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
--:--	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去される。）

メモ

- 本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P93)
- VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **渋滞**にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自車周辺の規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。（→P91）

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		行事
	気象		火災
	災害		原因なし
	駐車場閉		
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

「VICSレベル3 情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P93)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報(道塗り情報)と別のエリア(隣接する都道府県など)のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を文字表示や音声で案内させることができます。

メモ

- VICS情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した渋滞情報を自動的に音声で案内します。

メモ

- 渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「機能設定をする」(P101)
- 案内中のルートが無い場合は、案内されません。

渋滞チェック

渋滞にタッチすると、ルート上に発生している渋滞情報を地図表示と文字情報および音声案内で確認することができます。



 メモ

- ・**渋滞**にタッチすることにより、最大5カ所先の渋滞場所まで順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 (メニュー) を押し、**情報**にタッチする

2 **渋滞情報**にタッチする



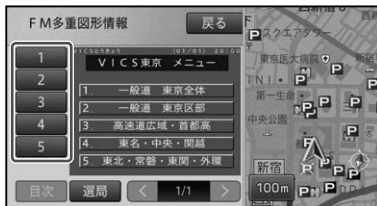
3 **表示させたい情報**にタッチする



図形情報	レベル2 (簡易図形) の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1 (文字) の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

4 **見たい情報の番号**にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



 メモ

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**<**、**>**にタッチすると、ページを送ります。**先頭**/**最終**にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次**にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局**にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「放送局を選ぶ」(P93)

放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するとき、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 (メニュー) を押し、**情報** にタッチする

2 **渋滞情報** にタッチする



3 **放送局選択** にタッチする



4 **放送局を探す方法** にタッチする



オート	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信感度が高い場合「High」、受信感が低い場合「Low」と表示されます。

各種情報の利用

ETC情報を利用する

本機に販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを接続すると、ETCカードに記憶された履歴情報やETC車載器の登録情報を見たり、ETC利用時の案内の設定ができます。

1 (メニュー) を押し、**情報** - **ETC** にタッチする

ETCメニューが表示されます。



ETC利用履歴	ETCカードの利用履歴を表示します。(→P94)
ETC登録情報	ETCカードの登録情報を表示します。(→P94)
ETC設定	ETC使用時の案内や警告音などの設定を行えます。(→P95)

メモ

- **ETC利用履歴**は、ETC車載器にETCカードが挿入されていないと選択できません。

メモ

- 利用履歴は新しいものから最大100件まで表示されます。
- 乗降したインターチェンジ名が不明の場合は、インターチェンジ番号が表示されます。
- ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

ETC登録情報を表示する

1 **ETC登録情報** にタッチする (→P94)

ETC登録情報	終了	戻る	
車載器管理番号	00005	04040701	000120
車載器登録番号	051	00001010	
セトアツア カード 発行年月日	2010年10月13日		
セトアツア カード 情報有効年月日			
統一エラーコード			

ETC利用履歴を表示する

1 **ETC利用履歴** にタッチする (→P94)

ETC利用履歴	終了	戻る
2011/02/15	16:42	800円
新座本線 (下り) ~ 川越		
2011/02/15	16:05	500円
美女木第二 ~ 美女木第二		
2011/02/15	15:41	700円
西銀座 ~ 西銀座		
2011/02/15	12:09	700円
永福本線 ~ 永福本線		

ETC設定を行う

- 1 **ETC設定**にタッチする
(→P94)
- 2 設定したい項目にタッチし、**ON**または**OFF**にタッチする



ETC割り込み表示	ETCを利用するときに、利用料金などの割り込み表示をするかしないかの設定を行います。
ETC音声案内	ETCを利用するときに、利用料金などの音声案内をするかしないかの設定を行います。
ACCオン時警告表示	エンジンスイッチをLOCKからACCにした時に、ETCカードの異常などを画面に表示するかしないかの設定を行います。
ACCオン時警告音声案内	エンジンスイッチをLOCKからACCにした時に、ETCカードの異常などを音声で案内するかしないかの設定を行います。
カード抜き忘れ警告	エンジンスイッチをACCからLOCKにした時に、ETCカードの抜き忘れをお知らせするかしないかの設定を行います。

車両メンテナンスを利用する

お車の消耗品の交換時期などの更新時期を設定しておく、交換または更新時期が近づいたことをお知らせするメッセージを表示することができます。

車両メンテナンスでは、以下の消耗品があらかじめ設定されています。

必要により、「任意入力1～5」を利用して、消耗品を任意に設定することができます。

消耗品項目

エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、タイヤローテーション、タイヤ交換、エアクリナー、ブレーキパッド交換、Vベルト、冷却水(LLC)交換、ブレーキフルード交換、ATF交換、任意入力1、任意入力2、任意入力3、任意入力4、任意入力5

メモ

- ・消耗品の項目は、SDから一括で設定することもできます。詳しくは販売店にお問い合わせください

1 [メニュー] を押し、**情報 - メンテナンス** にタッチする

メンテナンスメニューが表示されます。



項目設定	消耗品の交換時期のお知らせを走行距離と使用期間から設定できます。(→P96)
詳細設定	交換時期のお知らせを自動通知するかしないかの設定や設定項目内容の全消去、全更新を行えます。(→P97)

消耗品などの交換時期を設定する

1 項目設定にタッチする (→P96)

2 項目を選んでタッチする

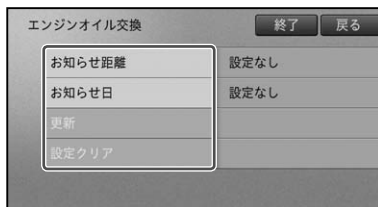


メモ

- ・すでにお知らせされた項目にはチェックマークが付きます。
- ・任意入力1～5を選ぶと、メニューの項目名を手入力して設定することができます。

3 お知らせ距離 または お知らせ日にタッチする

例：エンジンオイル交換



お知らせ距離	お知らせする走行距離 (km) を入力して設定します。
お知らせ日	お知らせする日付を入力して設定します。
更新	最新の設定に更新します。
設定クリア	全ての設定を未設定状態にします。

▼
各項目設定後、**終了**または**戻る**にタッチすると手順**3**の画面に戻ります。

メモ

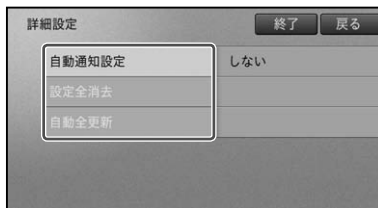
- **更新**は、**お知らせ距離**または**お知らせ日**が設定されると選択できます。
- お知らせ日の更新は、お知らせ日を設定した日と、お知らせする予定だった日から更新間隔を月単位で決め、更新を行った日にその更新間隔をプラスして設定します。

例：お知らせ日を4ヶ月後に設定した場合
1/1(設定日) 6/1(更新日)
5/1(お知らせ予定日) → 10/1(お知らせ予定日)

詳細設定をする

1 詳細設定にタッチする (→P96)

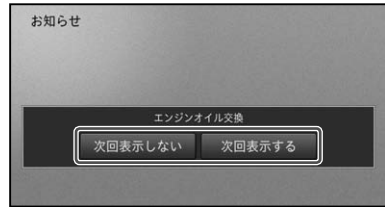
2 項目を選んで設定する



自動通知設定	本機起動時に交換時期のお知らせをするかしないかの設定が行えます。
設定全消去	設定したお知らせ時期の項目をすべて消去します。
自動全更新	お知らせ時期が過ぎた項目をすべて更新します。

お知らせ確認画面

車両メンテナンスを設定した期日になると、本機の電源をON（エンジンをON）にすると、次のようなお知らせのメッセージが表示されます。



メモ

- お知らせメッセージは、**次回表示しない**にタッチすると、次の期日になるまで表示されなくなります。**次回表示する**にタッチすると、次の期日に更新するまで毎回表示されます。
- 次の期日に更新するには、P96手順**3**の画面で**更新**にタッチします。

その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見たり、利用することができます。

シリアルナンバーを確認する

本機のシリアルナンバーを確認することができます。

1 [メニュー] を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする

シリアルナンバーが表示されます。



センサー学習状況を見る

センサーの学習状況を確認できます。

1 [メニュー] を押し、**情報** - **システム情報** にタッチする

2 **センサー学習状況** にタッチする



センサー学習

現在の学習状態(「3Dハイブリッドモード」または「センサー初期学習中」)が表示されます。

トリップメーター / 車速パルス数

現在本機が認識しているトリップ数、パルス数が表示されます。

メモ

- **トリップメーター**または**車速パルス数**にタッチすると積算された数字をリセットすることができます。
- **センサー学習**にタッチすると、センサーをリセットできます。詳しくは、「**センサーリセットについて**」(→P213)をご覧ください。

前後G / 回転速度計

現在本機が認識している前後Gの強さがバーで、左右の回転速度が扇で表示されます。

傾斜計

現在本機が認識している上下の傾きが道路の傾きで表現されます。

距離 / 方位 / 傾斜 (3D) の学習度

距離・方位(左右方向の回転)・傾斜に関して、どの程度学習結果が蓄積されたかが表示されます。バーが右端に達すると、学習の度合いが最高であることを表します。



- 走行状態の確認は必ず同乗者が行き、運転者は運転に専念してください。

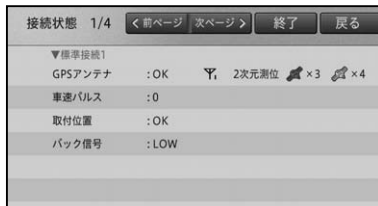
メモ

- 学習度およびトリップメーター、車速パルス数は本機の故障、修理などにより、クリアされることがあります。また、本機の状態によっては、積算されない場合があります。
- センサー未学習の状態では、パルス数以外の表示は意味を持ちません。
- 本機の電源をOFF(エンジンをOFF)にしても、トリップメーターと車速パルス数は積算される場合があります。
- 傾斜(3D)学習度が表示されないときは、車速パルスが正しくカウントされていません。車速信号入力が正しく接続されていないことが考えられます。販売店にご相談ください。

接続状態を確認する

各機器の接続状態、信号の状態などを確認できます。

- 1 **☐(メニュー)を押し、情報—システム情報にタッチする**
- 2 **接続状態にタッチする**



メモ

- **<前ページ>/<次ページ>** で画面を切り換えられます。
- 正しく表示されない場合や「測定不可」と表示された場合は、販売店にご相談ください。

GPS アンテナ

GPSアンテナの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「OK」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストはGPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていていれば良好です。その右側には、現在の測位状態(3次元測位/2次元測位/未測位)と受信中の衛星の数が表示されます。橙色の衛星マークは測位に使用している衛星の数、黄色の衛星マークは捕捉中の衛星の数を示します。3つ以上の衛星の電波を受信すると現在地の測位が可能になります。測位について詳しくは「GPSによる測位」(→P204)をご覧ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。

車速パルスの確認は、安全な場所で、低速(5 km/h程度)で行ってください。

取付位置

本機の設置状態が表示されます。しばらく走行してから確認してください。正しく設置されているときは「OK」と表示されます。「振動許容範囲外」または「取付角度許容範囲外」と表示されたときは、販売店にご相談ください。

バック信号

バック信号入力の接続状態が表示されます。シフトレバーを「R」(リバース)の位置にすると「HIGH」と「LOW」の表示が入れ替わります。ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーを操作し、正しく表示されることを確認してください。この接続は、車の前進/後退を判断するためのものです。

※接続しないと前進後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。また、別売のバックモニターを接続している場合は、シフトレバーを「R」(リバース)の位置にしても自動的にバックモニターの映像に切り換えることができません。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキの状態が表示されます。パーキングブレーキがかかっているときは「ON」、解除されているときは「OFF」と表示されます。ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

イルミネーション

イルミ電源の状態が表示されます。車のモールライトが点灯しているときは「ON」、消灯しているときは「OFF」と表示されます。

電源電圧

車のバッテリーから本機に供給されている電源電圧が表示されます。エンジンをかけた状態で11 V～15 Vの範囲にあれば正常です。なお、最大で±0.5 V程度の誤差があるため、この表示は参考値です。

Bluetooth 機器 1～3

Bluetooth機器との接続(ペアリング)状態が表示されます。正しく接続(ペアリング)されているときには接続した機器のデバイス名、BDアドレス、プロファイル名が表示され、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。その右側に表示されているアンテナのイラストは本機とBluetooth機器間の電波強度を確認できます。

※電波強度を確認するには、Bluetooth設定を行い、本機とBluetooth機器をワイヤレス接続する必要があります。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(→P107)をご覧ください。

ETCユニット

ナビ連動ETCシステム(販売店装着オプション)の接続状態が表示されます。必ずセットアップしてから確認してください。正しく接続されている場合は「OK」、接続されていない場合は「未接続」、エラーが発生した場合はエラー番号が表示されます。

車載器番号

ナビ連動ETCシステム(販売店装着オプション)が接続されている場合、車載器管理番号が表示されます。

カード有効期限

ナビ連動ETCシステム(販売店装着オプション)に挿入したETCカードの有効期限が表示されます。

データバージョンを確認する

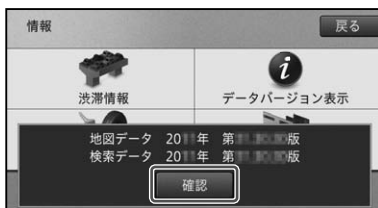
本機に収録された地図データおよび検索データのバージョンを確認することができます。

1 **☰(メニュー)** を押し、**情報** にタッチする

2 **データバージョン表示** にタッチする



データバージョンが表示されます。



3 **確認** にタッチする

機能設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の3つのメニューに分類されています。

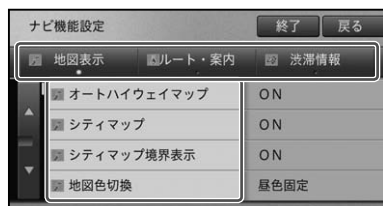
- 地図表示(→P102)
- ルート・案内(→P103)
- 渋滞情報(→P105)

1 [メニュー]を押し、**設定・編集**にタッチする

2 **ナビ機能設定**にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



メモ

- 分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

4 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 設定を終了する場合は、**終了**にタッチする

設定内容の詳細

地図表示

*は工場出荷時の設定です。

オートハイウェイマップ

- 「ON」* 自動的にハイウェイモードにします。
「OFF」 自動的にハイウェイモードにしません。

シティマップ

- 「ON」* 市街地図が表示されます。
「OFF」 通常の地図が表示されます。

シティマップ境界表示*¹

- 「ON」 シティマップの境界を画面に表示します。
「OFF」* シティマップの境界を画面に表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

- 「時刻連動」 日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
「イルミ連動」* スモール灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。
「昼色固定」 常に昼画面のままです。

走行軌跡表示

- 「ON」* 走行軌跡が表示されます。
「OFF」 走行軌跡は表示されません。

走行軌跡自動消去

- 「自宅付近」 自宅で登録した場所から約100 m以内の地点で本機の電源を切る（エンジンを切る）と、走行軌跡が自動的に消去されます。
「電源オフ時」 本機の電源を切る（エンジンを切る）と走行軌跡が自動的に消去されます。
「OFF」* 走行軌跡は自動消去しません。

2D（ノーマルビュー）固定スクロール

- 「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
「OFF」* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

現在地情報の表示

- 「市区町村名」* 現在地が市区町村名で表示されます。
「走行道路名」 現在地が走行道路名で表示されます。（道路名がない場合は市区町村名が表示されます。）
「緯度経度」 現在地が緯度経度で表示されます。

かんたん目的地ボタン表示

- 「ON」* かんたん目的地検索タッチキーが表示されます。
「OFF」 かんたん目的地検索タッチキーは表示されません。

※1 シティマップが「ON」のときのみ設定できる機能です。

▲ ルート・案内

*は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

- 「推奨」* 信号機の数少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
- 「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
- 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」* 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

- 「標準」* フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
- 「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

学習ルート探索

- 「ON」* 学習したルートを検討します。
- 「OFF」 学習したルートを検討しません。

渋滞考慮ルート探索

- 「ON」* 渋滞情報を考慮してルートが探索されます。
- 「OFF」 渋滞情報は考慮されません。

スマートIC考慮ルート探索^{*1 *2}

- 「ON」 スマートICを利用するルートが探索されます。
- 「OFF」* スマートICを利用しないルートが探索されます。

道のり・到着予想時刻表示

- 「目的地」* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。
- 「立寄地」 次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

到着予想時刻速度(一般道)

- 「20 km/h」 平均速度 20 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「30 km/h」* 平均速度 30 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「40 km/h」 平均速度 40 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「50 km/h」 平均速度 50 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「60 km/h」 平均速度 60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度(有料道)

- 「60 km/h」 平均速度 60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「80 km/h」* 平均速度 80 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「100 km/h」 平均速度 100 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

- 「アローガイド」* 案内地までの距離(数値と矢印)と交差点名の情報が強調され表示されます。
- 「拡大図」 平面的な交差点拡大図が表示されます。

ETCレーン案内表示※3

- 「ON」* 有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
「OFF」 ETCレーン案内は表示されません。

一般道シンプルガイド

- 「ON」 ルート誘導時の音声案内をシンプルにします。
「OFF」* シンプルガイドを行いません。

信号機ジャスト案内

- 「ON」* 信号機ジャスト案内を行います。
「OFF」 信号機ジャスト案内を行いません。

AV画面への割り込み

- 「ON」* AV画面表示中でも交差点案内図などを割り込み表示します。
「OFF」 AV画面表示中は、交差点案内図などを割り込み表示しません。

有料道注意地点・県境案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

踏切案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

リフレッシュ案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

ハートフル音声※4

- 「ON」* 一日の最初の起動時に今日の日付を音声で案内します。
「OFF」 今日の日付を音声で案内しません。

ライト点灯案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

eスタート案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

渋滞オートガイド

- 「ON」* ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」 ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

細街路案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。

※2 QUICK SETUPの「ETC取付状態設定」が「車に取り付けている」のときは自動的に「ON」になります。
「車に取り付けていない」のときは自動的に「OFF」になります。

※3 QUICK SETUPの「ETC取付状態設定」を行うと、自動的に「ON」になります。

※4 12月24日～12月25日は「メリークリスマス」と、「1月1日～1月3日」は「あけましておめでとうございます」と、日付案内の前に音声再生されます。

渋滞情報

*は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

「有料道・一般道」*	有料道路・一般道路の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」	有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」	一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」	渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示※¹

「ON」*	道塗り表示されます。
「OFF」	道塗り表示されません。

順調表示※²

「ON」	渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」*	順調表示はされません。

規制表示※¹

「ON」*	交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」	交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場マーク表示※¹

「ON」*	駐車場の渋滞情報マークが表示されます。
「OFF」	駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

※¹ 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※² 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

Bluetooth設定をする

ハンズフリー機能やBluetooth Audio機能、スマートフォン連携機能などをお使いになるには、Bluetooth機器をあらかじめ設定する必要があります。

メモ

- 最大5台のBluetooth機器を登録できます。Bluetooth機器の切り換えかたや削除の方法は「Bluetooth機器を切り換える」(→P108)、「Bluetooth機器を削除する」(→P109)をご覧ください。
- AVプロファイルを持つBluetooth対応携帯電話を登録した場合、Bluetooth Audioの優先接続機器として設定されます。詳しくは「Bluetooth Audioの操作のしかた」(→P140)をご覧ください。
- QUICK SETUP (→P15) で設定することもできます。

Bluetooth機器使用上の注意

- 本機は、Bluetoothワイヤレス接続にのみ対応しています。接続ケーブルなどを使つての接続はできませんので、ご注意ください。
- Bluetoothに対応した機器でも、機器によっては本機との接続に制限がある場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (HandsFreeProfile)	ハンズフリー通話
OPP (ObjectPushProfile)	メモリダイヤル読み込み
PBAP (Phone Book Access Profile)	メモリダイヤル読み込み
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)	AV機器のリモコン機能
SPP (Serial Port Profile)	シリアル通信

- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などのロック機能を解除してから接続してください。

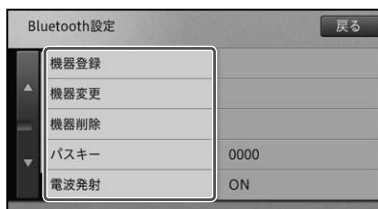
Bluetoothの設定を行う

1 [] (メニュー) を押し、設定・編集 - 電話・通信 - Bluetooth設定にタッチする

メモ

- 携帯電話メニュー画面(→P179)や、Bluetooth Audio画面(→P140)で **Bluetooth設定** にタッチして操作する方法もあります。

2 設定する項目を選んでタッチする



機器登録 Bluetooth接続するBluetooth機器を本機に登録します。あらかじめBluetooth機器のBluetooth設定をONにしてください。(→P107)

機器変更 Bluetooth接続するBluetooth機器を2台以上登録したときは、手動で切り換えることができます。(→P108)

機器削除 Bluetooth登録したBluetooth機器を削除します。(→P109)

パスキー	本機のパスキーを変更することができます。(→P109)
電波発射	本機からの電波発射をON/OFFすることができます。(→P110)
携帯電話持ち込み忘れ案内	本機を起動してから、所定時間内に本機と携帯電話の接続がされない場合の案内をON/OFFすることができます。(→P110)

Bluetooth機器を登録する

1 機器登録にタッチする (→P106)

メモ

- Bluetooth Audioが再生中の場合、再生が中断されます。また確認のメッセージが表示されますので、中断して登録を行う場合は**はい**を、中断したくない場合は**いいえ**を選んでください。
- すでにBluetooth機器が5台登録されている場合は、**機器削除**にタッチしてBluetooth機器の削除を行ってから(→P109)、Bluetooth機器の登録を行ってください。

▼

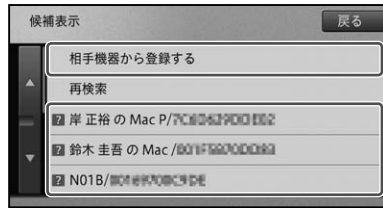
周辺のBluetooth機器を自動的に探します。検索は約20秒間行われ、10機器まで発見できます。

▼

Bluetooth機器が見つかると、リスト表示されます。

お使いのBluetooth機器によっては本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、**相手機器から登録する**にタッチして、Bluetooth機器の登録メニューから本機を登録してください。詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

2 登録するBluetooth機器にタッチする



3 本機またはBluetooth機器を操作してペアリングを行う



メモ

- Bluetooth機器を最初に登録する際は、接続相手を特定するため、ペアリング操作が必要です。ペアリング方法はお使いのBluetooth機器によって異なります。本機またはBluetooth機器の画面表示に従ってペアリングしてください。
- Bluetooth機器に本機を登録(機器登録・機器認証)する方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ハンズフリー通話、メモリダイヤル転送^{*}、Bluetooth Audio、NaviCon操作、smart nAVVi Link操作に対応しています。
※ お使いのBluetooth機器によっては、各機能に対応していない場合があります。

▼

登録完了のメッセージが表示されます。

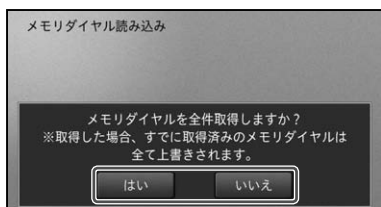
4 確認にタッチする



登録したBluetooth機器のプロファイルによっては以下の設定が続けて行えます。

メモリダイヤル読み込み

登録したBluetooth機器のメモリダイヤルを本機に読み込むことができます。



設定完了のメッセージが表示されます。



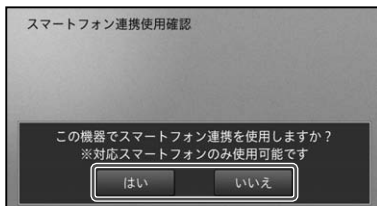
Bluetooth Audio 使用確認

登録したBluetooth機器でBluetooth Audio機能を使用するかしないかを選びます。



スマートフォン連携使用確認

登録したスマートフォンでスマートフォン連携機能を使用するかしないかを選びます。



設定完了のメッセージが表示されます。



5 確認にタッチする

Bluetooth機器を切り換える



メモ

- Bluetooth Audioを使用中にBluetooth機器の切り換え操作を行うと、Bluetooth Audioの再生が中断されます。

1 機器変更にタッチする (→P106)

2 切り換える Bluetooth 機器にタッチする



3 項目を選んでタッチする



ハンズフリー	ハンズフリー機能を使用します。
Bluetooth Audio	Bluetooth Audio機器として使用します。
スマートフォン連携	スマートフォン連携機能を使用します。

メモ

- ・「ハンズフリー」に設定した場合は **HFP**、「Bluetooth Audio」に設定した場合は **AVRCP**、「スマートフォン連携」に設定した場合は **OPP** のアイコンが表示されます。
- ・「Bluetooth Audio」に設定すると、AVソースを Bluetooth Audio に切り換えたときに自動的に接続される優先接続機器となります。

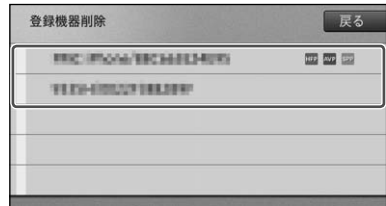
Bluetooth 機器を削除する

メモ

- ・選んだ Bluetooth 機器が発着信中、通話中の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。

1 機器削除にタッチする (→P106)

2 削除する Bluetooth 機器にタッチする



3 はいにタッチする

選択した Bluetooth 機器が削除されます。

パスキーを変更する

1 パスキーにタッチする (→P106)

2 変更するパスキーを入力し、入力終了にタッチする



電波発射をON/OFFする

1 **電波発射** にタッチする
(→P106)

2 **ON** または **OFF** にタッチする



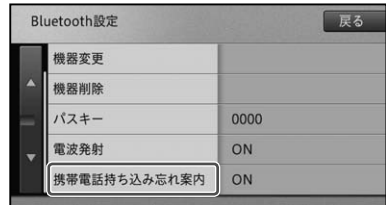
ON	電波発射を行います。
OFF	電波発射を行いません。

メモ

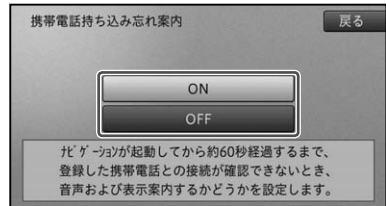
- 電波発射をOFFに設定すると、本機からの登録操作やパスキーの変更はできません。

携帯電話持ち込み忘れ案内を設定する

1 **携帯電話持ち込み忘れ案内** にタッチする(→P106)



2 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	携帯電話持ち込み忘れ案内を行います。
OFF	携帯電話持ち込み忘れ案内を行いません。

ナビゲーションの音量を設定する

ナビゲーションの案内音量、ハンズフリー時の受話・着信音量の調整と、案内音声や受話音を出力するスピーカー設定を行います。

メモ

・オーディオの音量の調整については、「オーディオの音量を調節する」(→P122)をご覧ください。

音量設定をする

ナビゲーションの案内音量やハンズフリー時の受話音量と着信音量の調整、操作音のON/OFFを設定します。

メモ

・QUICK SETUP (→P15) で設定することもできます。

1 [] (メニュー) を押し、設定・編集 - 音量設定 にタッチする

メモ

・設定・編集 - 電話・通信 - 音量設定 にタッチして操作する方法もあります。

2 設定したい項目にタッチする



案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

受話音量

+	受話音量が大きくなります。
-	受話音量が小さくなります。

着信音量

+	着信音量が大きくなります。
-	着信音量が小さくなります。



・操作音をOFFに設定された場合、SDカード挿入不良などの警告音も鳴りません。ご注意ください。

案内/電話スピーカー設定をする

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受信音などを、どのフロントスピーカーから出力するかを設定します。

工場出荷時は「フロントL+フロントR」です。

1 [] (メニュー) を押し、設定・編集 - システム設定 にタッチする

2 案内/電話スピーカー設定にタッチする



3 出力させたいスピーカーにタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL+	フロント左右から出力します。
フロントR	
フロントR	フロント右側から出力します。

車両情報を設定する

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路料金の案内に反映されます。

メモ

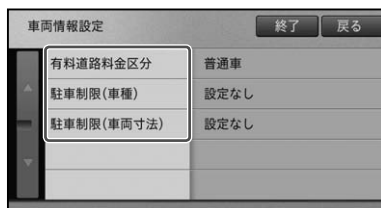
・QUICK SETUP (→P115)で設定することもできます。

1 [メニュー] を押し、**設定・編集** にタッチする

2 **車両情報設定** にタッチする



3 各項目を選んで内容を設定する



有料道路料金区分 有料道路走行時の料金区分を設定します。(→P113)

駐車制限(車種) 駐車場利用時の車種制限を設定します。(→P113)

駐車制限(車両寸法) 駐車場利用時の車両寸法制限を設定します。(→P114)

メモ

・ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

4 **終了** にタッチする

有料道路料金区分の設定

1 **有料道路料金区分** にタッチする (→P113)

2 該当する区分を選んでタッチする



駐車制限(車種)の設定

1 **駐車制限(車種)** にタッチする (→P113)

2 該当する車種を選んでタッチする



選ばれた車種のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

・該当する車種が無い場合は、何も設定しないでください。

3 **戻る** にタッチする

駐車制限(車両寸法)の設定

1 **駐車制限(車両寸法)**にタッチする(→P113)

2 入力する項目を選んでタッチする



3 車検証などを参考に寸法を入力し、**入力終了**にタッチする

例: **長さ(L)**を選んだ場合



引き続き他の項目を入力することができません。入力を終了する場合は**戻る**にタッチしてください。

メモ

- 一度設定した値をクリアするには、それぞれの入力画面で**設定解除**にタッチします。

その他の設定をする

自転車位置のずれを修正する

自転車位置がずれた場合は、修正することができます。自転車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 **☰ (メニュー)** を押し、**設定・編集 - 自転車位置補正** にタッチする

2 **自転車位置修正** にタッチする



3 **8方向矢印キー** にタッチして**十字カーソル**を現在地に合わせる

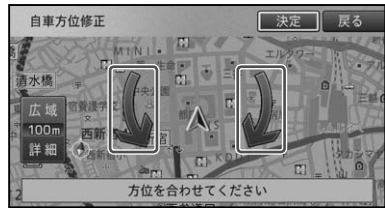


メモ

- ・ **微調整** にタッチすると、8方向矢印キーの表示/非表示を切り換えることができます。
- ・ 8方向矢印キー表示中に走行を開始した場合は、**微調整** にタッチして8方向矢印キーを消すことが、一度だけできます。

4 **決定** にタッチする

5 左右の回転矢印にタッチして自転車の向きを調整する



6 **決定** にタッチする

自転車位置が修正されます。

走行中の道路を切り換える

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自転車位置が実際と異なる種類の道路に乗ってしまった場合に、自転車位置を一般道路または有料道路へ切り換えることができます。

1 **☰ (メニュー)** を押し、**設定・編集 - 自転車位置補正** にタッチする

2 **別道路切換** にタッチする

異なる種類の道路へ自転車位置が修正されます。



メモ

- ・ 自転車位置が修正できない場合もあります。
- ・ ルート案内中は、自転車位置を修正後ルートを探し直します。

セキュリティ設定をする

セキュリティ設定をすることで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。



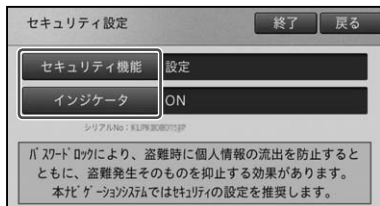
• 本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れるときは必ずキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いいたします。

1 **☰(メニュー)を押し、設定・編集 - システム設定 にタッチする**

2 **セキュリティ設定 にタッチする**



セキュリティ設定画面が表示されます。



セキュリティ機能

本機が一度バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、主な機能が使えないように設定することができます。セキュリティ機能の設定は、セキュリティ解除時に必要となるパスワードと、それを入力する際に表示されるヒントを設定します。(→P116)

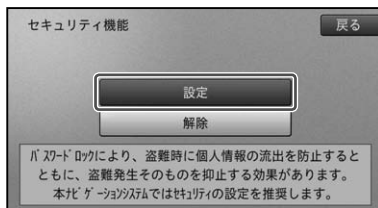
インジケータ

セキュリティ機能を有効に設定した場合、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをOFF)にすると盗難予防としてのセキュリティインジケータを点滅させるように設定することができます。(→P118)

セキュリティ機能を設定する

1 **セキュリティ機能 にタッチする (→P116)**

2 **設定 にタッチする**



メモ

• すでにパスワードが設定されている場合は、パスワードを変更するかしないかのメッセージが表示されます。変更する場合は、**はい** にタッチして現在のパスワードを入力して **入力終了** にタッチします。

ヒントの設定

3 **マルチワードで設定 または 固定文より設定 を選んでタッチする**



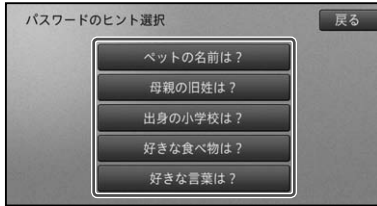
マルチワードで設定

お好みの言葉をパスワードのヒントとして設定できます。

固定文より設定 5つの固定文からパスワードのヒントを選んで設定できます。

例：固定文より設定を選んだとき

4 5つの固定文からヒントを選んでタッチする



メモ

- ・ **マルチワードで設定**を選んだときは、お好みの言葉をヒントとして入力し、**入力終了**にタッチします。

パスワードの設定

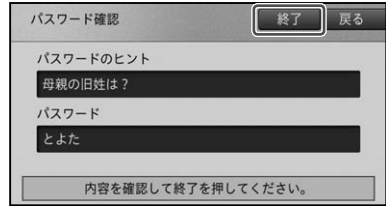
5 設定したいパスワードを入力し、**入力終了**にタッチする



メモ

- ・ 入力できるパスワードは、半角または全角で12文字以内です。

6 設定したパスワードとヒントを確認し、**終了**にタッチする



セキュリティ機能が設定されます。

セキュリティ機能が働いた場合の操作

セキュリティ機能を有効に設定した状態で、バッテリー交換などを行った場合、ACCをONにすると、以下の画面が表示されます。

1 **確認**にタッチする



2 設定したパスワードを入力し、**入力終了**にタッチする



メモ

- ・ 万が一、パスワードを忘れた場合は、販売店にご相談ください。

3 確認にタッチする



ナビゲーションが起動します。

インジケータを設定する

メモ

・セキュリティ機能が有効に設定されている場合のみ操作できます。

1 インジケータにタッチする (→P116)

2 ONまたはOFFにタッチする



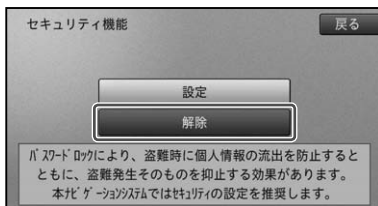
ON	LED点滅します。
OFF	LED点滅しません。

セキュリティ機能を解除する

セキュリティ機能を解除したい場合は、以下のように操作します。

1 セキュリティ機能にタッチする (→P116)

2 解除にタッチする



3 はいにタッチする



4 確認にタッチしてパスワードを入力し、入力終了にタッチする



セキュリティ機能が解除されます。

スライド枠を表示する

スライド操作が行える範囲を示す枠を表示することができます。

- 1 **☰(メニュー)**を押し、**設定・編集** - **システム設定**にタッチする
- 2 **スライド枠表示設定**にタッチする



- 3 **ON** または **OFF** にタッチする



ON	スライド枠が表示されます。
OFF	スライド枠が表示されません。

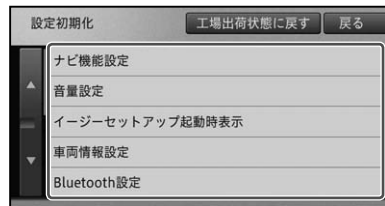
設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

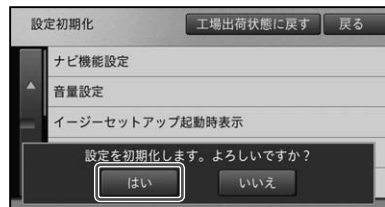
- 1 **☰(メニュー)**を押し、**設定・編集** - **システム設定**にタッチする
- 2 **設定初期化**にタッチする



- 3 **初期化したい項目**にタッチする



- 4 **はい** にタッチする



選んだ項目が初期化されます。

一括で工場出荷状態に戻す

工場出荷状態に戻す にタッチすると、お客様がご購入後に設定した内容や記録したデータを一括で工場出荷時の状態に戻すことができます。



- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は、事前に控えておいてください。

消去される項目は、以下のとおりです。

消去される項目

機能設定、オーディオ設定、画質調整設定、音量設定、車両情報設定、地図のビューとスケールの設定、走行軌跡、自転車位置情報、VICS FMレベル3データ、VICS放送局 受信モード設定・受信周波数、メモリダイヤル、Bluetooth設定、ロゴマーク表示設定、ロゴマークリストカスタマイズ、案内中のルート、学習ルートデータ、登録地、検索履歴、エコ情報、エコプライズなど

消去されない項目

センサー学習、セキュリティなど



メモ

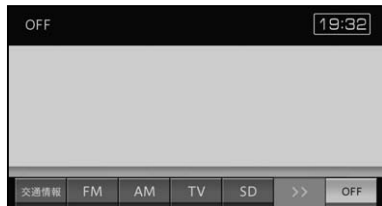
- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください。(→ P98)

オーディオの基本操作

AVソース画面を表示する

1 ナビゲーション画面のときに♪(オーディオ)を押す

AVソース画面が表示されます。



ナビゲーション画面に戻るには、▲(現在地)を押します。

メモ

- AVソースがONの状態では▲(現在地)を押したときは、AVソースの音声はそのままにナビゲーション画面に戻ります。

映像系AVソースについて

TVなどの映像系AVソースの場合は、画面を切り換えるとはじめに映像のみ表示します。操作タッチキーなどを表示させたい場合は、一度画面にタッチしてください。



メモ

- 操作タッチキーは、閉じるにタッチするか8秒間何も操作しないと消えます。

AVソースプレートの表示について

地図画面のまま、本体のボタンによる選局・選曲操作などを行った場合は、地図画面上部にAVソースプレートが表示されます。AVソースプレートは、表示されてから約4秒間何も操作が行われないと消えます。AVソースプレートには、現在再生中のAVソースの状態が表示されます。

AVソースプレート

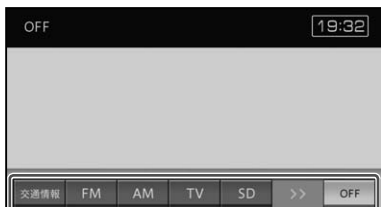


AVソースを切り換える

AVソースの切り換えは、タッチ操作(AVソースアイコン)で行います。

1 AVソース画面を表示する

2 お好みのAVソースアイコンにタッチする












AVソースアイコン

選んだAVソースに切り換わります。

 メモ

- AVソースアイコンの **▶▶** にタッチすると、表示しきれなかったAVソースアイコンが表示されます。もう一度タッチすると、元の状態に戻ります。
- TVなどの映像系AVソースの場合は、一度画面にタッチして、操作タッチキーを表示してから操作してください。
- ナビゲーション画面表示中は音声のみが切り換わり、**♪** (オーディオ) を押しと、AVソース画面が表示されます。
- 機器を接続していないソースはご使用になれません。
- ステアリングスイッチ装備車では、MODEスイッチでソースを順に切り換えることができます。

AVソースアイコンについて

	幹線道路などで放送されている交通情報を受信したいときに選びます。
	音楽CDやCD-R/RWなどを再生したいときに選びます。
	FMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	AMラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	ワンセグ放送を見たいときに選びます。
	SDカードに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
	Bluetooth Audioを使いたいときに選びます。
	外部オーディオ機器などを使いたいときに選びます。
	選択中のAVソースをOFFにしたときに選びます。

 メモ

- 各ソースアイコンは、再生の準備ができていたソースのみ表示されます。
- ソースによっては、設定や接続が必要です。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

1 OFFにタッチする

AVソースがOFFになります。

 メモ

- **♪** (オーディオ) を長く押しても、AVソースをOFFにすることができます。
- ステアリングスイッチ装備車では、MODEスイッチを長く押しソースをOFFにすることができます。

オーディオの音量を調整する

オーディオの音量調整をします。



- 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお使いください。

1 +または- (音量調整)を押す

+	音量が大きくなります。
-	音量が小さくなります。

 メモ

- ナビゲーションの案内音声が出力中の場合、音量の調整ができません。案内音声が出力されていない状態のときに操作してください。
- AVソースごとの音量の差を調整することもできます。→「ソースレベルアジャスター設定」(P147)
- ナビゲーションの案内音声出力時、自動的にオーディオの音を消したり小さくしたりすることもできます。→「消音設定」(P148)をご覧ください。
- ステアリングスイッチ装備車では、-/+スイッチで音量を調整することができます。

映像画面時計表示設定

映像系 AV ソース表示中の画面上で、時計表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 **⏏(メニュー)を押し、設定・編集**
—オーディオ—toタッチする

2 **映像画面時計表示—toタッチする**



3 **ON または OFF—toタッチする**



ON	時計を表示します。
OFF	時計を表示しません。



緊急警報放送 (EWS) の受信について

EWS (Emergency Warning System) とは、テレビで緊急警報を受信して、災害の発生を知らせるシステムです。ワンセグ放送を受信中、視聴番組でEWSがあった場合、緊急メッセージが警告音声とともに表示されます。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧ください。対応の可 (○) 否 (×) をご確認ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります (→P201)。また、以下の表に記載されている以外のファイル形式は再生できません。

ファイル形式	拡張子	 CD-R/RW	 SDカード
WMA	.wma	○	○
MP3	.mp3	○	○
AAC	.m4a	×	○
WAV	.wav	×	○

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする(→P121)

2 受信したい放送局にタッチする



メモ

- プリセットされた周波数や放送局がリスト表示されます。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。

表示切換	周波数スケール表示画面に切り換わります。周波数スケール表示画面でタッチすると、リスト表示画面に切り換わります。(→P124)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にユーザープリセットに登録します。(→P126)
SEEK または SEEK	周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
FM1⇄FM2 (FMの場合)	バンドを切り換えます。(→P125)
AM1⇄AM2 (AMの場合)	
プリセット切換	プリセットの種類(→P125)を切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を 押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀または▶を 長く押す	受信できる放送局を自動的に探す(SEEK)
◀または▶を 押し続ける	周波数を連続で送る(NON STOP SEEK)

メモ

- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

周波数スケール表示画面に切り換える

1 表示切換にタッチする(→P124)



スライドで操作する場合：

周波数スケール表示画面でラジオ受信中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	プリセットチャンネルをアップします。
←スライド	プリセットチャンネルをダウンします。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする(→P124)

タッチすることにより、「ユーザープリセット」↔「エリアプリセット」が切り換わります。

メモ

- エリアプリセットに設定しておくことで、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではFM / AMそれぞれに2つのバンドがあり、バンドごとにプリセットメモリー(1～6)を使い分けることができます。

1 FM1↔FM2またはAM1↔AM2にタッチする(→P124)

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- 普段はFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」に切り換える(→P125)

2 ◀SEEK / SEEK▶にタッチして登録したい放送局(周波数)を選ぶ(→P124)

3 登録したいプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする (→P124)



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを交通情報にする (→P121)

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



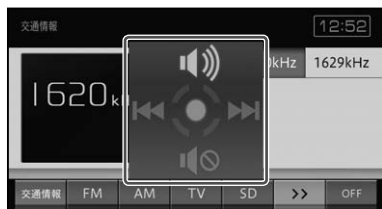
1620 kHz	1 620 kHzにします。
1629 kHz	1 629 kHzにします。

本体のボタンで操作する場合：

◀◀ を押す	1 620 kHzにします。
▶▶ を押す	1 629 kHzにします。

スライドで操作する場合：

交通情報受信中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	1 629 kHzを受信します。
←スライド	1 620 kHzを受信します。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

ワンセグ放送を見る

ワンセグ放送を視聴することができます。

メモ

- TVソースを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア(→P132)をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P131)



- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

ワンセグ放送を受信する

1 AVソースをTVにする (→P121)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

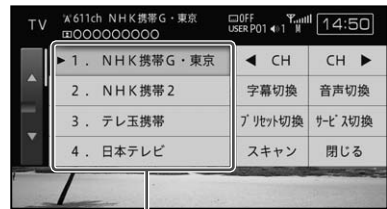
2 画面にタッチする

シンプル操作タッチキーが表示されます。



1 ~ 12	キーを押してプリセットチャンネルを選局します。 ユーザープリセットの場合、長くタッチすると現在受信中の放送局が登録されます。
番組表	番組表を表示します。(→P130)
番組内容	番組内容を表示します。(→P131)
詳細	操作タッチキーを表示します。
閉じる	シンプル操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

操作タッチキー



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。 3桁チャンネルを順に送ります。 ◀ CH または CH ▶
字幕切換	字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P131)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P131)
プリセット切換	プリセットの種類(→P129)を切り換えます。
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→P130)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信可能な放送局を自動的に登録します。(→P131)
閉じる	映像画面に戻ります。

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を 押す	プリセットチャンネルを順 に送る
◀または▶を 長く押す	受信できる物理チャンネル を自動的に探す (SEEK)

スライドで操作する場合：

ワンセグ受信中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	プリセットチャンネルをアッ プします。
←スライド	プリセットチャンネルをダ ウンします。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

- ワンセグの音量は、他のAVソースより低い
ため、他のAVソースからワンセグに切り換え
ると、音が小さく感じられる場合があります。
ソースレベルアジャスターでAVソースご
との音量の違いをそろえることができます。(→
P147)

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソー
スプレートに表示されます。

	ステレオ放送
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度

プリセットの種類を切り換
える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリ
セット)を呼び出すか、あらかじめ本機に
登録されている自車周辺の放送局(エリア
プリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする
(→P128)

タッチすることにより、「ユーザープリセ
ット」↔「エリアプリセット」が切り換わり
ます。

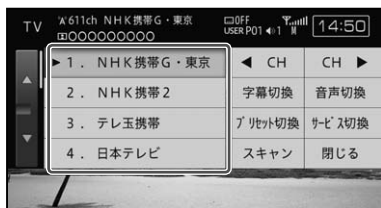
メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺
の放送局がリストに表示され、かんたんに放送
局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャ
ンネル)変更が行われた場合には、受信できな
い場合や受信した放送局が表示と異なる場合
があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに12局まで手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

- 1 「ユーザープリセット」にする（→P129）
- 2 ◀CH / CH▶ にタッチして登録したい放送局を選ぶ（→P128）
- 3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

番組表を表示する

現在視聴している放送局の番組表を最大10番組まで表示できます。

- 1 番組表を見たい放送局を選んで番組表にタッチする（→P128）

選んだ放送局の番組表が表示されます。



リスト項目

メモ

- リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。（→P131）
- **終了**にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

- 1 サービス切換にタッチする（→P128）

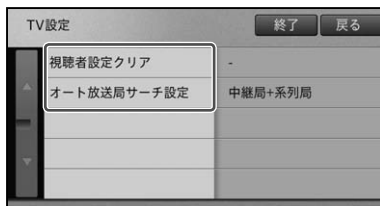
別のサービスが表示されます。

ワンセグの機能設定をする

ワンセグ放送を受信する際の機能を設定します。

- 1 **☰ (メニュー) を押し、設定・編集 - オーディオ - TV設定にタッチする**

TV設定メニューが表示されます。



視聴者設定 クリア

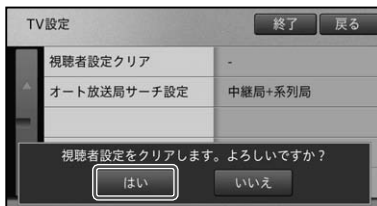
廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去します。

オート放送局 サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

視聴者設定クリア

- 1 **視聴者設定クリアにタッチする (→P132)**
- 2 **はいにタッチする**



視聴者設定が消去されます。

オート放送局サーチ設定

工場出荷時は「中継局+系列局」です。

- 1 **オート放送局サーチ設定にタッチする (→P132)**
- 2 **放送局を選ぶ**



中継局+系列局

自動で中継局・系列局を探します。

中継局

自動で中継局を探します。

OFF

中継局・系列局は探しません。

音楽CDを聴く

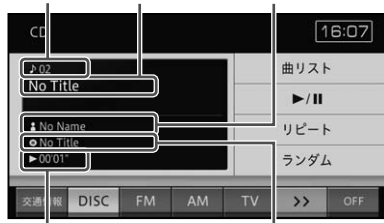
音楽CDの基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→P27)

自動的に再生が始まります。

トラックNo. 楽曲名 アーティスト名



再生中トラックの 経過時間 アルバム名

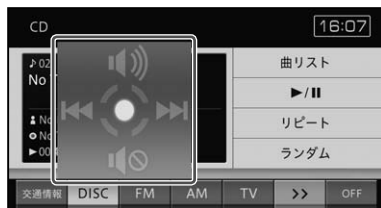
曲リスト	曲リストを表示します。 (→P134)
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。 (→P134)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P134)

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を 押し	トラックのダウン/アップ
◀ または ▶ を 長く押し	早戻し/早送り

スライドで操作する場合：

CD再生中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	トラックをアップします。
←スライド	トラックをダウンします。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P121)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P200)を参照してください。
- アルバム名、楽曲名、アーティスト名は、CD-TEXTから情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
- アルバム名：No Title
- 楽曲名：No Title
- アーティスト名：No Name
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3データ(CD-R/RW)のデータが混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P133)

2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- 通常再生画面に戻るには、**終了**または**戻る**にタッチします。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P133)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT ↔ TRACK REPEAT

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P133)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はALL REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にリピート再生やリピート再生の範囲を超える操作を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

CD-R/RW(WMA/MP3)を聴く

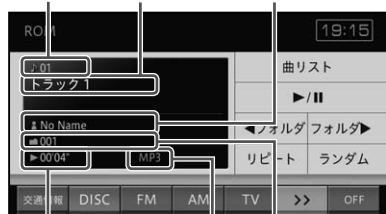
CD-R/RW(WMA/MP3)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→P27)

自動的に再生が始まります。

ファイルNo. 楽曲名 アーティスト名



再生中ファイルの
経過時間

フォルダー No./
アルバム名

ファイル種別

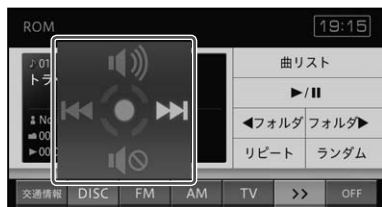
曲リスト	曲リストを表示します。 (→P136)
▶/ 	再生中は一時停止します。 一時停止中は再生を再開します。
◀フォルダ	フォルダーをダウンします。
フォルダ▶	フォルダーをアップします。
リピート	リピート再生を行います。 (→P136)
ランダム	ランダム再生を行います。 (→P136)

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を 押す	ファイルのダウン/アップ
◀または▶を 長く押す	早戻し/早送り

スライドで操作する場合：

CD-R/RW 再生中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	ファイルをアップします。
←スライド	ファイルをダウンします。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P121)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P200)を参照してください。
- ID3 Tag/WMA Tag(→P202)からタイトル情報を取得できた場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバム名：フォルダー名
 - 楽曲名：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3データ(CD-R/RW)のデータが混在しているディスクを再生した場合、CDのみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P135)


メモ

- **曲リスト** に長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(ファイル名)にタッチする



メモ

-  にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大192、ファイル数は255です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をFILE REPEATに指定すると、再生中のファイルを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする (→P135)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → ALL REPEATに
戻る

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイル(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P135)

タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- FOLDER REPEATとランダム再生中に他のフォルダーの曲を再生した場合、FOLDER REPEATはなくなり、ランダム再生のみの再生となります。

SDの操作のしかた

本機に接続したSDカード内の音楽ファイル(WMA/MP3/AAC/WAV)の操作について説明します。



- SDカードの出し入れは、決められた手順で行ってください。→「SDカードの出し入れ」(P28)
異なる手順で出し入れを行うと、SDカードに保存したデータが破損する場合があります。



- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - SDカード：最大容量 32 GB、ファイルシステムFAT 32/16、SDHC対応
- 再生可能なファイルに関しては「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(→P123)をご覧ください。

再生する

1 AVソースをSDにする (→P121)

前回再生していたファイルから再生されます。

ファイルNo. 楽曲名 アーティスト名



再生中ファイルの
経過時間

ファイル種別

フォルダー No./
アルバム名

曲リスト	曲リストを表示します。(→P138)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
◀フォルダ	フォルダーをダウンします。
フォルダ▶	フォルダーをアップします。
リピート	リピート再生します。(→P138)
ランダム	ランダム再生します。(→P139)

本体のボタンで操作する場合：

◀または▶を 押す	ファイルのダウン/アップ
◀または▶を 長く押す	早戻し/早送り

スライドで操作する場合：

SDのファイル再生中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	ファイルをアップします。
←スライド	ファイルをダウンします。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

- 再生中のMP3/WMA/AACファイルにTag情報が存在する場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- Tag情報を取得できなかった場合やWAVファイルの場合は以下のように表示されます。
 - アルバム名：フォルダー名
 - 楽曲名：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- WMAのときにTagのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーNo.は、階層の深いフォルダーを優先にファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- ファイルNo.は、同一フォルダー内でファイルシステムから見つかった順に割り振られます。また、再生順は接続したメディア内のファイル構成に依存します。
- DRM(デジタル著作権管理)が設定されたファイルは再生できません。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P137)

メモ

- 曲リストに長くタッチすると、ルートフォルダー内のリストを表示します。

2 聴きたい曲(ファイル)にタッチする



メモ

- ⏪ にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダー数は最大300、ファイル数は最大5 000です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P137)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → ALL REPEAT
に戻る

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中のSDを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイル(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(FILE REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生であるALL REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

再生順を変えて再生することができます。

1 **ランダム**にタッチする (→P137)



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。
- 通常再生であるOFFは、画面に表示されません。

Bluetooth Audioの操作のしかた

AVプロファイルに対応したBluetooth機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio機器内の音楽データを本機で再生することができます。AVプロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

接続プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△

○：できます。 △：Bluetooth Audio機器により異なります。 ×：できません。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

Bluetooth Audio機器の登録

Bluetooth Audio機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBluetooth Audio機器を登録する必要があります。→「Bluetoothの設定を行う」(P106)

登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定されたBluetooth Audio機器は、AVソースがBluetooth Audioに切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。

メモ

- 本機に登録されていないBluetooth Audio機器は、接続することができません。
- 優先接続するBluetooth Audio機器を変更したい場合は、Bluetooth設定で行ってください。→「Bluetooth機器を切り換える」(P108)
- Bluetooth Audio機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 ソースをBluetooth Audioに切り換える(→P121)

自動的にBluetooth Audio機器と接続を行い、再生が始まります。

メモ

- Bluetooth機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。**はい**にタッチして、登録操作を行ってください。(→P106)



曲リスト 曲リストを表示します。(→P142)

表示切換 プレイリスト画面に切り換わります。

▶ 再生します。一時停止中は、再生を再開します。

|| 一時停止します。

◀グループ グループをダウンします。

グループ▶ グループをアップします。

リピート	リピート範囲を切り換えます。(→P142)
ランダム	ランダム再生をON/OFFします。(→P142)
接続解除	本機とBluetooth Audio機器の接続を解除します。Bluetooth Audio機器と未接続の場合は、 機器接続 が表示されます。タッチすることでナビ側から接続を行います。(→P143)
Bluetooth設定	Bluetooth機器の設定を行います。(→P106)

プレイリスト画面

現在再生中の曲を含むプレイリストを表示します。同一プレイリスト内での選曲が可能です。別のプレイリストから選曲したいときは、「リストから選んで再生する」(→P142)をご覧ください。



プレイリスト項目
選んだ曲を再生します。

本体のボタンで操作する場合：

◀ または ▶ を押す	トラックのダウン/アップ
◀ または ▶ を長く押す	早戻し/早送り

スライドで操作する場合：

Bluetooth Audio再生中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	トラックをアップします。
←スライド	トラックをダウンします。
↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

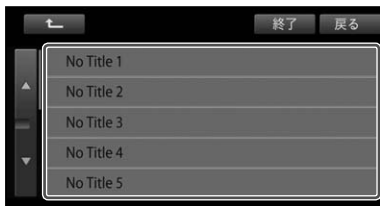
- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
- お使いのBluetooth Audio機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth Audio機器によっては、早戻し/早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP接続のみの場合は ▶ や ⏮ などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio機器側で操作してください。
- Bluetooth Audio使用中に、ハンズフリー機能や電話帳転送機能を使用すると、一時的にBluetooth Audioの機能は停止します。
- A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCP Ver1.3またはA2DP+AVRCP Ver1.4で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(Bluetooth Audio機器によっては表示されない場合もあります) また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになるBluetooth Audio機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

1 曲リストにタッチする (→P140)

2 聴きたい曲にタッチする



選んだファイルが再生されます。

メモ

- にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。Bluetooth Audio 機器によってはルートフォルダーより下の階層をトップ階層にしている場合があるため、トップ階層では操作できない場合があります。
- フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする (→P141)

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

ALL REPEAT → **TRACK REPEAT** → **GROUP REPEAT** → **ALL REPEAT**に
戻る

ALL REPEAT	通常の再生状態です。再生中の機器を繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (TRACK REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート再生範囲は画面にアイコンで表示されますが、通常再生である ALL REPEAT は、画面に表示されません。

ランダム再生

選んだリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする (→P141)

タッチすることにより、ランダム再生の範囲が以下のように切り換わります。

OFF → **GROUP RANDOM** → **ALL RANDOM** → **OFF**に戻る

GROUP RANDOM	再生中のグループ内をランダムに再生します。
ALL RANDOM	すべての曲をランダムに再生します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBluetooth Audioの画面には表示されません。

Bluetooth Audio機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBluetooth Audio機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- ACCをOFF/ONした場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射をOFF/ONした場合
- Bluetooth機器の登録を行った場合

メモ

- 以下の場合、自動接続の対象外となります。Bluetooth Audio機器側から再接続してください。(→P143)
 - Bluetooth Audio機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
 - Bluetooth Audio再生中にBluetooth Audio機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合

Bluetooth Audio機器が自動的に接続されない場合

お使いになるBluetooth Audio機器によっては、Bluetooth Audio機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 機器接続にタッチ、またはBluetooth Audio機器を操作して本機と接続する(→P140)

メモ

- 接続を開始してから1分以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth Audio機器側の接続操作は、Bluetooth Audio機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 自動接続中など何らかの処理を行っているときに**機器接続**にタッチしても、現在行っている処理が終わるまでは本機能が使用できない場合があります。



Bluetooth Audio機器との接続を開始します。

AUXを使う

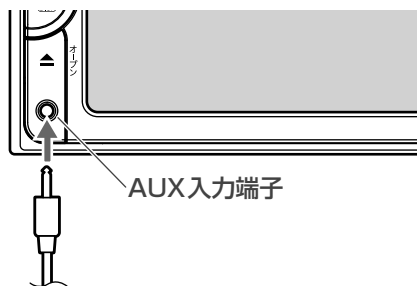
本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部音声機器を接続すると、その音声を本機のAVソース(AUX)として聞くことができます。

メモ

・本機に外部音声機器を接続するには、市販のφ3.5 mmミニプラグケーブルが必要です。

外部機器の音声を聞く

1 φ3.5 mmミニプラグケーブルを本機のAUX入力端子に接続する



2 AVソースをAUXにする (→P121)

▼
外部機器の音声が再生されます。

スライドで操作する場合：

外部機器音声再生中には、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



↑スライド	ミュートを解除します。
↓スライド	ミュート(消音)にします。

メモ

・AUXを使用しているときに、音量を調整すると、AUX用の音量として設定することができます。他のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次回AUXを使用したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

オーディオの設定をする

お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

1 **□**(メニュー)を押し、**設定・編集**—**オーディオ**にタッチする

2 **オーディオ設定**にタッチする



オーディオ設定メニュー画面が表示されます。



フェーダー/バランス設定 前後左右の音量バランスを設定することができます。(→P145)

ラウドネス設定 小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。(→P146)

イコライザー設定 あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。(→P146)

ソースレベルアジャスター設定 AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。(→P147)

消音設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の着信などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。(→P148)

メモ

- ・走行中は操作できない設定項目があります。
- ・オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあつた場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。ただし、消音タイミング(→P148)がOFFに設定されている場合は、設定を行うことができます。
- ・AVソースOFF時やMUTE中は、設定できません。
- ・交通情報受信中は、ソースレベルアジャスターと消音設定のみ設定できます。

フェーダー/バランス設定

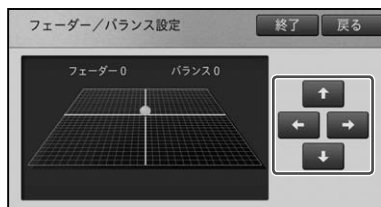
工場出荷時は以下のとおりです。

フェーダー：「0」

バランス：「0」

1 **フェーダー/バランス設定**にタッチする(→P145)

2 **↑、↓、←、→**にタッチして前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

工場出荷時は以下のとおりです。

設定：「OFF」

効果：「MID」

1 ラウドネス設定 にタッチする (→P145)

2 ON にタッチする



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF** を選びます。

3 ◀または▶でLOW/MID/ HIGH から設定する



イコライザー設定

工場出荷時は「FLAT」です。

1 イコライザー設定 にタッチする (→P145)

2 お好みの設定にタッチする



タッチするごとにイコライザーカーブが切り換わります。

詳細設定	
	選んだファクトリーカーブを補正します。
SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地良い音を再生します。
VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
CUSTOM1 、 CUSTOM2	CUSTOMメモリーに登録した調整値を呼び出します。

メモ

- **CUSTOM1** はAVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM、AM
 - CD、CD-R/RW

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、CUSTOM1に登録されます。

メモ

- **CUSTOM2**を選んで行った補正値は、CUSTOM2に登録されます。
- すでにイコライザー設定(→P146)で、CUSTOM1に補正値を登録済みの場合、ここで補正した値が上書きされます。

1 ファクトリーカーブを選ぶ (→P146)

2 詳細設定にタッチする

3 補正する周波数を選び、▲または▼にタッチしてレベルを補正する



100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、3.15 kHz、8 kHzから周波数を選べます。-12 dB ~ +12 dBの間で2 dBごとに調整できます。

ソースレベルアジャスター設定

工場出荷時は「±0 dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、CD-R/RW
 - AM、交通情報

1 ソースレベルアジャスター設定にタッチする(→P145)

2 + または - にタッチする



-8 dB ~ +8 dBの範囲で2 dBごとに調節できます。

消音設定

工場出荷時は以下のとおりです。

消音タイミング：「電話」

消音レベル：「-20 dB」

1 消音設定にタッチする (→P145)

2 設定したい項目にタッチする



消音タイミング

案内・電話	音声案内やハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
電話	ハンズフリー通話の着信時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

-10dB	音量が1/3になります。
-20dB	音量が1/10になります。
MUTE	音量が0になります。

バックガイドモニターを使う

オプションのバックガイドモニターは、後退（特に駐車時）の運転操作をアシストします。車の後方の映像に後退操作の参考として表示されるガイド線、音声案内にしたがって運転操作することで、駐車の手々な方でもかんたんに駐車することができます。

（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は、販売店にて行います）

バックガイドモニターについての注意点

【注意】

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、角度センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種での設定が必要です。したがってお車をお買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け換えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください（他の車では本機能をご使用になれない場合があります）。
- バックガイドモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
- 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・凍結していたり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
 - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・坂道など平坦でない道
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに駐車できるか確認してから操作を行ってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

【メモ】

- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意

カメラは、車両の後方に取り付けられています（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります）。

【注意】

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことに注意してください。
 - ・カメラ部を強くたたいたり、物にぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取付角度がずれるおそれがあります。
 - ・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
 - ・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
 - ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコーティング剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
 - ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
 - ・高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周辺に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

【メモ】

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

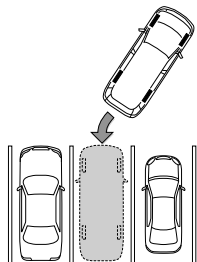
ガイド方法の選びかた

バックガイドモニターには以下の3つのモードがあります。

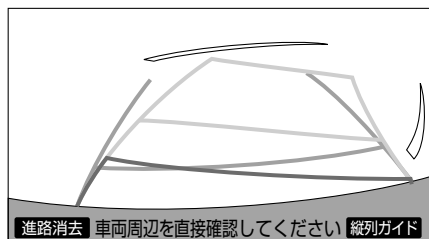
- ・進路表示モード ・駐車ガイド線表示モード ・縦列駐車ガイドモード

並列駐車(車庫入れ)をするとき

進路表示モード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

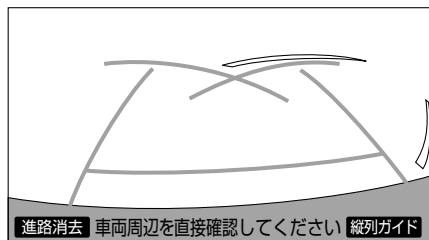


進路表示モード (→ P152)



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

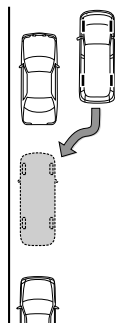
駐車ガイド線表示モード (→ P155)



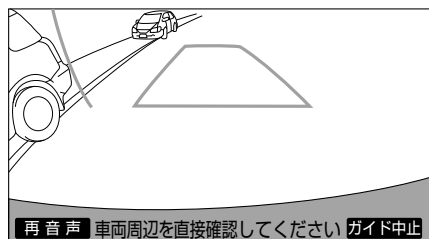
ハンドルの切り返し点(駐車ガイド線)が表示されるモードです。車両感覚になれた方(進路表示モードを必要とせずに駐車できる方)はご使用ください。

縦列駐車をするとき

縦列ガイドモード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

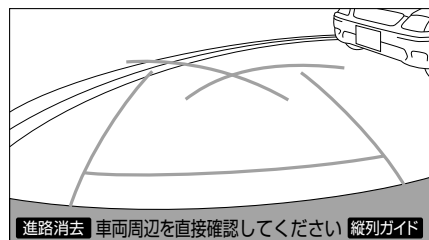


縦列ガイドモード (→ P157)



画面表示と案内音声により縦列駐車を補助するモードです。

駐車ガイド線表示モード (→ P166)

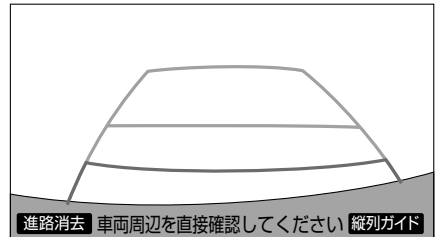


ハンドルの切り返し点(駐車ガイド線)が表示されるモードです。縦列ガイドモードを必要とせずに駐車できる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

バックガイドモニター画面への切り換え

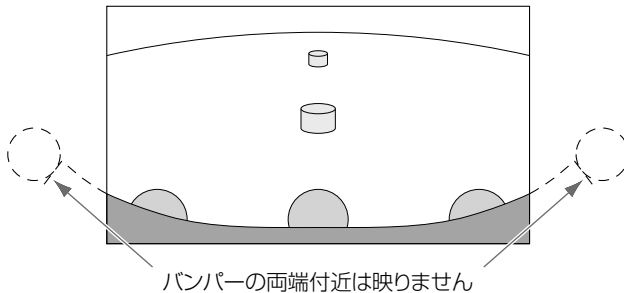
1 エンジンスイッチがONのとき、シフトレバーをR(リバース)にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。進路表示モード(→P152) (または駐車ガイド線表示モード(→P155))が表示されます。シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面表示は元の映像に切り換わります。



画面に映る範囲について

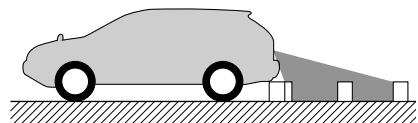
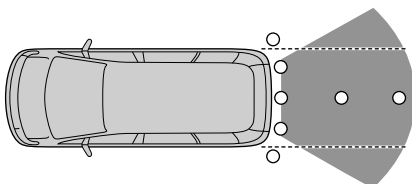
バンパー後端から車の後方(下図の範囲)が映ります。



メモ

- バックカメラ表示中に、♪(オーディオ)、▲(現在地)、■(メニュー)を押すと、バックカメラ映像は解除します。

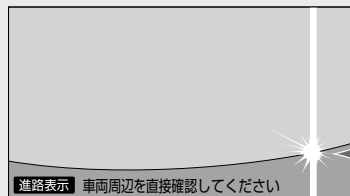
<映る範囲>



メモ

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限界があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感を実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。(夜間など)
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
 - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ 高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象*が発生することがあります。

<画面の状況>

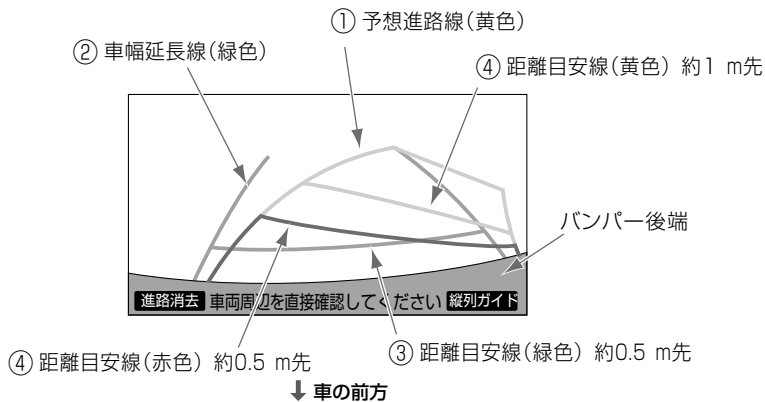


*スミヤ現象：高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとその点が上下(縦方向)に尾を引く現象。

- 画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。→「画質を調整する」(P25)

並列駐車する(進路表示モード)

画面の見かた



① 予想進路線(黄色)	車が後退していく進路の目安を示します。 • ハンドル操作と連動します。
② 車幅延長線(緑色)	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 • 実際の車幅より広く表示しています。 • ハンドルがまっすぐ(直進状態)になっているときは、予想進路線と重なります。

③ 距離目安線 (緑色)	車の後方 (バンパー後端から) の距離を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 約0.5 m先を示します。
④ 距離目安線 (赤色 / 黄色)	車の後方 (バンパー後端から) の距離を示します。 <ul style="list-style-type: none"> ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 それぞれの中心位置で、約0.5 m先 (赤色) ・ 約1 m先 (黄色) を示します。 ハンドルがまっすぐ (直進状態) になっていないときは誤差が生じます。 <p>上記の画面では、距離目安線が示す実際の距離 (赤色 : 約0.5 m先、黄色 : 約1 m先) より、右側は近く的位置に、左側は遠く的位置に表示されます。</p>

注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ (直進状態) で車幅延長線と予想進路がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分以上走行してください。それでも直らないときは、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

メモ

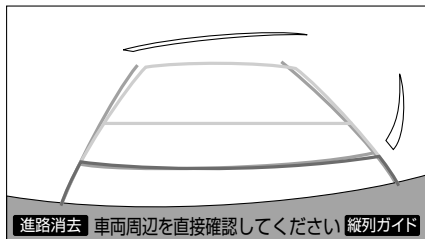
- 進路消去** にタッチすると、予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定 (ハンドル操作と連動しなくなる) されます。**進路表示** にタッチすると元に戻ります。

並列駐車を開始する

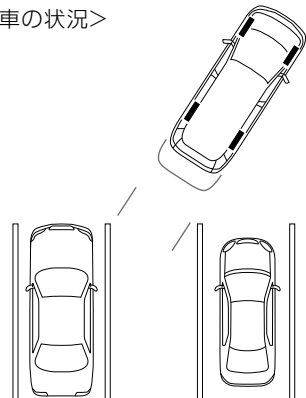
下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

1 シフトレバーをR (リバース) にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。



<車の状況>

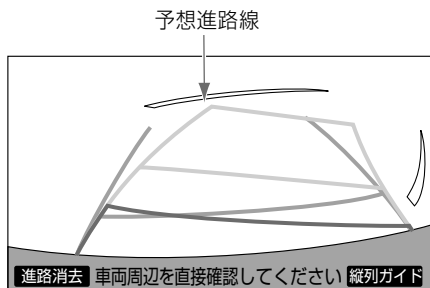


カメラ機能を使う

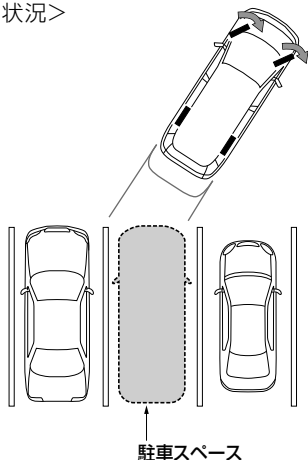
メモ

- 進路表示モードになっていない場合は、進路表示モードにしてください。→「駐車ガイド線の表示」(P171)

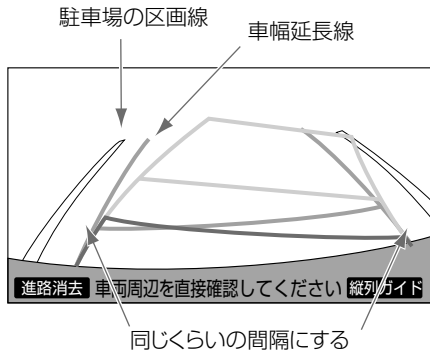
2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する



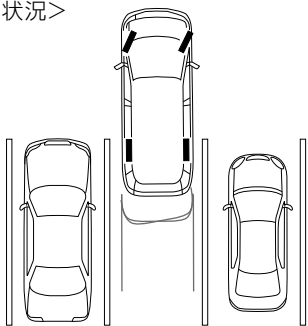
<車の状況>



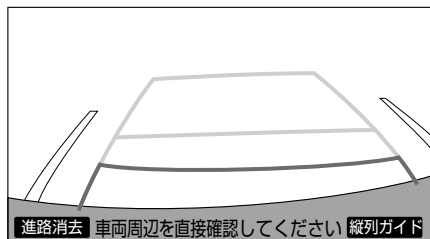
3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区間線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるように、ハンドルを操作する



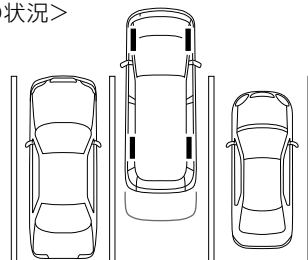
<車の状況>



4 車幅延長線と駐車場の区間線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する

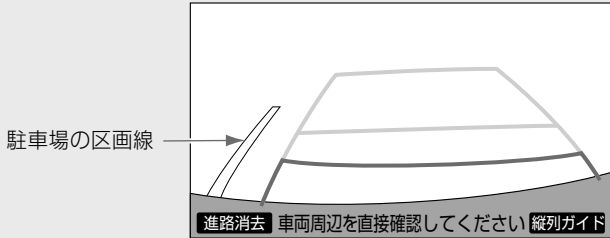


<車の状況>



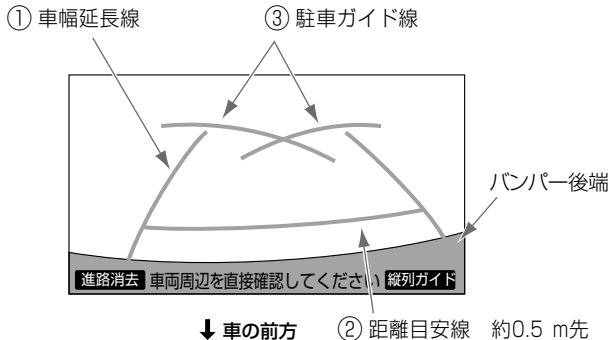
メモ

- ・ 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
- ・ 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
- ・ 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。



並列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・ 約0.5 m先を示します。
③ 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。 ・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注意

- ・ 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・ 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

メモ

- ・ **進路消去** にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。**進路表示** にタッチすると元に戻ります。

並列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

1 シフトレバーをR(リバース)にする

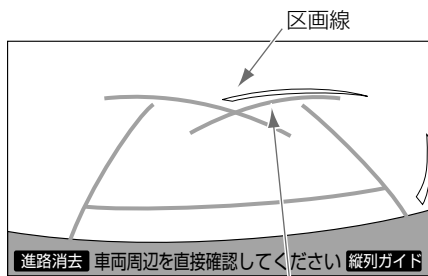
バックガイドモニターの映像が表示されます。



メモ

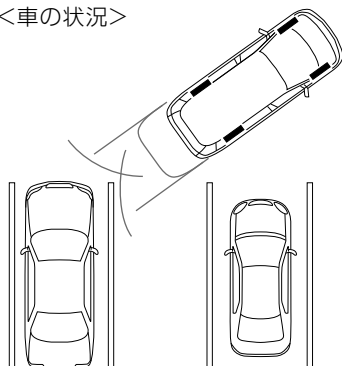
- ・進路表示モードになっていない場合は、進路表示モードにしてください。→「駐車ガイド線の表示」(P171)

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退して止まる



駐車ガイド線

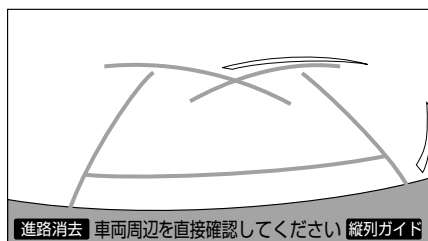
<車の状況>



メモ

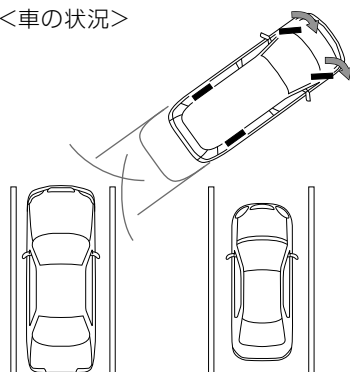
- ・画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2 mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

3 ハンドルを右いっぱい回して、ゆっくり後退する



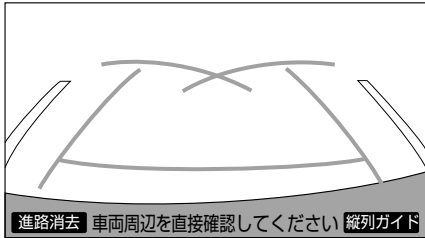
進路消去 車両周辺を直接確認してください 縦列ガイド

<車の状況>

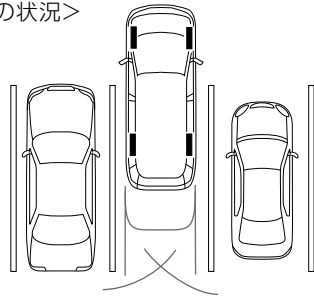


4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にする

画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を
 終えます。



<車の状況>

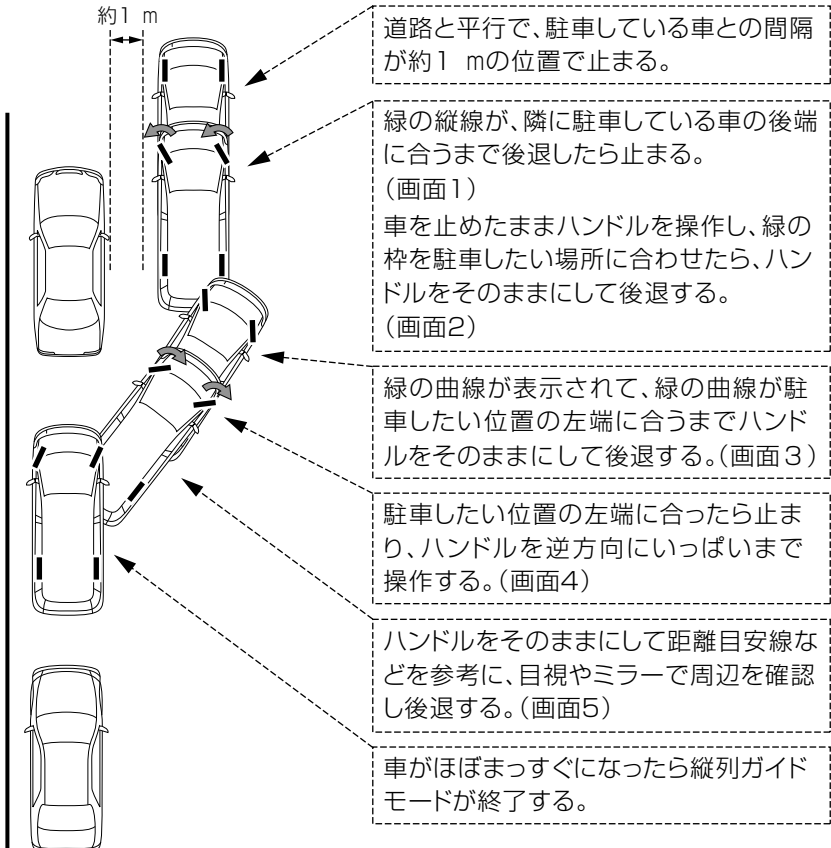


縦列駐車する(縦列ガイドモード)

車の動きと画面・音声案内の流れ

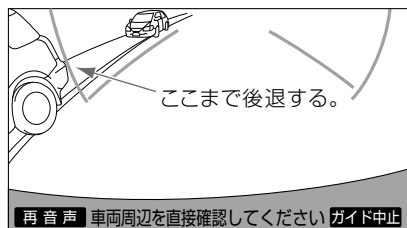
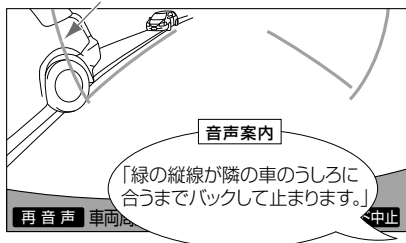
車の動き

操作内容

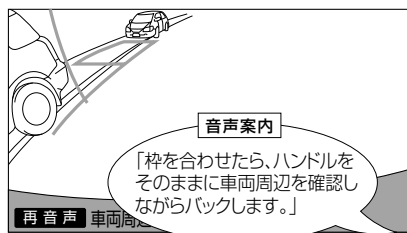
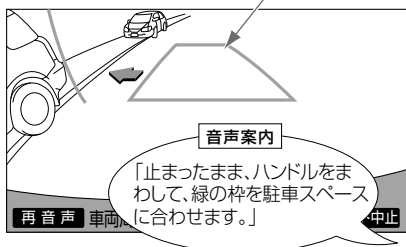


画面・音声の流れ

<画面1> 緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。



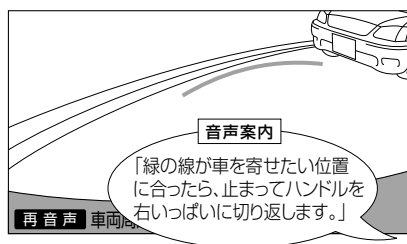
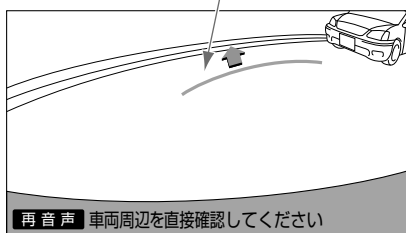
<画面2> 緑の枠を駐車したい場所に合わせる。



<画面3>

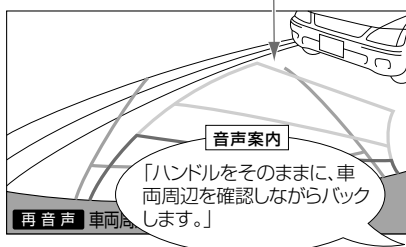
<画面4>

緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。



<画面5>

距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認した後退する。



注意

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

メモ

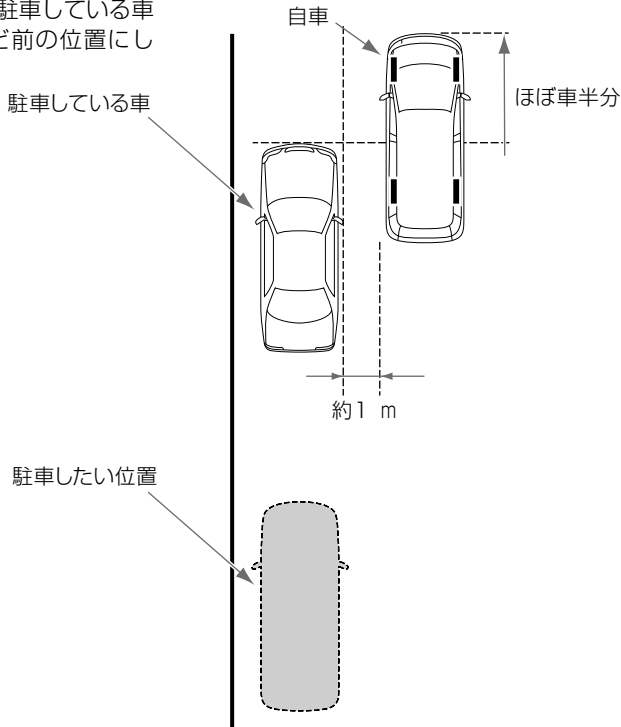
- ガイドを中止したいときは、ガイド中止にタッチします。
- 音声案内を再度聞きたいときは、再音声にタッチします。
- 音声案内の音量は調整することができます。→「縦列ガイドの音量の設定」(P170)

縦列駐車を開始する

ここでは、左側の駐車スペースに駐車する場合の手順を説明します。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などが全て左右逆になります。

1 道路(または路肩)と平行で、駐車している車との間隔が約1 mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にする

前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。

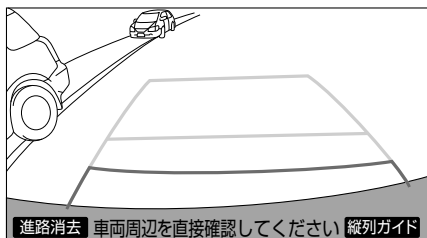
**2 シフトレバーをR(リバース)にする**

バックガイドモニターの映像が進路表示モードまたは駐車ガイド線表示モードで表示されます。

3 車の位置を確認し、縦列ガイドにタッチする

画面で駐車している車のリアタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。

映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



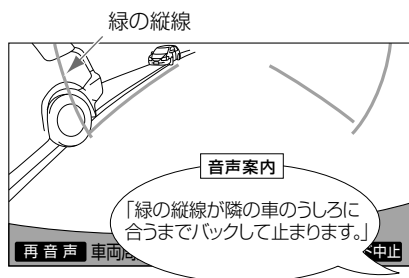
4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認したら、**次へ**にタッチする



メモ

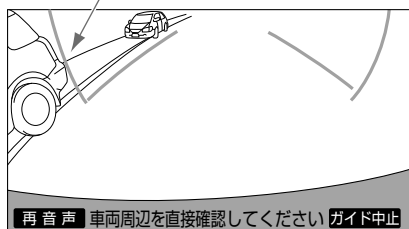
- ・ **次回からこの表示を省略** にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再度、表示させたいときは「はじめのコツの表示」(→P171)を参照してください。
- ・ **ガイド中止** にタッチすると、前の画面に戻ります。

5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し止まる

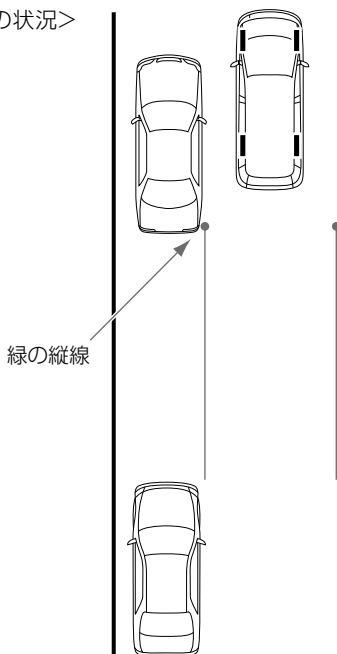


車を後退させる

ここまで後退し止まる。



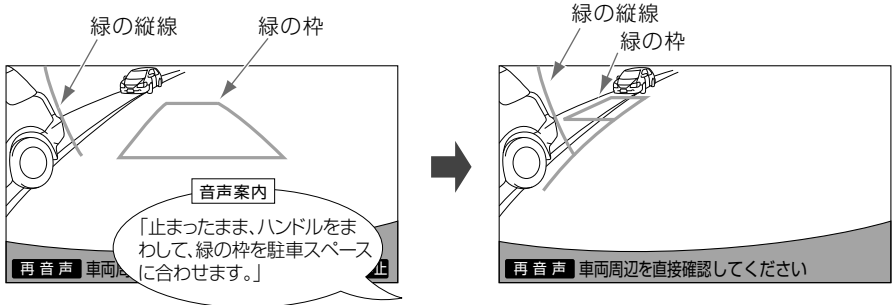
<車の状況>



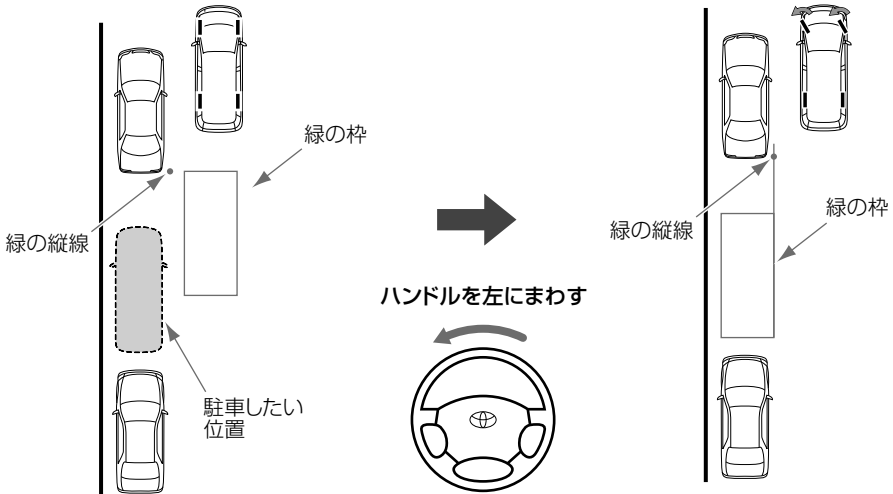
 メモ

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。
- シフトレバーをR（リバース）以外の位置にしても、10秒以内にR（リバース）に戻すと、この画面に戻ります。

6 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左に回して、緑の枠を駐車したい位置に合わせる

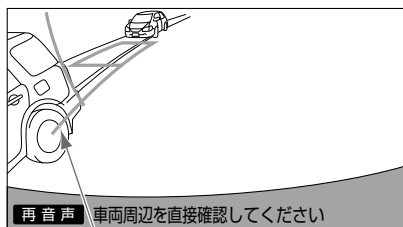


<車の状況>



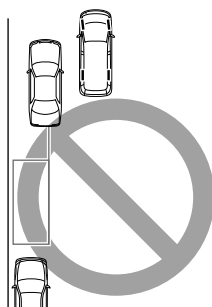
注意

- ・ 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。
- ・ 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。



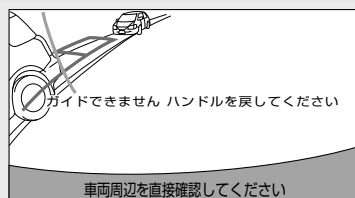
延長線がタイヤにかかっている

<車の状況>

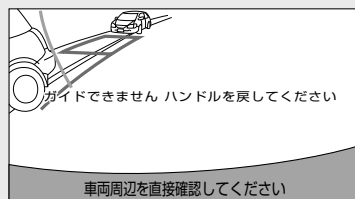


メモ

- ・ 画面の中にメッセージが表示されることがあります。
- ・ 枠が赤くなって、右記のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。



- ・ 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、右記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔(約1 m)を確認してください。



7 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左に回して、緑の枠を駐車したい位置に合わせる

ハンドルはそのまま

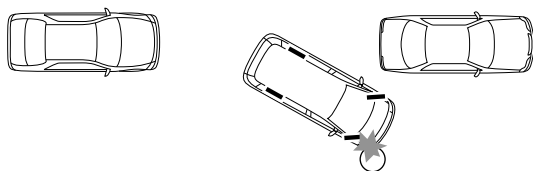


音声案内

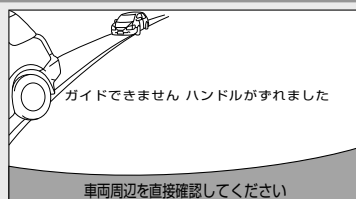
「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

注意

- 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

**メモ**

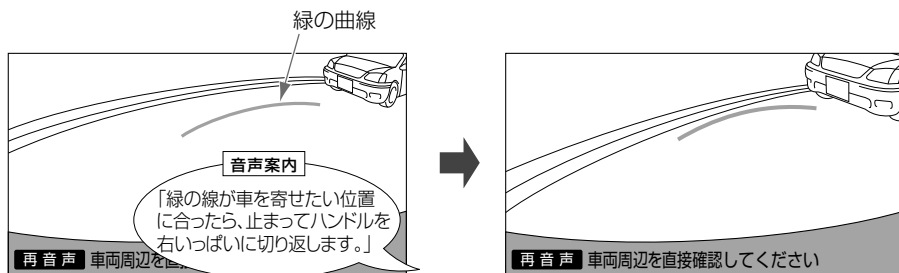
- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。



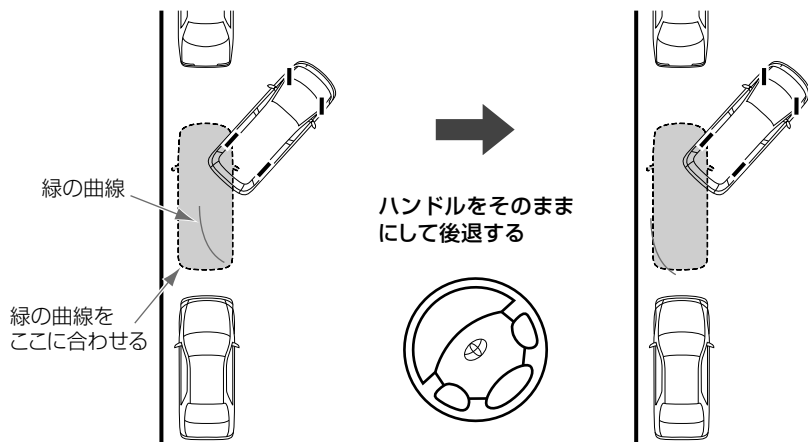
- シフトレバーをR（リバース）以外の位置にしても、10秒以内にR（リバース）に戻すと、この画面に戻ります。

8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する

緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。



<車の状況>

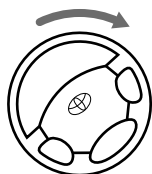


メモ

・後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

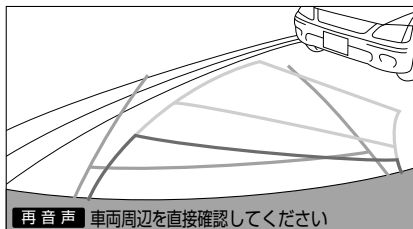
9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまで回す

必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

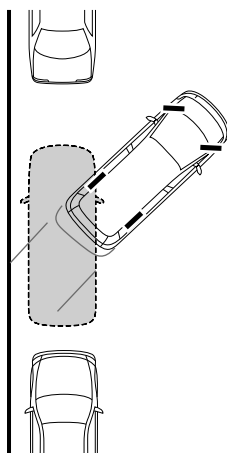


ハンドルを右いっぱいまでまわす

10 画面が切り換わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退する



<車の状況>

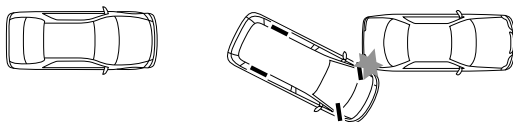


音声案内

「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

注意

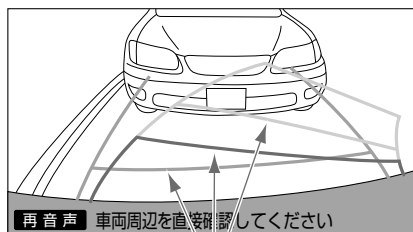
- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



11 車が道路(または路肩)と平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)に戻す

12 距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まる

車がほぼまっすぐになると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

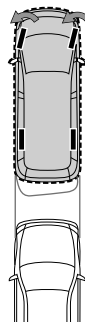
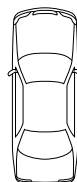


距離目安線

音声案内

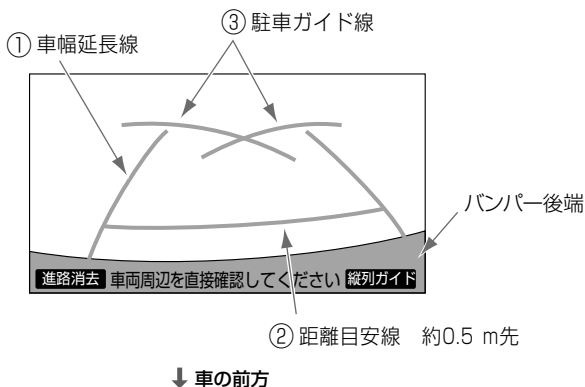
「縦列ガイドを終了します。」

<車の状況>



縦列駐車する(駐車ガイド線表示モード)

画面の見かた



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線	車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 約0.5 m先を示します。
③ 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまでまわして後退(もっとも小回り)したときの進路の目安を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注意

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

メモ

- 「進路消去」にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。「進路表示」にタッチすると元に戻ります。

縦列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作が全て左右逆になります。

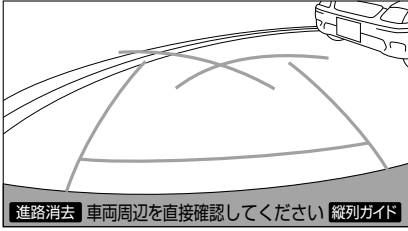
1 シフトレバーをR(リバース)にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。

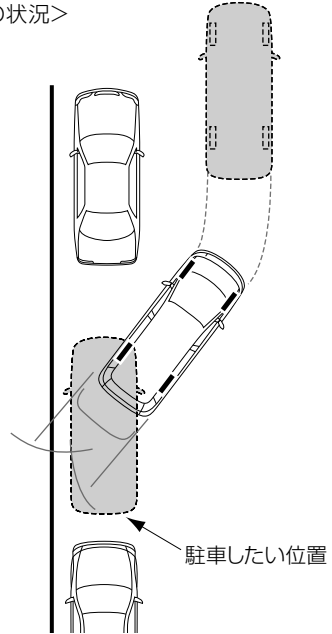
メモ

- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。→「駐車ガイド線の表示」(P171)

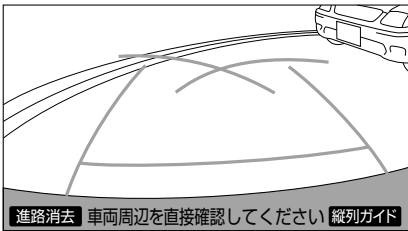
2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる



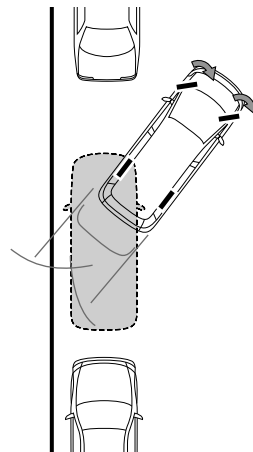
<車の状況>



3 ハンドルを右いっぱい回し、ゆっくり後退する



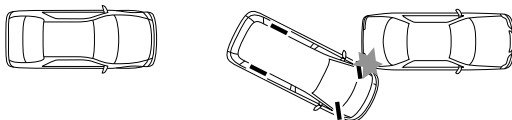
<車の状況>



カメラ機能を使う

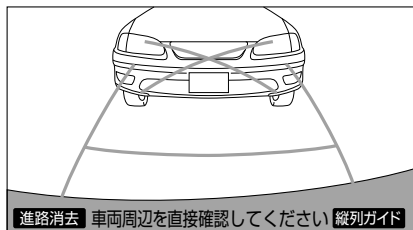
注意

- 車の左前端を前方に駐車している車につけないように注意して、ゆっくり後退してください。

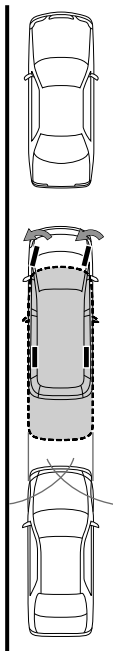


4 車が道路(または路肩)と平行になったら、ハンドルをまっすぐ(直進状態)にする

画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終えます。



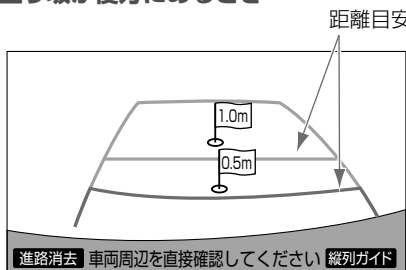
<車の状況>



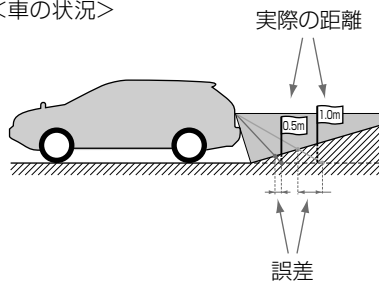
画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)。

急な上り坂が後方にあるとき



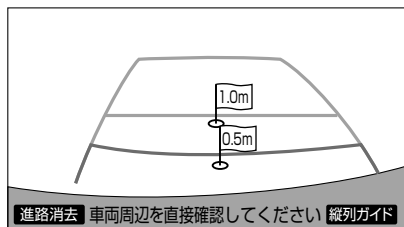
<車の状況>



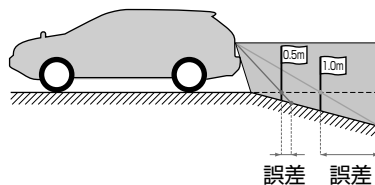
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合は、実際より遠くに見えるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき



<車の状況>

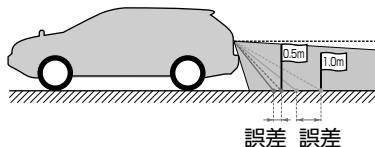


下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりも後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

車が傾いているとき

<車の状況>



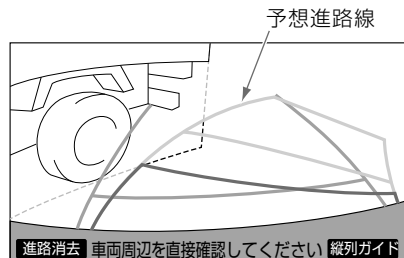
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるときの注意点

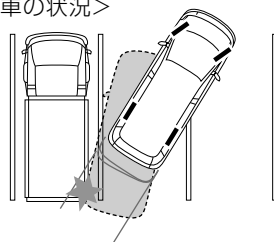
画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意してぶつからないようにしてください。

予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



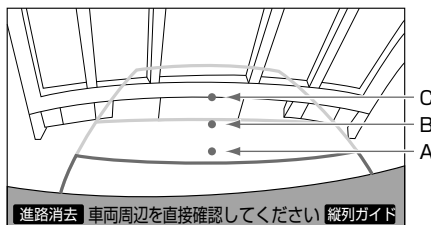
<車の状況>



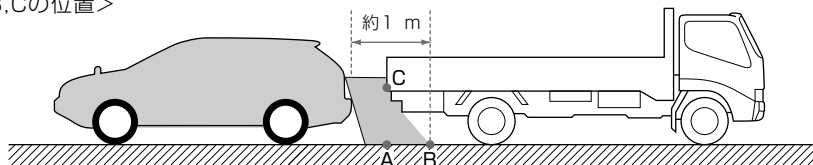
画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



<A,B,Cの位置>



画面では、距離目安線により約1 m先 (Bの位置) にトラックが駐車しているように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

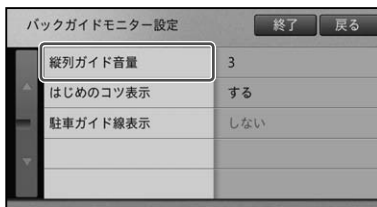
縦列ガイドの音量の設定

音声案内の音量を調整することができます。

- 1 **☰(メニュー)を押し、設定・編集 - システム設定 にタッチする**
- 2 **バックガイドモニター設定 にタッチする**



- 3 **縦列ガイド音量 にタッチする**



- 4 **⊕ または ⊖ にタッチして音量を調整する**

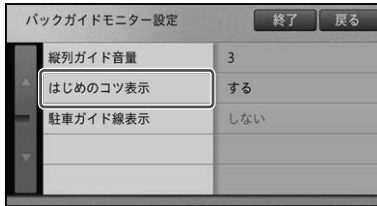


- 5 **終了 にタッチする**

はじめのコツの表示

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するかしないかを設定できます。

- 1 **☰(メニュー)**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする
- 2 **バックガイドモニター設定**にタッチする
- 3 **はじめのコツ表示**にタッチする



- 4 **する**または**しない**にタッチする

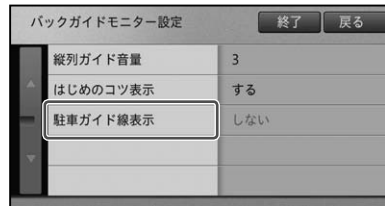


- 5 **終了**にタッチする

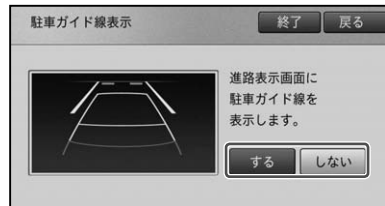
駐車ガイド線の表示

駐車ガイド線表示モードにするか進路表示モードにするか、設定できます。

- 1 **☰(メニュー)**を押し、**設定・編集**→**システム設定**にタッチする
- 2 **バックガイドモニター設定**にタッチする
- 3 **駐車ガイド線表示**にタッチする



- 4 **する**または**しない**にタッチする



- する** 駐車ガイド線表示モードになります。
しない 進路表示モードになります。

- 5 **終了**にタッチする

システム初期化中表示が出たときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、システム初期化中画面が表示されます。



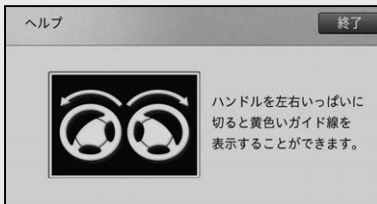
この場合は、以下のどちらかを選んでください。

- 車を停めた状態で、ハンドルを左いっぱいに回した後、右いっぱいまで回す（左右どちらが先でも可）。
- できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分以上走行する。

通常の画面に戻れば、設定終了です。システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。

メモ

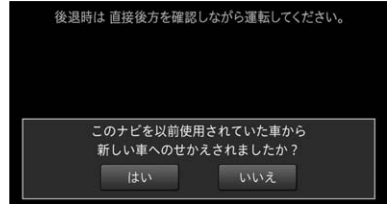
- システム初期化中画面で、ヘルプにタッチすると、操作方法を表示させることができます。



- 画面に表示されている操作を行い、通常の画面に戻れば設定終了です。
- システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
- **終了**にタッチすると、元の画面に戻ります。

バッテリーの脱着、または本機を載せ換えたときは

バッテリーの脱着、または本機を別の車に載せ換えた場合などには、確認画面が表示されます。



この場合には、以下の操作または販売店での設定が必要となります。

はいにタッチすると、ガイド線の設定が削除されます。ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定を、販売店に依頼してください。

いいえにタッチすると、ガイド線を表示して、車の後方を映すことができます。（本機を別の車に載せ換えたときは、載せ換える前に設定した車種のガイド線が表示されます）

通常の画面に戻れば、設定終了です。システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。

バックモニターを使う

オプションのバックモニターを装着した場合、バックギアにシフトすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います）。

タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示される距離目安線やガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

注意

- バックモニターを過信しないでください。
- 本機（バックモニター）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周辺の安全を直接確認しながら運転してください。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道・バックドアが完全に閉まっていないとき・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき・坂道など平坦でない道路
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

メモ

- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。

- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときはすぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮影しないでください。焼付け現象が残ることがあります。
- 写真は一例です。モニター画像に映る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、いったん白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起りますが故障ではありません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックモニターの映像

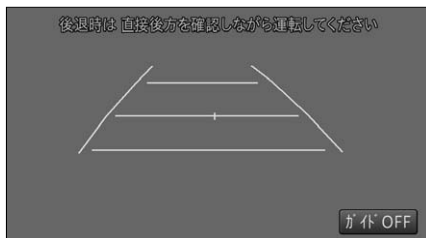
後方の映像を映す

1 シフトレバーをR(リバース)する

後方の映像が自動でモニター画面に映ります。シフトレバーをR(リバース)以外にすると通常画面に戻ります。



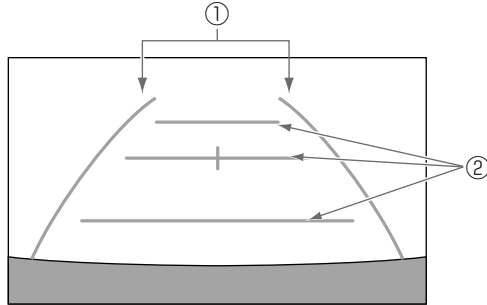
バックモニター映像時、画面右下に**ガイドON**、または**ガイドOFF**が表示されます。ガイド線を表示するには**ガイドON**にします。ガイド線を表示させたくないときは**ガイドOFF**にタッチします。



画面の見かたについて

表示線の見かた

シフトレバーをR（リバース）にすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り換わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。



① 車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。
実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
ハンドル操作と連動しません。

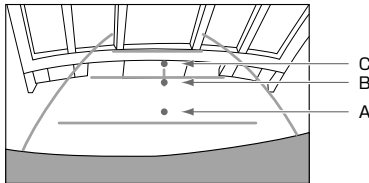
それぞれの中心位置で、約0.5 m先（1本目）、約1 m先（2本目）、約2 m先（3本目）を示します。

注意

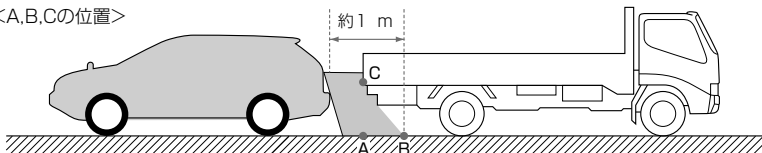
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

メモ

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲は限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の色合い・黒の濃さ・色の濃さ・コントラスト・明るさを調整することができます。→「画質を調整する」(P25)
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。



<A,B,Cの位置>



距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

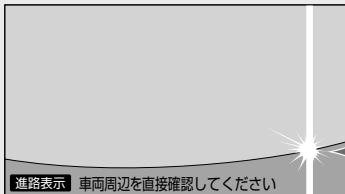
画面では、距離目安線により約1 m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA,B,Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

メモ

- ・ 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ。（夜間など）
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ 高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミア現象*が発生することがあります。

<画面の状況>



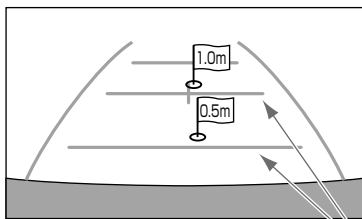
* スミア現象：高輝度の点（車体に反射した太陽など）がカメラに映るとその点が上下（縦方向）に尾を引く現象。

画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。（イラストは標準的カメラ取付位置の場合を示します。）

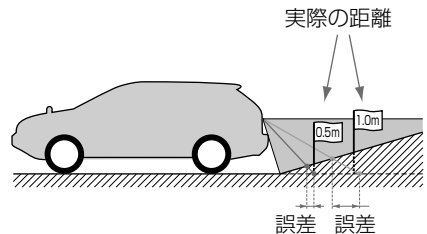
急な上り坂が後方にあるとき

<画面>



距離目安線

<車の状況>

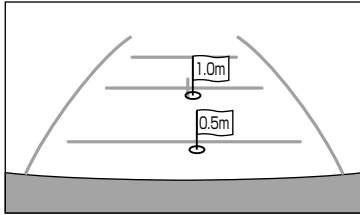


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときは、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

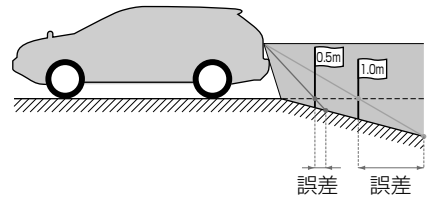
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき

<画面>



<車の状況>



下り坂が後方にあるときは、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

携帯電話を使う

本機と携帯電話をBluetooth接続すると、本機の電話機能を使うことができます。

ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

メモ

- 通話相手の声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→P111)
- 次のような場合は、通信相手側にこちらの音が聞こえにくくなる場合があります。
 - 悪路走行時
 - 高速走行時
 - 窓を開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコンのファンの音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化(ノイズ、エコーなど)することがあります。



- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

ハンズフリー通話をするには

Bluetoothに対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは「Bluetooth設定をする」(→P106)をご覧ください。

メモ

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず「Bluetooth機器使用上のご注意」(→P106)をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

ハンズフリー通話でエコー(残響音)が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合があります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする(→「ナビゲーションの音量を設定する」(P111))
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する(→「案内/電話スピーカー設定をする」(P111))

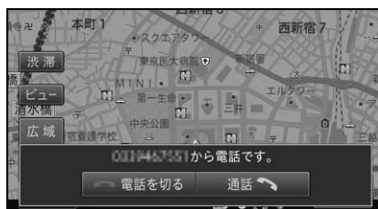
ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

メモ

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→P181)
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。


電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



☎にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

メモ

- 電話が着信すると“トゥルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル(→P182)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同一の場合は、登録地の名称が表示されます)。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 携帯電話側で応答保留にしても、にタッチすることで応答保留を解除できます。
- 電話の切りかたは、「通話中メニューの操作」(→P181)をご覧ください。

スライドで操作する場合：


電話着信中は、以下のスライド操作が行えます。スライドの操作方法については、「スライド操作」(→P22)をご覧ください。



→スライド	通話することができます。
←スライド	電話を切ります。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1  (メニュー) を押し、**携帯電話** にタッチする

メモ

- Bluetooth機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。**はい** にタッチして、登録操作を行ってください。(→P106)

2 **電話をかける方法にタッチする**



ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかけます。(→P180)
メモリダイヤル	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。(→P180)
発信履歴	本機と携帯電話を接続時に発信、着信(不在着信含む)した履歴を表示し、電話をかけることができます。(→P180)
リダイヤル	直前にかけた電話番号へリダイヤルします。(→P181)
Bluetooth設定	Bluetooth機器の設定を行います。(→P106)

メモ

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル** は選択できません。
- 発信中、通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー(→P181)が表示されます。

電話番号を入力して電話をかける

1 **ダイヤル発信**にタッチする
(→P179)

2 電話番号を入力し、**発信**にタッチする



相手先に電話が発信されます。

メモ

- ・携帯電話でダイヤルすることもできます。
(携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。)

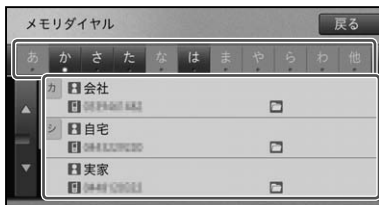
メモリダイヤルを呼び出して電話をかける

メモ

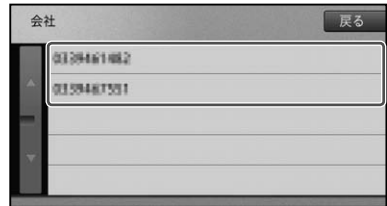
- ・メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P108)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。

1 **メモリダイヤル**にタッチする
(→P179)

2 相手先を選んでタッチする



3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



4 **はい**にタッチする

相手先に電話が発信されます。

発着信履歴から電話をかける

1 **発着信履歴**にタッチする
(→P179)

2 表示したい履歴を選んでタッチする



選んだ履歴がリスト表示されます。

3 相手先を選んでタッチする

相手先に電話が発信されます。

リダイヤルで電話をかける

1 リダイヤルにタッチする (→P179)

発信確認のメッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



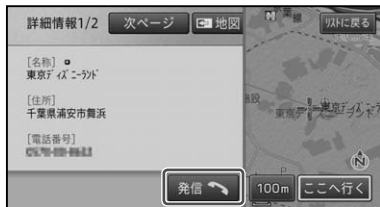
相手先に電話が発信されます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 場所を探して(→P55)施設の 詳細情報(→P62)を表示させる

2 発信にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。


通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能のON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



閉じる	通話中メニューを閉じます。
+	受話音量を上げます。
-	受話音量を下げます。
電話を切る	電話を切ります。
ハンズフリーON(OFF)	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。

✎ メモ

- ハンズフリー機能をOFFにすると、本機と携帯電話とのワイヤレス接続が切断される場合があります。
- 閉じる**にタッチして通話中メニューを閉じた場合、画面左上の  にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。

携帯電話情報を編集する

メモリダイヤルの読み込みや消去、各履歴の消去を行うことができます。

1 **☰(メニュー)**を押し、**携帯電話**にタッチする

2 **編集・消去**にタッチする

メモ

手順**1**～**2**で、**設定・編集**—**電話・通信**—**携帯電話データ編集**にタッチして操作する方法もあります。

編集・消去メニューが表示されます。



メモリダイヤル	メモリダイヤルの読み込みや消去を行います。(→P182)
発信履歴消去	発信履歴を消去します。(→P184)
着信履歴消去	着信履歴を消去します。(→P184)
不在着信履歴消去	不在着信履歴を消去します。(→P184)

メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大1,000件のデータの本機に読み込むことができます。

メモ

- 1件につき5つの電話番号まで保存可能です。
- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、電話番号のデータを読み込むことができます。
- メモリダイヤルは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換える(→P108)と、表示されるメモリダイヤルの内容も切り換わります。
- 読み込んだデータは本機内蔵のメモリーに保存されます。
- 読み込んだメモリダイヤルを編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「メモリダイヤルを消去する」(→P183)を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **メモリダイヤル**にタッチする(→P182)

2 **読み込み**にタッチする



メモ

- すでに読み込んだデータがある場合は、**上書き読み込み**または**追加読み込み**を選んでください。

3 携帯電話を操作して、メモリアルを転送する

メモリアルが本機に読み込まれます。読み込みが完了するとメモリアルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリアルとして使用することができます。

メモ

- メモリアル読み込みを行う際は、接続されている携帯電話からメモリアル転送の操作(携帯電話により異なりますが、全件転送、1件転送などがあります)が必要です。
- PBAP接続(→P106)に対応した携帯電話の場合、読み込みにタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機にメモリアルが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。またPBAP接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- メモリアルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリー件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリアルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリアルと同時に読み込まれる場合があります。

メモリアルを消去する

不要になったメモリアルを消去することができます。

メモ

- 本機に記録されているメモリアルが消去されます。接続した携帯電話側のメモリアルおよび履歴情報は消去されません。
- 消去可能なメモリアルは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り換える(→P108)と、消去可能なメモリアルの内容も切り換わります。
- メモリアルの消去中は、メモリアル機能(→P182)が使用できません。

1 メモリアルにタッチする(→P182)

2 消去にタッチする



3 消去したい電話番号にタッチする



選んだ電話番号には、 (チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 全選択**にタッチするとすべての電話番号が選択されます。**全解除**にタッチすると、選択されている電話番号すべてを解除します。

4 消去 にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 はい にタッチする

選んだ電話番号が消去されます。

メモ

- メモリダイヤルの消去には、数分かかる場合があります。
- メモリダイヤルの消去中は、本機の電源をOFF（エンジンスイッチをOFF）にしないでください。選択したデータが消去されない場合があります。

履歴情報を消去する

発信履歴、着信履歴、不在着信履歴情報を消去することができます。

メモ

- 接続する携帯電話を切り換えると、その携帯電話を使用したときの発着信履歴は表示されなくなります。再接続すると、再度表示されます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も、自動的に削除されます。

1 消去したい履歴項目を選んでタッチする(→P182)



2 消去したい履歴情報にタッチする



選んだ履歴情報には、（チェックマーク）が付き、引き続き選ぶことができます。

メモ

- **全選択** にタッチするとすべての履歴情報が選択されます。**全解除** にタッチすると、選択されている履歴情報すべてを解除します。

3 消去 にタッチする

確認メッセージが表示されます。

4 はい にタッチする

選んだ履歴情報が消去されます。

エコマネージャーを使う

エコ運転の貢献度に応じて獲得（エコプライズ）できる動物画像の確認やエコ運転評価の履歴確認を行います。また、エコなルート表示を行うための燃費設定もを行います。

1 [メニュー] を押し、**エコマネージャー** にタッチする

2 項目を選んでタッチする



エコプライズ	エコプライズのサムネイル画面を表示します。(→P186)
燃費設定	一般道路、高速道路の燃費をそれぞれ設定します。(→P186)
エコ運転評価履歴	過去9件分と最新のエコ運転評価履歴を表示します。

エコ運転評価について

エコ運転評価画面では、エコ運転を急発進、急加速、急減速、巡航、アイドリングの状態から5段階で評価し、運転のアドバイスを行います。画面は、地図の表示がエコ情報表示のとき表示されます。(→P42)



• エコ運転評価を参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。

メモ

- 速度と経過時間から計算されます。センサー初期学習中の場合など、車速が算出されない状態では正しく計算されない場合があります。→「ナビゲーションのしくみ」(P204)
- 急な坂道など走行環境によりエコ運転評価が低く評価される場合がありますので、ご了承ください。
- エコ運転評価の点数に応じてポイントが加算され、エコプライズの獲得レベルが決まります。詳しくは「エコプライズについて」(→P186)をご覧ください。
- 評価は一日単位で行われ、日付が変わると最新のエコ運転評価が履歴に追加保存されます。すでに履歴が9件ある場合には、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するにはエコマネージャー画面で**エコ運転評価履歴**にタッチしてください。
- 以下の場合、エコ運転評価画面は表示されません。
 - 交差点案内表示中(→P71)
 - レーン情報、方面看板表示中(→P70)
 - センサー初期学習中(→P98)

エコプライズについて

前日までのエコ運転評価の累積結果をポイント換算し、ポイントに応じたレベルの画像を表示します。

エコプライズサムネイル画面



サムネイル画像	選んだサムネイル画像の詳細画面を表示します。(→P186)
◀▶	エコプライズサムネイル画像を前ページ/次ページに送ります。

メモ

- エコ運転評価のポイントがレベルに達していない画像は「？」と表示され、タッチするとエコプライズの詳細説明メッセージが表示されます。
- エコプライズで獲得した画像によっては、パーソナライズの「ユーザーアイコン」、「操作音」、「誘導アイコン」で設定できます。パーソナライズについて詳しくは、「パーソナライズ機能を利用する」(→P187)をご覧ください。

エコプライズ詳細画面



戻る	エコプライズサムネイル画面に戻ります。
----	---------------------

燃費設定をする

一般道路、高速道路走行時の燃費を設定します。ここで設定した内容がエコなルート表示(→P65)に反映されます。

1 燃費設定にタッチする(→P185)

2 一般道路燃費または高速道路燃費にタッチする



3 燃費を入力し、入力終了にタッチする

例：一般道路燃費



メモ

- 工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店等で確認なさった燃費を入力してください。また、実際の走行では道路状況、季節、運転のしかたなど各使用状況で燃費は異なることがありますので、選んだルートが必ずしもエコなルートであるとは限りません。

パーソナライズ機能を利用する

パーソナライズ機能とは、本機を家族間など複数人でお使いになる場合に、使用者（オーナー、ユーザー）のお好みによって異なる設定値（地図表示や音量設定など）を別々に登録しておき、使用者を切り換えることで、オリジナルな設定で本機を使用することができる機能です。

使用者は最大4名（オーナー1名、ユーザー3名）まで登録できます。（オーナーはあらかじめ登録されています。）

現在の使用者として選択されたオーナーやユーザー（1～3）は、地図画面右下にユーザーアイコンとして表示されます。

メモ

- ・オーナーを削除することはできません。ただし、オーナー情報を設定・編集することはできません。
- ・ユーザー1～3を登録すると、本機の電源をON（エンジンスイッチをON）にした際、登録ユーザー選択画面が表示されるようになります。使用者がお1人だけの場合は、オーナー情報を設定・編集します。

パーソナライズ画面を表示する

パーソナライズ画面では、操作履歴の表示および選択、ユーザーの登録や設定・切り換えなどを行うことができます。

1 地図画面でユーザーアイコンにタッチする



パーソナライズ画面が表示されます。



★	選択中の操作履歴に★マークが表示され、お気に入りとして登録されます。お気に入りとして登録された操作履歴は、リストの上位に常に表示されます。再度★にタッチすると★マークが消灯し、お気に入り登録が解除されます。
リスト項目	過去30件分の操作履歴が表示されます。選択した操作を実行することができます。
設定 — ユーザー設定	使用者ごとの設定ができます。（→P188）
設定 — 履歴の消去	操作履歴の全消去ができます。
ユーザー切換	ユーザーの新規登録や切り換え、削除ができます。（→P191）

メモ

- ・お気に入り登録されていない操作履歴は、30件を超えると古い順に上書きされています。
- ・お気に入り登録は、30件まで登録できます。
- ・履歴消去を行うと、お気に入りを除いた全ての操作履歴が消去されます。

ユーザー設定をする

使用者ごとに地図の表示方法の設定やナビゲーションの音量設定などが行えます。

1 設定 - ユーザー設定にタッチする(→P187)

▼
ユーザー設定画面が表示されます。



アイコン	ユーザーアイコンを設定します。(→P188)
ユーザー名	ユーザー名を設定します。(→P188)
音量	各音量を設定します。(→P189)
操作音変更	操作音を設定します。(→P189)
入力キーボード	文字入力時のキーボード設定をします。(→P189)
地図の文字拡大	地図の文字拡大のON/OFFを設定します。(→P189)
地図ビュー	地図の表示方法を設定します。(→P190)
ロゴマーク	地図表示するロゴマークを設定します。(→P190)
誘導アイコン	地図表示する誘導アイコンのパターンを設定します。(→P191)
設定初期化	設定を初期化して工場出荷時の状態に戻します。

2 設定が終了したら、終了にタッチする

ユーザーアイコンを設定する

ユーザーアイコンを20種類のアイコンから設定できます。
工場出荷時は「パターン1」です。

1 アイコンにタッチする(→P188)

2 お好みのアイコンにタッチする



メモ

- エコプライズで獲得したアイコン(最大12種類)を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P186)をご覧ください。

ユーザー名を設定する

お好みでユーザー名が設定できます。最大入力文字数は全角で7文字です。
工場出荷時は「オーナー」または「ユーザー(1~3)」です。

1 ユーザー名にタッチする(→P188)

2 ユーザー名を入力し、入力終了にタッチする

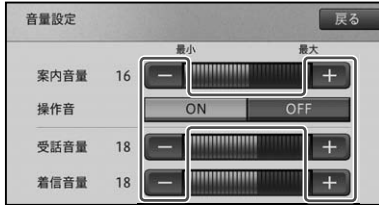


音量を設定する

ナビゲーションの案内音量や電話の着信音量と受話音量の調整、操作音のON/OFFを設定できます。

1 音量にタッチする(→P188)

2 それぞれの項目を設定する



メモ

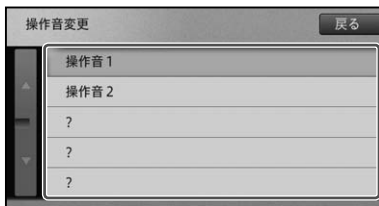
• 音量の設定操作は、「ナビゲーションの音量を設定する」(→P111)と同様です。

操作音を変更する

画面や本体のボタンをタッチしたときに鳴る操作音を設定できます。
工場出荷時は「操作音1」です。

1 操作音変更 にタッチする(→P188)

2 お好みの操作音にタッチする



リスト項目にタッチすると音が鳴り、確認することができます。

3 戻る にタッチする

メモ

• エコプライズで獲得した操作音を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P186)をご覧ください。

入力キーボードを設定する

2種類の入力パレット(キーボード式入力とケータイ式入力)から選んで行うことができます。

工場出荷時は「50音入力」です。

1 入力キーボード にタッチする(→P188)

2 50音入力 または ケータイ入力 にタッチする



3 戻る にタッチする

地図の文字情報を拡大する

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 地図の文字拡大 にタッチする(→P188)

2 ON または OFF にタッチする



3 戻る にタッチする

地図の表示方法を設定する

地図の表示方法を設定できます。
工場出荷時は「ノーマルビュー」です。

1 地図ビュー にタッチする (→P188)

2 ノーマルビュー または スカイビュー にタッチする



3 戻る にタッチする

ロゴマークの表示を設定する

施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

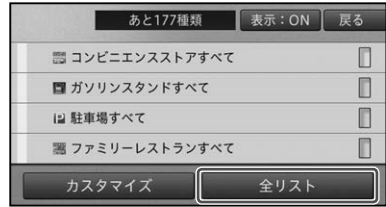
工場出荷時は以下のとおりです。

表示: 「ON」

表示種類: 「0種類」

1 ロゴマーク にタッチする (→P188)

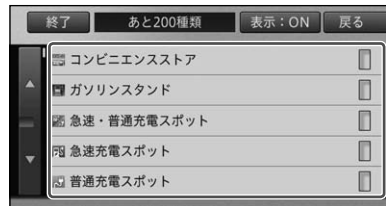
2 全リスト にタッチする



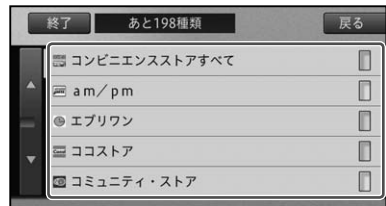
メモ

- ここでジャンルにタッチすると地図画面に戻り、選択したジャンルの全ての施設が地図上に表示されます。
- リストはお好みに応じてカスタマイズすることができます。(→P45)

3 ロゴマークを表示させたいジャンルにタッチする



4 ロゴマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選ぶことができます。

メモ

- 再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。
- 他のジャンルの施設を選ぶには、**戻る**にタッチして手順**3**の画面に戻り、手順**3**～**4**を繰り返してください。
- 表示設定が**表示:OFF**の場合は、**表示:OFF**→**表示:ON**とタッチして、表示設定を変更してください。

4 戻る→**戻る**→**戻る**にタッチする

メモ

- ロゴマークの表示設定操作は、「ロゴマークの表示設定をする」(→P44)と同様です。

誘導アイコンを設定する

目的地や立寄地などの誘導アイコンを設定できます。
工場出荷時は「パターン1」です。

1 誘導アイコンにタッチする (→P188)

2 お好みのパターンにタッチする



メモ

- エコプライズで獲得したアイコン（最大3種類）を設定することもできます。エコプライズについて、詳しくは「エコプライズについて」(→P186)をご覧ください。

ユーザー切り換えメニューを使う

ユーザーを新規登録する

オーナー以外の使用者を、ユーザー1～3に登録することができます。

メモ

- すでにユーザー1～3が登録済みの場合、新規登録ができません。登録済みのユーザーを削除(→P192)してから操作してください。

1 ユーザー切換にタッチする (→P187)

2 新規登録にタッチする



ユーザー設定画面が表示されます。

3 ユーザー設定をする(→P188)

4 終了にタッチする

メモ

- 新規登録を行うと、登録完了後はそのまま現在の使用者として選択されます。

ユーザーを切り換える

登録されたユーザーごとの設定値や操作履歴を使うには、ユーザーを切り換えます。

1 ユーザー切換にタッチする (→P187)

2 切り換えたいユーザーにタッチする



▼
選んだユーザーに切り換わります。

ユーザーを削除する

オーナー以外の登録ユーザーを削除することができます。

1 ユーザー切換にタッチする (→P187)

2 ユーザー削除にタッチする



3 削除したいユーザーにタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチする

▼
ユーザーが削除されます。

メモ

- オーナーを削除することはできません。
- 現在選択中のユーザーを消した場合、自動的にオーナーが選択状態になります。

スマートフォン連携機能を使う

スマートフォンを使用して、地図の操作(スクロールまたは縮尺の変更)や目的地の設定、オーディオの操作をすることができます。

メモ

- 本機能をお使いになるには、専用のアプリケーション(NaviConまたはsmart nAVVi Link)をスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、App StoreまたはGoogle Playのヘルプをご覧ください。
- スマートフォン側の準備が整ったら、本機とBluetooth接続してスマートフォン連携機能を使う設定にしてください。→「Bluetoothの設定を行う」(P106)
- 設定が完了すると、スマートフォン連携マークが画面下に表示されます。
 - ：スマートフォンの本機への登録と設定が完了しています。
 - ：スマートフォンが接続中です。(Android スマートフォンは表示されません)
 - ：スマートフォンの接続が完了し、本機と連携状態です。
- 走行中はハンズフリー接続中のスマートフォンからは本機能の操作はできません。
- 接続対応スマートフォンについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 専用アプリケーションのバージョンアップにより、実際の機能が取扱説明書と異なる場合があります。

注意

- スマートフォンは必ず固定してお使いください。走行中に転がり、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- エアバッグなどの車の安全装置が働いたときに動作の妨げになる場所や視認の妨げになる場所には固定しないでください。
- スマートフォンは車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります。)
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

NaviConアプリを使う

警告

- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

1 スマートフォンを操作してNaviConアプリを起動し、地図画面を表示する



メモ

- ナビ画面の状態によって地図表示がされない場合があります。
- 地図スクロール、スケールの変更も連動します。
- Androidスマートフォンは、NaviConの自動接続設定が無効に設定されている場合は、自動接続されません。自動接続されなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
- NaviCon起動時の操作方法は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

2 NaviConアプリを操作して目的地や立寄地の設定をする

設定情報が本機に送信され、本機で目的地や立寄地の設定が行われます。

メモ

- 本機の探索結果画面で**案内開始**にタッチせずに、新たに目的地を送信すると、表示されている探索結果はキャンセルされ、新たにルート探索されます。
- NaviConで複数の目的地を設定した場合、本機では地点1が目的地に、地点2以降が立寄地として設定されます。立寄地は地点2からの昇順に目的地に近い立寄地として設定されます。

NaviConアプリは以下からダウンロードできます。

<http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/navicon/index.html>



本アプリは、(株)デンソーが提供します。

smart nAVVi Linkアプリを使う

警告

- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

1 スマートフォンを操作して smart nAVVi Linkアプリを起動する



▼
本機との接続が自動で行われます。以降の操作は、「目的地設定をする」および「オーディオ操作をする」をご覧ください。

メモ

- ナビ画面の状態によってはスマートフォンアプリと連携して動作しない場合があります。
- Androidスマートフォンは、smart nAVVi Linkの自動接続設定が無効に設定されている場合は、自動接続されません。自動接続されなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。
- smart nAVVi Link 起動時の操作方法は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

smart nAVVi Linkアプリは以下からダウンロードできます。

<http://smartnavvilink.com/>



本アプリは、アイシン・エイ・ダブリュ (株) が提供します。

目的地設定をする

1 smart nAVVi Linkアプリを操作して目的地検索モードに入る

2 smart nAVVi Linkアプリを操作して目的地や立寄地の設定をする

▼
設定情報が本機に送信され、本機で目的地や立寄地の設定が行われます。

メモ

- 目的地の無い状態で立寄地を送信すると、目的地として設定されます。
- 本機の探索結果画面で**案内開始**を押さずに、新たに目的地や立寄地を送信すると、表示されている探索結果はキャンセルされ、新たにルート探索されます。

オーディオ操作をする

1 smart nAVVi Linkアプリを操作してオーディオ連携モードに入る

2 smart nAVVi Linkアプリのリモコン画面で、オーディオ操作をする

操作信号が本機に送信され、各機能の操作ができます。

共通リモコン

AUDIO OFF	AVソースがOFFになります。
MODE	AVソースを順番に切り換えます。
DISC	音楽CDやCD-R/RWなどを再生します。
TV	ワンセグ放送を受信します。
VTR	本機では操作できません。
△ Folder/ Album	フォルダー/アルバム/グループやプリセットチャンネルをアップします。
▽ Folder/ Album	フォルダー/アルバム/グループやプリセットチャンネルをダウンします。
△ Track	トラック/ファイルやプリセットチャンネルをアップします。 長くタッチすると、早送りをします。
▽ Track	トラック/ファイルやプリセットチャンネルをダウンします。 長くタッチすると、早戻しをします。
+ Volume	音量が大きくなります。
- Volume	音量が小さくなります。

メモ

- AVソースがOFF時にMODEにタッチすると、AVソースをOFFにする前のAVソースになります。
- AVソースがON時にMODEに長くタッチすると、AVソースがOFFになります。

DTV リモコン

d	本機では操作できません。
1 ~ 12	プリセットチャンネルを選局します。
△ ch	プリセットチャンネルアップをします。トラック/ファイルもアップすることができます。
▽ ch	プリセットチャンネルダウンをします。トラック/ファイルもダウンすることができます。
+ Volume	音量が大きくなります。
- Volume	音量が小さくなります。
←→↑↓ 決定	本機では操作できません。
データ放送操作キー (青/赤/緑/黄)	本機では操作できません。

タッチパネルのタッチ位置を調整する






画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。



•必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。

メモ

•タッチパネル調整を途中で終了する場合は、 (メニュー) を長く押すか、 (現在地) または  (オーディオ) を押してください。 を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻り、 を押した場合は、AV画面に戻ります。

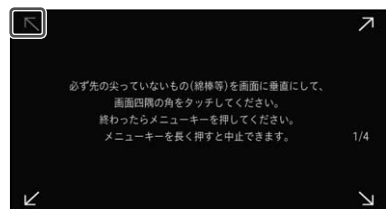
1 (メニュー) を2秒以上押す

▼
画質調整画面(→P25)が表示されます。

2 画質調整画面のまま (メニュー) を2秒以上押す

▼
タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする



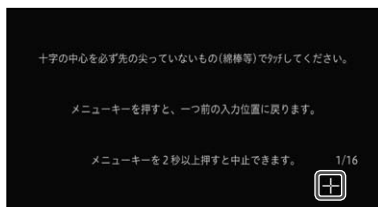
4 (メニュー) を押す

▼
調整結果が保存されます。

5 もう一度 (メニュー) を押す


▼
16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする



▼
16点タッチ後、画面に表示される+マークにタッチすると、調整結果が保存されます。

メモ

•保存中はエンジンを切らないでください。
•1つ前の調整に戻るには、 (メニュー) を押してください。

7 (メニュー) を2秒以上押す

▼
調整を終了し、画質調整を行う前に表示していた画面に戻ります。

メモ

•タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店にご相談ください。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障があることがあります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。(→P222)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)があることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

LEDバックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。

CD



- ひび、キズ、そりのあるディスクを使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面(虹色に光っている面)を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。

- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけないでください。ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。また、再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについては「再生できるディスクの種類」(→P200)をご覧ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などを使用しないでください。

保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところに、保管しないでください。
- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

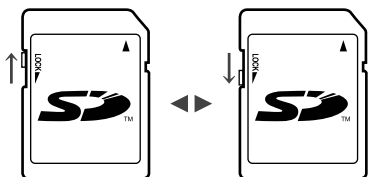
SDカードの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。

データの保護について

- バックアップされていない大切なデータなどが保存されているときは、ライトプロテクト(書き込み防止)スイッチをスライドしてLOCKしてください。



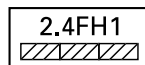
書き込み、消去可能

書き込み、消去不可

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解 / 改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - * 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）

- * 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
- * アマチュア無線局など



2.4 FH 1
① ② ③

- ① 「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」 変調方式を表します。
- ③ 「1」 想定される干渉距離（約 10 m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店にお問い合わせください。

ディスクについて

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

CD



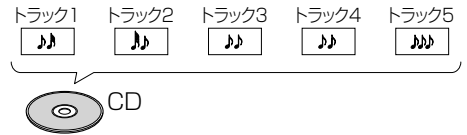
- CD-EXTRAは、音楽CDとして再生することができます。
- コピーガード機能付きCD（Copy Control CDなど）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）

- 本機は、音楽データ（CD）とWMA/MP3（CD-R/RW）のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生されるデータは音楽データ（CD）のみとなります。

ディスクの構成について

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

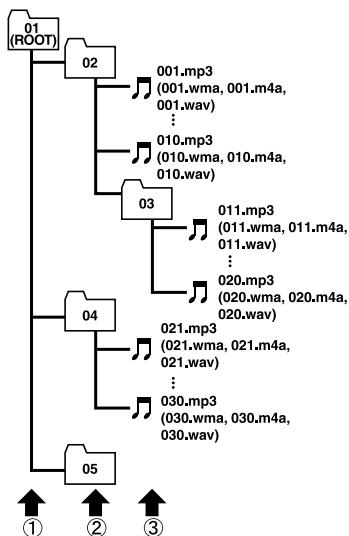
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



WMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

フォルダーとWMA/MP3/AAC/WAVファイルについて

- WMA/MP3ファイルを収録したディスクや、WMA/MP3/AAC/WAVファイルを収録したSDカード内のイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA/MP3ファイルが記録されたCD-R/RW (CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応) や、WMA/MP3/AAC/WAVファイルが収録されたSDカードの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。

- 再生できるフォルダー数の合計は、最大192 (CD-R/RWの場合) / 300 (SDの場合) です。
- 再生できるファイル数の合計は、最大255 (CD-R/RWの場合) / 5 000 (SDの場合) です。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から28文字、半角では先頭から56文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC/WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が192個まで再生可能です。

WMAとは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

メモ

- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。
- 画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- WMA Tagのalbum(アルバム名として表示)、title(楽曲名として表示)、artist(アーティスト名として表示)の表示に対応しています。
- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32 kHz～48 kHz(CD-R/RWの場合)／8 kHz～48 kHz(SDの場合)です。
- 対応ビットレートは48 kbps～320 kbps(CD-R/RWの場合)／5 kbps～320 kbps(SDの場合)です。VBRIに対応しています。
- デジタル著作権管理(DRM)で保護されたファイルは再生できません。すべてのファイルがDRMで保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless(可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

メモ

- MP3ファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 Tagのalbum(アルバム名として表示)、title(楽曲名として表示)、artist(アーティスト名として表示)の表示に対応しています。
- 対応可能なID3 Tagのバージョンは1.0、1.1、2.2、2.3、2.4です。なお、ID3 TagのVer.1.XとVer.2.Xが混在している場合は、Ver.2.Xが優先されます。
- 再生可能なMP3ファイルの対応サンプリング周波数は、16 kHz～48 kHz(CD-R/RWの場合)／8 kHz～48 kHz(SDの場合)です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは8 kbps～320 kbpsです。VBRIに対応しています。

AACとは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて

メモ

- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.m4a)を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子(.m4a)が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子(.m4a)を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC Tagのalbum(アルバム名として表示)、title(楽曲名として表示)、artist(アーティスト名として表示)の表示に対応しています。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は8 kHz～48 kHzです。
- 対応ステレオビットレートは8 kbps～320 kbpsです。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
* Apple Lossless

WAVとは？

WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できるWAVファイルについて

メモ

- WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けしないでください。
- 本機はLPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- 本機は16 kHz～48 kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数が大きいほど音質は良くなります。本機は8/16 bitの量子化ビット数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

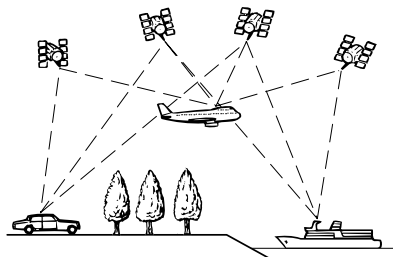
ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

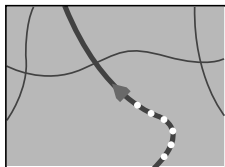
高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスが入力されているときは、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能になります（高精度3Dハイブリッドシステム）。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

メモ

- ・シティマップで道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

誤差について

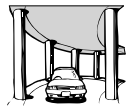
次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

GPS 測位不可による誤差

- ・次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- ・次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- ・GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS 衛星自体による誤差

- ・GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- ・捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

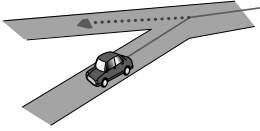
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなる場合があります。

低速時の自転車位置精度について

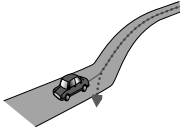
車種によっては数km/h程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数km/h程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



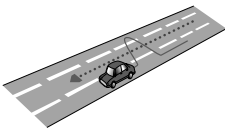
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



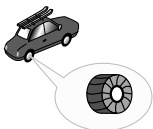
- 蛇行運転をした場合。



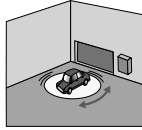
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



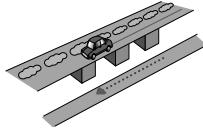
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



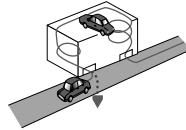
- ヘアピンカーブが続いた場合。



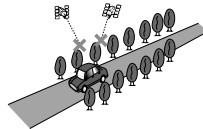
- 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



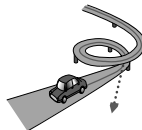
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



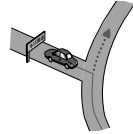
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



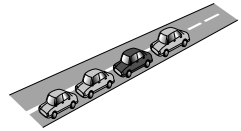
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



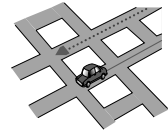
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
「高温あるいは低温を検出したためシステムを一時停止します。復帰するまでしばらくお待ちください。」というメッセージが表示される。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くなったり低くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。正常な温度に戻ると、[高温あるいは低温状態からシステムが動作可能な状態に復帰しました。]と表示されます。
「走行中は操作できません。」というメッセージが表示される。	走行中に操作できない機能を操作した。	一部の機能は、安全のため走行中に操作できないようになっています。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自転車位置を測位できない。 測位誤差が大きい。	GPSアンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。	3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P98)して、学習をやり直してください。
自転車位置がずれる。	測位誤差。	測位誤差の発生しやすい場所については、「誤差について」(→P205)をご覧ください。 3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセット(→P98)して、学習をやり直してください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側で響きが大きく聞こえる。	通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	受話音量を小さくすることで改善できることがあります(→「ナビゲーションの音量を設定する」(P111))。ただし、本機のしくみ上、完全に響き(エコー)をなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。
Bluetooth機器と接続できない。	本機がBluetooth機器と通信できない状態になっている。	Bluetooth機器の電源を入れ直すか、車のエンジンスイッチ(ACC)をOFF/ONしてください。 あとからBluetooth機器の電源を入れたときは、1分ほどお待ちいただくか、「Bluetooth機器を切り換える」(→P108)の操作をして、Bluetooth接続するBluetooth機器を選択してください。

オーディオ

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。→「画面を一時的に消す(ナビスタンバイ)」(P24)
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	▲(現在地)で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。→「フェーダー/バランス設定」(P145)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P124)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P124)

CD/CD-R/RW (WMA/MP3)

症状	原因	処置
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3ファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3ファイルにしてください。
WMA/MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けたCD-R/RWを再生しないでください)。
聞きたいWMA/MP3ファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。
「高温、または低温のため、再生できません。ディスクを取り出してください。」というメッセージが表示される。	エアコン吹き出し口の近くに設置したことなどが原因で、ナビゲーション本体の内部温度が高くまたは低くなった。	ディスクを取り出し、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。
「再生できません。ディスクを取り出してください。」というメッセージが表示される。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりの無いディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのタイトル面を上にして挿入してください。
「再生できないディスクです。」というメッセージが表示される。	本機で再生できないディスクを挿入している。	「再生できるディスクの種類」(→P200)をご確認のうえ、本機で再生できるディスクに交換してください。

TV

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、 コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが 映る。	受信状態が悪くなった場合などは、 そのような症状になります。これら は地上デジタル放送特有の現象で、 故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
音声切換、字幕切換 の タッチキーが薄く表示さ れていて切り換わらない。	受信中の番組が、それらの情報を放 送していない。	それらの情報を放送している番組で 操作してください。
受信できない。 「受信できません」という メッセージが表示される。 「スキャンを実行してくだ さい」というメッセージが 表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外 したとき、「視聴者設定クリア」(→ P132)をしたときは、チャンネルス キャンをしてください。→「放送局を 自動で登録する(チャンネルスキャン)」 (P131)
	移動により、受信中のチャンネル電 波が弱くなった。	他の中継局(チャンネル)に切り換 えてみてください。エリアプリセッ ト以外の方法で受信している場合 でも、オート放送局サーチ設定に従っ て、自動的に受信可能な中継局や系 列局に切り換えます。受信可能な中 継局や系列局を自動的に探して切り 換えることができます。→「オート放 送局サーチ設定」(P132)
	放送局(チャンネル)が増えたり、他 のエリアに移動して受信環境が変 わった。	受信環境が変わったときは、チャン ネルスキャンをしてください。 →「放送局を自動で登録する(チャン ネルスキャン)」(P131)
	受信レベルが低下して、放送が受信 できない。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
「ANTENNA」というメッ セージが表示される。	ワンセグ用アンテナに不具合がある。	販売店にご相談ください。
「アンテナ接続エラーの可 能性があります。」という メッセージが表示される。		
「チャンネルが登録され ていません。」というメッ セージが表示される。	プリセットチャンネルリストにチャ ンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてくださ い。→「放送局を自動で登録する(チャ ンネルスキャン)」(P131)
「受信可能なサービスがあ りません。」というメッセ ージが表示される。	サービスが登録されていない。	
「このチャンネルは登録 できません。」というメッ セージが表示される。	ユーザープリセットにメモリーでき ないチャンネルを登録しようとし た。	登録できるチャンネルを探して登 録してください。

症状	原因	処置
「現在、このサービスは視聴できません。」というメッセージが表示される。	放送（サービス）としては存在するが、放送されていない。	-
「映像情報がありません。」というメッセージが表示される。	音声のみの番組です。	-
「走行中は音声のみでお楽しみください。」というメッセージが表示される。	走行中にテレビを見ようとした。	安全のため、走行中に映像を見ることはできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてからご覧ください。

SDカード

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3/AACファイルにしてください。
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAVファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」、AACファイルに「.m4a」、WAVファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」、AACファイルに拡張子「.m4a」、WAVファイルに拡張子「.wav」を付けてください。
お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、本機で認識しない。 「このSDカードは本機では使用できません。」というメッセージが表示される。	本機が対応していないSDカードを挿入した。	本機が対応しているSDカードをご確認ください。(→P137) 専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/
「SDカードが正しく挿入されていることをお確かめください。」というメッセージが表示される。	SDカードが完全に挿入されていない。	SDカードを完全に挿入してください。→「SDカードの出し入れ」(P28)

ETC

症状	原因	処置
「ETCカードの挿入不良です。」というメッセージが表示される。	ETCカードの挿入不良。料金所にて車両の停止が案内(表示)される場合があります。	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETCカードのデータが読み出せませんでした。」というメッセージが表示される。	[ETCカード挿入時]挿入されたETCカードのデータが読み出せない。	再度挿入してください。それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
「挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください。」というメッセージが表示される。	挿入されたカードがETCカードであるか認識できない。	正しいETCカードであることを確認のうえ、再度挿入してください。それでもエラー No.およびメッセージが表示される場合はETCカード発行者(クレジットカード会社など)、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETCカードに書き込みできませんでした。」というメッセージが表示される。	ETC車載器が故障している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
「ETCに異常が発生しました。ETCをご利用できません。」というメッセージが表示される。	ETC車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生した。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。

リセットについて

本体リセットについて

次のようなときは、本機をリセットしてください。

- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

メモ

• 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

1 音楽(オーディオ)とメニューを2秒以上同時に押す

▼
本機が再起動します。

センサーリセットについて

次のような場合は、センサー学習をリセットしてください。

- 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合
- 測位の誤差が大きくなった場合
→ [オールリセット] を行ってください。
- タイヤを交換した後、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合
→ [距離学習リセット] を行ってください。

メモ

• センサー学習をリセットした場合、エコ運転評価(→ P185)の情報も一旦リセットされます。

1 [メニュー]を押す、情報システム情報 - センサー学習状況にタッチする

2 センサー学習にタッチする



3 オールリセットまたは距離学習リセットにタッチする



4 はいにタッチする

▼
センサーがリセットされます。

センサー学習とは

本機の3Dハイブリッドセンサーは、走行状況(距離/方位/傾斜(3D))を検知して、その結果を学習しています。したがって、走行を重ねるごとに測位の精度が高くなります。

センサーが学習した結果は、本機に内蔵されているセンサーメモリーに蓄積されます。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランプラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICIS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工
事上やむを得ないときは、VICIS サービス
の利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICIS
サービスの利用を中止するときは、あ
らかじめそのことを加入者にお知らせし
ます。ただし、緊急やむを得ない場合は、
この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの
視聴障害による放送休止、その他当セン
ターの責めに帰すことのできない事由に
より VICIS サービスの視聴が不可能ない
し困難となった場合には一切の責任を負
いません。また、利用者は、道路形状が
変更した場合等、合理的な事情がある場
合には、VICIS サービスが一部表示され
ない場合があることを了承するものと
します。ただし、当センターは当該変更
においても変更後3年間、当該変更に対
応していない旧デジタル道路地図上でも、
VICIS サービスが可能な限度で適切に表
示されるように、合理的な努力を傾注す
るものとします。

2 VICIS サービスは、FM 放送の電波に多
重して提供されていますので、本放送の
伝送方式の変更等が行われた場合には、
加入者が当初に購入された受信機による
VICIS サービスの利用ができなくなりま
す。当センターは、やむを得ない事情が
あると認める場合には、3年以上の期間
を持って、VICIS サービスの「お知らせ」
画面等により、加入者に周知のうえ、本
放送の伝送方式の変更を行うことがあり
ます。

別表 視聴料金

視聴料金：300円（税抜）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント(位置)が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのはATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。
- 営業時間データは、日をまたがないようにデータ収録されているため、閉店が0時をすぎる場合であっても、0時として収録されています。
- 24時間営業は24時間の営業で収録されています。

ルートに関する注意事項



- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、ルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます(本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます)。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗降IC(インターチェンジ) 指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100 mスケールでグレー表示の細い道（→「[記号・マーク一覧](#)」(P235)）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその約150 m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「*****円」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

VICS情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICSセンターからのFM多重放送を使用したVICS情報は、NHK-FMのFM多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICSセンター情報などで確認してください。

VICSセンターのお問い合わせ先

VICSの概念、計画、またはFM多重放送により提供されるVICS情報に関することは、(財) VICSセンターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831

(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

FAX受付時間：24時間

FAX番号：03-3562-1719 (全国)

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積 95% 以上 (33 都市)

さいたま市、千葉市、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、横浜市、川崎市、名古屋市、向日市、大阪市、堺市、東大阪市、神戸市

整備面積 80% 以上 (3 都市)

狛江市、相模原市、府中町

整備面積 50% 以上 (10 都市)

町田市、久御山町、守口市、松原市、高石市、大阪狭山市、北九州市、福岡市、志免町、水巻町

整備面積 50% 未満 (108 都市)

札幌市、江別市、北広島市、石狩市、仙台市、名取市、多賀城市、利府町、富谷町、川越市、川口市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、戸田市、志木市、和光市、新座市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、市川市、松戸市、佐倉市、習志野市、市原市、八千代市、浦安市、四街道市、八街市、大網白里町、八王子市、武蔵野市、三鷹市、調布市、多摩市、稲城市、西東京市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、厚木市、大和市、座間市、愛川町、清川村、新潟市、上野原市、静岡市、浜松市、湖西市、瀬戸市、春日井市、東海市、大府市、尾張旭市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、豊山町、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、大津市、京都市、宇治市、長岡京市、八幡市、豊中市、吹田市、八尾市、富田林市、河内長野市、大東市、和泉市、羽曳野市、門真市、摂津市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、宝塚市、三木市、三田市、稲美町、生駒市、平群町、岡山市、早島町、広島市、廿日市市、海田町、坂町、下関市、中間市、春日市、大野城市、那珂川町、新宮町、粕屋町、芦屋町

阪神高速道路株式会社から のご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由した後にその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。（乗り継ぎ区間ではETCが利用可能。）また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

3号神戸線（京橋・摩耶出入口）⇔5号湾岸線（住吉浜出入口）

4号湾岸線（大浜出入口）⇔15号堺線（堺出入口）

3号神戸線（中之島西出口）→1号環状線（堂島入口）

16号大阪港線（波除出口）→1号環状線（堂島入口）

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063）「©2013一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2013年3月発行を使用。
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日）

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。（承認番号 平23情使、第43号-10号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。（承認番号 平24情使、第199号-10号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平24情使、第780号-10号）
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2013年3月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは2013年6月までの調査で2013年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のものです。2012年1月1日実施の距離別料金制については現金車料金のみに対応とする。

VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

放送局リストのデータについて

- VICS、AM、FM、地上デジタルテレビの放送局名リストは2013年5月調査時点のものです。

その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社(2013年3月現在のタウンページデータ)
- 公益財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)アイ・エム・ジェイ(2012年10月現在の駐車場データ)



メモ

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあっても弊社は保障するものではありません。

アフターサービスについて

保証について

1. 保証の内容

トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場でご取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。

(以下、この無償修理を保証修理といたします。)

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2. 保証の期間、受け方

(1) 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。

(2) 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3. 保証しない事項

(1) 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

- ① トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など。
- ② 取扱書に示す取扱い方法及び異なる使用及び不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ① 消耗部品および油脂類など。(ヒューズ、各種電球など)
- ② 商品を使用できなかった事による不便さ及び損失など。

4. 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5. その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買いあげの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

使用電圧	13.2 V DC (10.5 V ~ 16.0 V 使用可能)
最大消費電流	15 A
使用温度範囲	- 20 °C ~ + 65 °C

◆ナビゲーション本体 (GPS 部)

受信方式	マルチチャンネル受信方式
------	--------------

◆モニター部

画面サイズ	7.0 型ワイド VGA
画素数	1 152 000 画素 [水平 800 X 垂直 480 X 3 (RGB)]
方式	TFT アクティブマトリクス方式

◆オーディオ部

最大出力	40 W x 4
負荷インピーダンス	4 Ω x 4
イコライザー	(5 バンドグラフィックイコライザー)
周波数	100 Hz、315 Hz、1.25 kHz、 3.15 kHz、8 kHz
調整幅	± 12 dB (2 dB/step)

◆CD プレーヤーメカ部

対応ディスク	CD-ROM、CD-DA、CD-R/RW
デコーディングフォーマット	MP3..... MPEG-1,2 AUDIO LAYER-3 WMA..... Windows Media Audio ver.7,8,9 (2ch audio)

◆FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 MHz ~ 90.0 MHz
音声	ステレオ

◆AM チューナー部

受信周波数帯域	522 kHz ~ 1 629 kHz
音声	モノラル

◆ワンセグチューナー部

放送方式	地上デジタル放送方式 (日本)
受信チャンネル	470 MHz ~ 770 MHz (UHF13ch ~ 62ch)

◆AUX 部

音声入力レベル	1 Vp-p
---------	--------

◆SD カード部

最大メモリー容量	32 GB
ファイルシステム	FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット	MP3..... MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3 WMA (ASF)..... Windows Media Audio ver.7,8,9 (2ch audio)
AAC	iTunes ver. 7.6 (AAC-LC)
WAV	LPCM

◆Bluetooth 部

Bluetooth バージョン	Bluetooth2.1+EDR
-----------------	------------------

◆外形寸法

本体	206 mm (W) X 104 mm (H) X 176 mm (D)
----	---

◆質量

本体	2.4 kg
----	--------

◆付属品

取付キット	1 式
ナビゲーション & オーディオブック	1

商標・著作権など

- ・本製品は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。



□D11-0044001
回007WWDUL0613

- ・Microsoft, Windows, Windows Vista, および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

- ・本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずには使用または頒布できません。

- ・MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- ・iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



- ・「Made for iPhone」とは、iPhone 専用接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。



は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

- ・SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- ・Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。



- ・「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。



- ・「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。

- ・本製品は NaviCon® に対応した機種です。

- ・「NaviCon®」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。

- ・smart nAVVi Link は、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社の商標です。

- ・「Google」、「Android」、「Google Play」は、Google Inc. の商標 または登録商標です。

- ・この製品に含まれるブラウザの変更及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。

- ・Entier (エンティア) は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。

1. 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。

2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であることを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。

3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。

4. 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。

5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。

(1) 輸出するとき。

(2) 海外へ持ち出すとき。

(3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。

(4) 前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2：第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- ここでは、本製品に使用されているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。正確な内容を保持するため、原文(英語)を記載しています。

• **bsdiff**

Copyright 2003-2005 Colin Percival
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

• **libjpeg**

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

• **FreeType**

Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)

- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

索引

メニュー索引

情報メニュー

- (メニュー) ▶ **情報** ▶ **渋滞情報** → P92, 93
 - データバージョン表示** → P100
 - メンテナンス** → P96
 - システム情報** → P98, 99
 - ETC** → P94

目的地メニュー

- (メニュー) ▶ **目的地** ▶ **名称** → P55
 - 住所** → P56
 - ジャンル** → P57
 - 周辺施設** → P57
 - 電話番号** → P59
 - 登録地** → P59
 - 検索履歴** → P60
 - 自宅** → P54
 - マップコード** → P60

設定・編集メニュー

- (メニュー) ▶ **設定・編集** ▶ **ナビゲーション** ▶ **ナビデータ編集** → **登録地編集** → P83
 - 検索履歴消去** → P87
 - 学習ルート消去** → P87
 - 走行軌跡消去** → P88
 - ナビ機能設定** → P101
 - 音量設定** → P111
 - システム設定** → **セキュリティ設定** → P116
 - 案内/電話スピーカー設定** → P111
 - スライド枠表示設定** → P119
 - バックガイドモニター設定** → P170, 171
 - 設定初期化** → P119
 - 車両情報設定** → P113
 - 自車位置補正** → P115
- オーディオ** ▶ **オーディオ設定** → P145
 - TV設定** → P132
 - 映画画面時計表示** → P123
- 電話・通信** ▶ **Bluetooth設定** → P106
 - 音量設定** → P111
 - 携帯電話データ編集** → P182
- QUICK SETUP** → P15

携帯電話メニュー

- (メニュー) ▶ **携帯電話** ▶ **ダイヤル発信** → P180
- メモリダイヤル** → P182
- 発着信履歴** → P180
- リダイヤル** → P181
- Bluetooth設定** → P106
- 編集・消去** → P182

エコマネージャーメニュー

- (メニュー) ▶ **エコマネージャー** ▶ **エコプライズ** → P186
- 燃費設定** → P186
- エコ運転評価履歴** → P185

ルート編集メニュー

- (メニュー) ▶ **ルート編集** ▶ **ルート消去** → P79
- ルートプロフィール** → P78
- 詳細ルート設定** → P78
- 立寄地送り** → P79
- デモ走行** → P79

用語索引

五十音順

あ

あかさたな送り	26
明るさ	25
アフターサービス	221
アローガイド	71
案内音量	111
案内地	71
イコライザー	146
補正	147
イジェクト(ディスク)	27
一時停止	133, 135, 137, 140
一般道シンプルガイド	104
イラスト情報(施設)	52
イルミネーション	100
色合い	25
色温度	25
色の濃さ	25
インジケータ	26
インジケータ(セキュリティ)	118
インターチェンジ(IC)	50, 64, 67
インテリジェントリルート	76
営業時間考慮	58, 216
映像画面時計表示	123
エコ運転評価	185
エコー(残響音)	178
エコプライズ	186
エコマネージャーメニュー	37, 185
エリアプリセット	125, 129
オーディオ操作をする	195
大文字/小文字	31
オーディオ設定	145
オート(VICS放送局選択)	93
オートハイウェイマップ	102
オートハイウェイモード	49
オート放送局サーチ	132
オートリルート	76
音送り	26
音楽CD	133
音声圧縮方式	201
音声案内	73, 157
音声切換	131
音量	16, 111, 170, 189

か

回転速度計	98
外部機器	144
学習ルート消去	87
学習ルート探索	69, 103
角度調整	24
画質調整	25
画面切り換え	
(ナビゲーション⇔AVソース)	23
記号	34
規制表示	105
軌跡表示	39
機能設定	101
渋滞情報	105
地図表示	102
ルート・案内	103
キーボード方式(文字入力)	30
行送り	26
距離	98
キーワード検索	56
緊急警報放送(EWS)の受信について	123
緊急情報の自動表示	91
黒の濃さ	25
傾斜計	98
携帯電話	
受ける	178
かける	179
切り換え	108
携帯電話情報	182
携帯電話情報を編集する	182
携帯電話方式(文字入力)	30
携帯電話メニュー	37
携帯電話持ち込み忘れ案内	110
携帯電話持ち込み忘れ案内を設定する	110
携帯電話を使う	178
現在地画面	21, 39
現在地情報の表示	102
県境案内	48, 104
検索履歴	87
検索履歴から探す	60
広域	41
効果音	84
交差点案内表示	71, 103
高精度3Dハイブリッドシステム	204
交通規制情報	89

交通障害情報	89	出発地指定	68
交通情報	89, 127	順調表示	105
候補表示画面	47	仕様	222
ここへ行く	63	消音タイミング	148
ここを登録する	81	消音レベル	148
誤差	205	消去	
コントラスト(明暗)	25	学習ルート	87
さ		検索履歴	87
細街路案内	48, 73, 104	走行軌跡	88
再生	133, 135, 137, 140	登録地	84
再探索(ルート)	78	ルート	79, 80
サイドマップ	46	乗降IC指定	67
サービスエリア(SA)	50, 52	詳細(地図のスケール)	41
サービス切換	130	詳細市街地図 → シティマップ	42, 218
座標	46	詳細ルート設定	66
サンプリング周波数	202	情報画面	47
時間規制	69	情報メニュー	35
シーク(VICS放送局選択)	93	消耗品	96
市区町村名	56	初期化	119
自転車位置修正	115	ショートカットメニュー	38
施設情報	50, 51	シリアルナンバー	98
自宅		自立航法	204
帰る	54	人工衛星	204
登録	16, 54	信号機	49
シティマップ	42, 102, 218	信号機ジャスト案内	104
シティマップ境界表示	102	進行方向案内	73
自動登録(放送局)	126, 131	振動ジャイロセンサー	204
字幕切換	131	シンプルガイド	74
車速パルス	98, 99	スカイビュー	42
車両情報	17, 113	スキャン	19, 126
車両メンテナンス	96	スキャン → 自動登録	131
ジャンルで探す	57	スクロール確認画面	65
十字カーソル	38, 41	スクロール画面	41
住所で探す	56	図形情報(VICS情報)	92
渋滞オートガイド	77, 91	スケール	41
渋滞・規制情報	77, 91	ステアリングスイッチ	21
渋滞考慮ルート探索	69, 103	ステレオ放送	124, 129
渋滞情報	89, 92, 93	スマートフォン連携機能を使う	193
渋滞情報表示	105	スマートIC	50
渋滞情報表示(ハイウェイモード)	52	スマートIC考慮ルート探索	69, 103
渋滞情報表示対象道路	105	スライド操作	22
渋滞チェック	77, 91	スライド枠を表示する	119
周辺施設を探す	57	ずれ(自転車位置)	115
縦列駐車	157, 166	セキュリティ機能	116
収録データベース	219	セキュリティ設定	16, 116
主音声	131	接続状態	99
受信状態	93	設定初期化	119
		設定・編集メニュー	36

セーフティインフォメーション	48	電話をかける	179
前後G	98	ダイヤル発信	180
センサー学習	98, 213	地図に登録された電話番号	181
センター情報 (VICSセンター)	92	メモリダイヤル呼び出し	180
走行軌跡自動消去	102	リダイヤル	181
走行軌跡消去	88	到着予想時刻	70
走行軌跡表示	102	到着予想時刻速度 (一般道)	103
操作音	111, 189	到着予想時刻速度 (有料道)	103
操作タッチキー	128	登録	
ソースレベルアジャスター	147	自宅	16, 54
		スケール	44
		場所	81
		登録地	
		消去	84
		編集	83
		名称表示 (プライベートマッピング)	84
		登録地移行	85
		登録地から探す	59
		道路交通情報通信システム → VICS	89
		時計表示 (映像画面)	123
		都市高速道路	72
		都道府県名	56
		トラック	133
		トリップメーター	98
た		な	
ダイヤルQ2	59	ナビゲーション画面 (地図画面)	23
ダイヤル発信	180	ナビスタンバイ	24
タウンページ	216	ナビメニュー	35
立寄地	66	入力キーボード	189
先送り	79	燃費	17
削除	67	燃費設定	186
追加	66	ノーマルビュー	42
並べ替え	67		
タッチキー	22	は	
タッチパネル	22	ハートフル音声	104
タッチパネルキャリブレーション	196	ハイウェイモード	42, 46, 50
タブ送り	26	パーキングエリア (PA)	50, 52
探索条件	64, 78	パーキングブレーキ	100
短縮ダイヤル	59	場所	
チェックマーク	26	探す	55
チェックリスト	26	登録	81
地図色切換	102	パスキー	109
地図で探す	55	パスキーを変更する	109
地図に登録された電話番号にかける	181	パスワード	85, 117
チャンネルスキャン	19, 131	パーソナライズ	18, 187
駐車場情報	89	バックガイドモニター	149
駐車場マーク表示	105	バック信号	100
駐車制限 (車種)	113		
駐車制限 (車両寸法)	114		
通行止め考慮オートリルート	76		
通話中メニュー	181		
通話中メニューの操作	181		
データバージョン	100		
デモ走行	79		
電源電圧	100		
電波発射	110		
電波発射をON/OFFする	110		
電話番号で探す	59		
電話番号を入力して電話をかける	180		
電話を受ける	178		

- | | | | |
|-----------------|---------------|-------------------------|--------------------|
| バックモニター | 173 | 名称で探す | 55 |
| 発信 | 180, 181 | メモリダイヤル | 180, 182, 183 |
| 発信者番号通知サービス | 179 | メモリダイヤル転送 | 107 |
| 発着信履歴 | 180 | メモリダイヤルを消去する | 183 |
| 発着信履歴から電話をかける | 180 | メモリダイヤルを呼び出して
電話をかける | 180 |
| 番組内容 | 131 | メモリダイヤルを読み込む | 182 |
| 番組表 | 130 | 目的地 | 55 |
| ハンズフリー通話 | 107, 178 | 目的地メニュー | 36 |
| ハンズフリー通話をする | 178 | 文字拡大 | 189 |
| バンド | 125 | 文字情報 (VICS 情報) | 92 |
| 微調整 (スクロール) | 40 | 文字入力 | 30, 31 |
| ビットレート | 202 | 大文字 / 小文字 | 31 |
| 表示方法 | 41, 190 | 記号 | 34 |
| ファクトリーカーブ | 146 | 削除 | 32 |
| フェーダー / バランス | 145 | 種類 | 30 |
| フェリー航路使用条件 | 103 | スペース | 32 |
| フォルダー | 136, 138, 201 | 全角 | 31 |
| 副音声 | 131 | 挿入 | 32 |
| 物理チャンネル | 129 | 濁点・半濁点・小文字 | 31 |
| 踏切案内 | 48, 104 | 半角 | 31 |
| プライベートマッピング | 84 | 変換 | 33 |
| プリセット | | 無変換 | 33 |
| エリアプリセット | 125, 129 | 文字の拡大表示 | 44 |
| ユーザープリセット | 125, 129 | | |
| プリセットチャンネル | 124, 129 | | |
| 分岐 (有料道路) | 72 | | |
| 分岐先の情報 | 51 | や | |
| 分岐施設 | 50, 51 | 有効期限切れ通知 | 53 |
| 並列駐車 | 152, 155 | 誘導アイコン | 191 |
| ページ送り | 26 | 有料道注意地点・県境案内 | 48, 104 |
| 別道路切換 | 115 | 有料道路 | 49 |
| 編集 | | 有料道路使用条件 | 103 |
| 登録地 | 83 | 有料道路料金区分 | 113 |
| ルート | 78 | ユーザーアイコン | 188 |
| 方位 | 98 | ユーザー切換 | 191 |
| 放送局 (VICS 情報) | 93 | ユーザー設定 | 188 |
| 放送局 (ラジオ) | 124 | ユーザープリセット | 125, 129 |
| 他のルート | 65 | | |
| ポータブルオーディオプレーヤー | 144 | ら | |
| ボタン | 20, 23 | ライト点灯案内 | 48, 104 |
| | | ラウドネス | 146 |
| ま | | ラジオ | 124 |
| マップコード | 60 | ランダム再生 | 134, 136, 139, 142 |
| マップマッチング | 205 | ランプ | 50 |
| マニュアルプリセット | 125, 130 | リスト (VICS 放送局選択) | 93 |
| マルチセッション | 201 | リスト画面 | 25, 47 |
| 道のり・到着予想時刻表示 | 103 | リセット (センサー学習) | 98, 213 |
| 向き (地図) | 42 | リダイヤル | 181 |
| | | リダイヤルで電話をかける | 181 |

立体交差	71
リピート再生	134, 136, 138, 142
リフレッシュ案内	48, 104
料金所	50, 53
料金所(入口・出口)	72
料金表示	51
旅行時間情報	89
履歴情報	184
履歴情報を消去する	184
ルート案内	70
ルート案内開始画面	64
ルートインフォメーション	70, 77
ルートを再探索	78
ルート再探索 → オートリルート	76
ルート消去	79, 80
ルート探索	63
学習ルート探索	69
自宅	54
渋滞考慮ルート探索	69
スマートIC考慮ルート探索	69
ルート探索基準	103
ルート地図	63, 66
ルート注意事項	216
ルートプロフィール	63, 65
レベル 1: 文字	89
レベル 2: 簡易図形	89
レベル 3: 地図	89
ロゴマーク	44, 58

わ

ワンセグ	19, 128
------	---------

数字・アルファベット順

数字

2D(ノーマルビュー) 固定スクロール	102
2Dマーク	84
2カ国語放送	131
2次元測位	204
3Dハイブリッドセンサー	12, 204
3Dハイブリッドモード	98
3次元測位	204
50音タブ	26
100mスケール一方通行表示	43

A

A2DP	140
AAC (Advanced Audio Coding)	203
ALL REPEAT	142
Apple Lossless	203
ATOK	30
AUX	144
AVRCP	140
AV画面への割り込み	104
AVソースアイコン	121
AVソース画面(オーディオ画面)	23, 121
AVソースプレート	121
AVプロファイル	140

B

Bluetooth Audio	140
Bluetooth 機器を切り換える	108
Bluetooth 設定	17
Bluetooth の設定を行う	106
Bluetooth プロファイル	106

C

CD	133, 200
CD-EXTRA	200
CD-R/RW	135
Copy Control CD	200

D

DDCD	200
DISC REPEAT	134, 136
DRM (デジタル著作権管理)	135

E

ETCカード有効期限	100
------------	-----

- | | | | |
|------------------------|----------|--|---------------|
| ETCカード有効期限切れ通知 | 53 | R | |
| ETC情報 | 94 | Romeo | 201 |
| ETC取付状態 | 16 | S | |
| ETCユニット(ETC車載器) | 100 | SDHC | 137 |
| ETCレーン案内 | 53, 104 | SDカード | 28, 137, 198 |
| eスタート案内 | 48, 104 | SEEK | 124, 129 |
| F | | smart nAVVi Link アプリを使う | 194 |
| FILE REPEAT | 138 | SUPER BASS | 146 |
| FLAT | 146 | T | |
| FM-VICS | 89 | TRACK REPEAT | 134, 136, 142 |
| FM多重放送 | 93, 218 | V | |
| FOLDER REPEAT | 136, 138 | VBR | 202 |
| G | | VICS (Vehicle Information &
Communication System) | 89 |
| GPS | 204 | VICS 情報提供時刻 | 90 |
| GPS アンテナ | 99 | VICS 情報の表示 | 89, 90, 92 |
| GROUP REPEAT | 142 | VICS センター | 218 |
| I | | VICS マーク | 91 |
| ID3 Tag | 202 | VOCAL | 146 |
| ISO9660 | 201 | W | |
| iTunes | 203 | WAV | 203 |
| J | | Windows Media™ Audio | 201 |
| Joliet | 201 | Windows Media Audio 9 Lossless | 202 |
| M | | Windows Media Audio 9 Professional | 202 |
| m3u | 201 | Windows Media Audio 9 Voice | 202 |
| MP3 | 135, 202 | Windows Media Player | 201 |
| MP3i (MP3 interactive) | 201 | WMA | 135, 201 |
| MP3 PRO | 201 | | |
| MPEG2 | 203 | | |
| MPEG4 | 203 | | |
| MPEG Audio Layer 3 | 202 | | |
| N | | | |
| NATURAL | 146 | | |
| NaviCon アプリを使う | 193 | | |
| NON STOP SEEK | 124 | | |
| P | | | |
| POWERFUL | 146 | | |
| Q | | | |
| QUICK SETUP | 15 | | |

メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

記号・マーク一覧

地図関連		渋滞情報関連	
高速・有料道	道の駅	テニスコート	渋滞
国道	空港	美術館、博物館	混雑
主要地方道	ヘリポート	動物園	順調
都道府県道	フェリー乗り場	植物園	<small>一般道：白枠 有料道：青枠</small>
一般道	観光船乗り場	水族館	
細街路	タワー	ホール・劇場	規制区間
鉄道	灯台	神社	入口閉鎖・通行止
都道府県境	墓地	寺	速度規制
① 国道番号	公共施設	教会	進入禁止
① 都道府県道番号	警察署	城	通行止め・閉鎖
C1 有料道道番号	消防署	牧場	大型通行止め
一方通行	病院	競馬場	対面通行
海・川・湖沼	郵便局	競馬場	片側交互通行
公園・緑地・芝生など	NTT	デパート	徐行
施設敷地	文 高校	DIYショップ	車線規制
施設	小 小学校	ホテル	チェーン規制
駅舎	中 中学校	検索・ルート関連	
インターチェンジ/ランプ名	大 大学	駐車場案内ポイント	凍結
交差点名	⑧ 高専	その他の案内ポイント	故障車
ランプ入口	自動車関連施設	目的地	工事
ランプ出口	温泉	立寄地	作業
信号機	遊園地・その他	出発地	事故
指示点	乗馬クラブ	案内地	障害物・路上障害
山岳	キャンプ場	案内中ルート(有料道)	入口制限
公園	ボウリング場	案内中ルート(一般道)	入口閉鎖
工場	スポーツ施設	案内中ルート(細街路)	駐車場(空車)
トンネル出入口	ゴルフ場		駐車場(混雑)
マンション	その他スポーツ施設		駐車場(満車)
サービスエリア	野球場・スタジアム		駐車場(閉鎖)
パーキングエリア	野球場・スタジアム		駐車場(不明)
インターチェンジ	体育館		気象
料金所・スマートICゲート	スキー場		行事
駐車場	海水浴場		災害
	ヨットハーバー		火災
	モータースポーツ		原因/事象なし

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

[ナビゲーション] 取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 (修理メモ・保証継承情報など)	

販売元

トヨタ自動車株式会社